



# マネジメントブレード ユーザーズガイド

## 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。  
必ずお読みください。

## 第1章 マネジメントブレードについて

この章では、マネジメントブレードの機能と初期設定について説明しています。

## 第2章 Web UIについて

この章では、マネジメントブレードでブレードシステムを管理／運用するための設定を、Web UI で行う方法について説明しています。

## 第3章 CLIについて

この章では、マネジメントブレードでブレードシステムを管理／運用するための設定を、CLI で行う方法について説明しています。

## 第4章 使用上の留意事項

この章では、マネジメントブレードをお使いになる上の留意点について説明しています。

## 付録

Web UI の設定項目メニューと CLI の設定項目メニューについて説明しています。

# 本書をお読みになる前に

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パソコン用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

## 外国為替及び外国貿易法に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

# 本書の表記

## ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
<a href="#">(→ P.nn)</a>	参照先のページを示しています。クリックすると該当ページへ移動します。

## ■ 他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを『(マニュアル名称)』と表記しています。

なお、特に記載がない場合、それらのマニュアルは、機種により以下に格納されています。

- BX620 S6 のマニュアルは「ServerView Suite DVD2」に格納。
- BX620 S6 以外のマニュアルは「PRIMERGY スタートアップディスク」に格納。

## ■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例 : 【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例 : 【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

## ■ 画面およびイラストについて

記載されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面とは異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略するなど簡略化していることがあります。

## ■ 本文に記載している仕様について

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。

ご購入時にカスタムメイドで仕様を変更した場合は、本文中の説明が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

## ■ お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や URL は 2010 年 7 月現在のものです。変更されている場合は、『サポート＆サービス』をご覧になり、「富士通コンタクトライン」へお問い合わせください。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称などを、次のように略して表記します。

製品名称など	本文中の表記		
PRIMERGY BX600 マネジメント ブレード	マネジメントブレード		
PRIMERGY BX600 S3 シャーシ	シャーシ		
PRIMERGY BX620 S5 サーバブレード	BX620 S5 サーバブレード	サーバ ブレード	ブレード
PRIMERGY BX620 S6 サーバブレード	BX620 S6 サーバブレード		
PRIMERGY SX650 ストレージ ブレード	ストレージブレード		
PRIMERGY BX600 スイッチブレード	LAN スイッチブレード	ネットワーク ブレード	ブレード
Cisco Catalyst Blade Switch 3040			
PRIMERGY BX600 LAN パススルー ブレード	LAN パススルーブレード		
PRIMERGY BX600 ファイバー チャネルスイッチブレード	ファイバーチャネルスイッチ ブレード		
PRIMERGY BX600 ファイバー チャネルパススルーブレード	ファイバーチャネルパススルー ブレード		
シャーシとシャーシに搭載したサー バブレードなどの各コンポーネント によって構成されるシステム	ブレードシステム		

## マネジメントブレードのファームウェアについて

マネジメントブレードは、ファームウェアの版数によって Web UI、CLI の画面構成や設定項目が異なります。

なお、本書はファームウェア V2.36 に準拠して記述しています。

最新のファームウェアの入手方法は、[「1.2 マネジメントブレードのファームウェアの入手」  
\(→ P.10\)](#) をご覧ください。

## 商標および著作権について

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

# 目次

## 第 1 章 マネジメントブレードについて

1.1 マネジメントブレードの機能 .....	8
1.2 マネジメントブレードのファームウェアの入手 .....	10
1.3 初期設定 .....	11
1.3.1 マネジメントブレードの初期設定値 .....	11
1.3.2 設定方法について .....	11
1.3.3 Web UI を使用した初期設定 .....	12
1.3.4 CLI を使用した初期設定 .....	14

## 第 2 章 Web UI について

2.1 Web UI の起動 .....	19
2.2 Web UI の概要 .....	20
2.2.1 設定項目メニュー .....	20
2.2.2 システム設定ページ .....	21
2.2.3 ヘッダー領域 .....	21
2.3 Web UI のメニュー .....	22
2.3.1 設定項目の概要 .....	22
2.3.2 System Property .....	23
2.3.3 Management Blade .....	41
2.3.4 Lan Switch Blade .....	41
2.3.5 PHY Module (LAN パススルーブレード搭載時) .....	44
2.3.6 FC Switch Blade (ファイバーチャネルスイッチブレード搭載時) .....	45
2.3.7 DKVM Blade (PG-KVB103 搭載時) .....	46
2.3.8 Server Blade .....	48

## 第 3 章 CLI について

3.1 CLI の起動 .....	57
3.1.1 CLI の接続方法 .....	57
3.1.2 CLI へのログイン .....	58
3.1.3 CLI の概要 .....	58
3.1.4 CLI の基本操作 .....	60
3.2 CLI のメニュー .....	61
3.2.1 Console Menu .....	61
3.2.2 Management Agent .....	62
3.2.3 Console Redirection Table .....	135
3.2.4 Logout .....	137
3.2.5 Reboot Management Blade .....	138
3.2.6 System Information Dump .....	139

## 第4章 使用上の留意事項

4.1 リモート電源切断に関する留意事項 .....	141
4.2 対応ソフトウェア利用時の留意事項 .....	142
4.3 その他の留意事項 .....	143

## 付 錄

A Web UI 設定項目メニュー一覧 .....	145
B CLI 設定項目メニュー一覧 .....	148

索引 .....	152
----------	-----

## 第1章

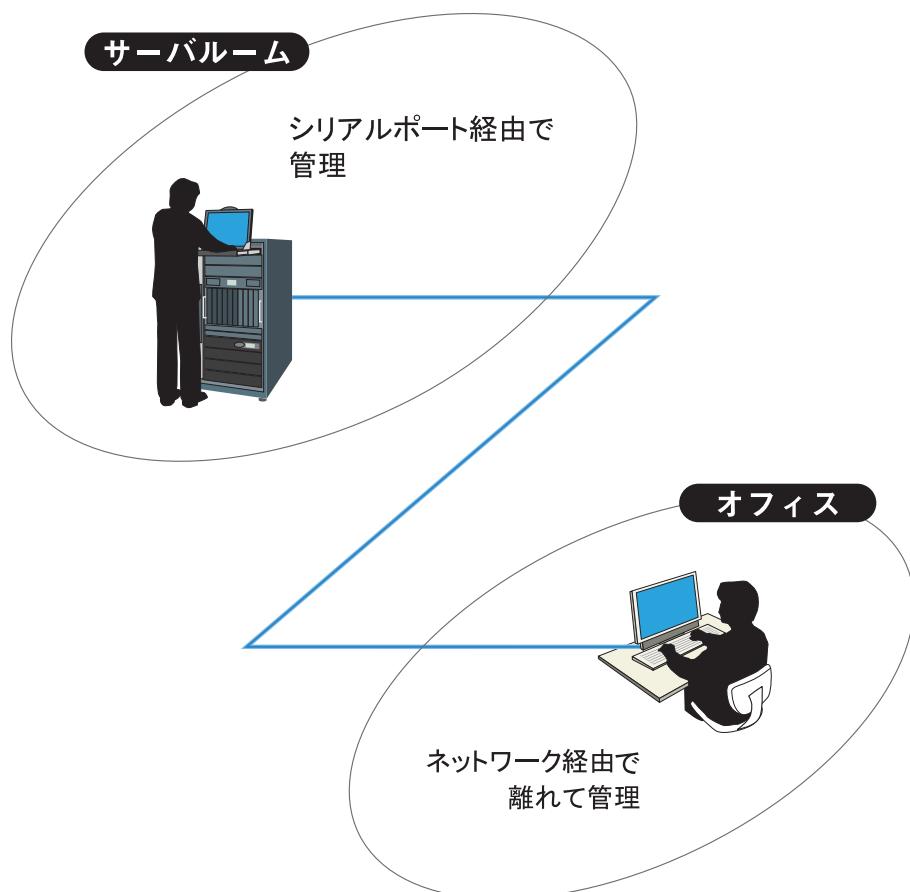
# マネジメントブレードについて

この章では、マネジメントブレードの機能と初期設定について説明しています。

1.1 マネジメントブレードの機能 .....	8
1.2 マネジメントブレードのファームウェアの入手 .....	10
1.3 初期設定 .....	11

## 1.1 マネジメントブレードの機能

マネジメントブレードは、シャーシおよび各ブレード（サーバブレード、ストレージブレード、ネットワークブレード、マネジメントブレード）、電源ユニット、システムファンユニットの管理をします。また、ネットワークを経由してブレードシステムを管理できます。



## ■ マネジメントブレードの動作

- マネジメントブレードは専用の CPU、ネットワークインターフェース、シリアルインターフェースを装備しているため、他のブレードの動作状態（ハング状態など）と関係なく独立して動作します。
- マネジメントブレードは、シャーシに 2 台搭載されており、管理機能が冗長化されています。
  - 一方がマスター モード、もう一方がスレーブ モードで動作します。
  - 電源ケーブルを接続した直後は、スロット 1 に取り付けられているマネジメントブレードがマスター モードで動作します。
  - マスター モードのマネジメントブレードがシステムの管理・運用を行います。
  - スレーブ モードのマネジメントブレードは、マスター モードのマネジメントブレードを常に監視します。
  - マスター モードのマネジメントブレードに故障が発生した場合、スレーブ モードのマネジメントブレードが故障を検出し、自動的にマスター モードに切り替わります。このため、運用を停止することなく管理、運用機能を引き継ぐことができます（通信経路の変更に約 30 秒かかります）。
  - 故障したマネジメントブレードは、シャーシの電源を入れたまま交換できます（ホット スワップ）。

### POINT

- マネジメントブレードに異常がなくても、ネットワークインターフェースの故障や LAN ケーブルの切断などにより通信ができない場合に、動作モードを切り替えるよう設定することもできます。設定方法は、「[NIC Status Detection \(1\\_3\\_9\)](#)」（→ P.91）をご覧ください。

## ■ ブレードシステムの管理

- 管理端末から、シャーシおよび各コンポーネントの管理を行います。
- シャーシおよび各ブレード等の管理のために、2 種類の管理方法を提供しています。
  - Web UI（Web ユーザーインターフェース）
 

Web UI は、ネットワーク経由で Web ブラウザを通じて運用と管理ができます。  
詳しくは、「[第 2 章 Web UI について](#)」（→ P.18）をご覧ください。
  - CLI（コマンドラインインターフェース）
 

CLI は、シリアルポートまたはネットワーク経由の Telnet プロトコルを用いたコンソールメニュー上で、コマンドラインベースでの操作ができます。  
詳しくは、「[第 3 章 CLI について](#)」（→ P.56）をご覧ください。
- 管理ソフトを使用するために次のインターフェースを提供しています。
  - ネットワークインターフェース（10BASE-T/100BASE-TX）
  - シリアルインターフェース

## 1.2 マネジメントブレードのファームウェアの入手

ブレードシステムの運用開始前に、必ず、マネジメントブレードのファームウェアを最新にしてください。

マネジメントブレードのファームウェアの版数を確認する方法は、次のとおりです。

- Web UI の場合

システム設定ページの「Management Blade」→「Firmware Version」を確認してください。

詳しくは、[「第 2 章 Web UI について」（→ P.18）](#)をご覧ください。

- CLI の場合

「(1) Management Agent」→「(2) Management Blade」から確認したいマネジメントブレードを選択し、「Management Blade Firmware Version」を確認してください。

詳しくは、[「第 3 章 CLI について」（→ P.56）](#)をご覧ください。

最新のファームウェアは、「PRIMERGY」ページの「ダウンロード」

(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>) にて提供しております。

「ダウンロード検索」をクリックし、表示された画面で、次のとおり選択して、「検索開始」をクリックします。

- 「製品名」にお使いのサーバブレードを選択
- 「型名」にお使いのサーバブレードの型名を選択
- 「カテゴリ」に「ファームウェア」を選択
- 「添付ソフト／ドライバ名称（部分一致可）」に「BX600 S3」を入力

検索結果のページで、最新のファームウェア名称（一番上に表示されます）をクリックし、ダウンロードします。

アップデート方法は、それぞれのページに記載されています。

### 重要

- ▶ 2 台のマネジメントブレードのファームウェアの版数を、必ず同一にしてください。

# 1.3 初期設定

---

運用を開始する前に、マネジメントブレードの設定を行います。設定が必要な項目は次のとおりです。ここでは、マネジメントブレードを運用するための、次の設定を説明します。

- ・通信インターフェースの設定
- ・管理アカウントのパスワードの変更
- ・マネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの設定

その他の設定は、Web UI または CLI を使用して、必要に応じて運用前に設定してください。

## 重要

- ▶ マネジメントブレードで設定した値は、設定の復元や保守などで必要になります。『環境設定シート』への記入、画面のハードコピー、メモの保存などを必ず実施してください。

## 1.3.1 マネジメントブレードの初期設定値

---

Web UI、CLI を使用するためのマネジメントブレードのネットワークインターフェースの初期設定値は、次のとおりです。

- ・IP アドレス : 192.168.1.1
- ・サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ユーザー名 : root
- ・パスワード : root

## 重要

- ▶ セキュリティ確保のため、必ずパスワードを変更してください。
- パスワードの変更については、Web UI の場合は [「管理アカウントのパスワードの変更」\(→ P.13\)](#) を、CLI の場合は [「管理アカウントのパスワードの変更」\(→ P.16\)](#) をご覧ください。

## 1.3.2 設定方法について

---

マネジメントブレードの初期設定には、Web UI、CLI のいずれかを使用します。

- ・ [「1.3.3 Web UI を使用した初期設定」\(→ P.12\)](#)
- ・ [「1.3.4 CLI を使用した初期設定」\(→ P.14\)](#)

### 1.3.3 Web UI を使用した初期設定

#### ■ 用意するもの

作業を始める前に、次のものを用意してください。

- 管理端末（パソコンなど）  
管理端末には一般的な Web ブラウザが動作する環境が必要です。また、通信インターフェースとして LAN ポートが必要になります。
- LAN ケーブル

#### ■ ネットワークインターフェースの接続と設定

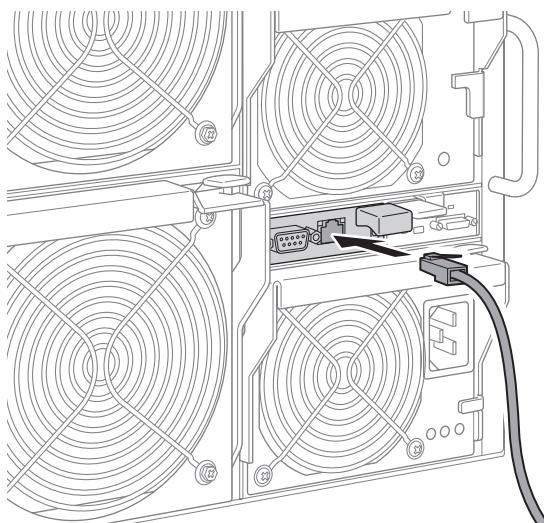
マネジメントブレードのネットワークインターフェースおよび、LAN ポートで設定できる転送速度は、次のとおりです。

- 10Mbps 全二重固定
- 10Mbps 半二重固定
- 100Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定
- オートネゴシエーション

#### 重要

- ▶ 接続するハブと同じ設定にしてください。異なる設定で接続すると、通信効率が著しく低下するか通信ができない場合があります。
  - ▶ 同一ネットワークで速度の異なるポートと接続すると、LAN の転送性能が低下する場合があります。
- ネットワークインターフェースの設定手順は次のとおりです。

- 1 LAN ケーブルをマスター モードで動作しているマネジメントブレードに接続します。



マネジメントブレード 1 に接続する例

- 2** [手順1](#) で接続した LAN ケーブルのもう片方のコネクタを、管理端末と接続されたハブやルーターなどに接続します。
- 3** 同様にスレーブのマネジメントブレードとハブやルーターを LAN ケーブルで接続します。
- 4** 管理端末から Web ブラウザを起動し、マネジメントブレードの Web UI を起動します。
  1. Web ブラウザのアドレスバーに次のアドレスを入力します。  
http://192.168.1.1:80
  2. 「ログイン」ウィンドウで、次のユーザー名とパスワードを入力します。
    - ・ユーザー名 : root
    - ・パスワード : root
 Web UI の初期画面が表示されます。

### POINT

- ▶ すでにパスワードを変更している場合は、新しいパスワードを入力してください。
- ▶ Web UI を使うことができる Web ブラウザの情報および、HTTP SSL が「enable」の場合の起動方法については、[「2.1 Web UI の起動」（→ P.19）](#) をご覧ください。

- 5** 必要に応じて、画面左側の「設定項目メニュー」から、「System Property」→「LAN Interface」の順にクリックし、ネットワークインターフェースの設定をします。
- 設定方法は [「LAN Interface」（→ P.31）](#) をご覧ください。

## ■ 管理アカウントのパスワードの変更

マネジメントブレードにはご購入時の状態で管理者権限を持つ次のアカウントが用意されています。セキュリティ確保のためにパスワードを必ず変更してください。

- ・ユーザー名 : root
- ・パスワード : root

パスワードの変更方法は次のとおりです。

- 1** 管理端末から Web UI にログインします。  
すでに Web UI にログインしている場合は[手順2](#) に進んでください。ログインしていない場合は、[「2.1 Web UI の起動」（→ P.19）](#) をご覧になり、ログインしてください。
- 2** 画面左側の「設定項目メニュー」から、「System Property」→「User Accounts」順にクリックします。  
「User Accounts」画面が表示されます。
- 3** 「root」をクリックします。  
ユーザー名「root」の詳細が表示されます。

#### 4 次の項目を入力し、「Apply」をクリックします。

- ・ Password : 新しいパスワードを入力します。
- ・ Confirm Password : 確認のため、新しいパスワードを再度入力します。

#### POINT

- ▶ パスワードは最大で半角英数字 16 文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。

#### 重要

- ▶ マネジメントブレードの管理アカウントのパスワードを変更する場合は、ネットワークブレードの管理アカウントのパスワードも変更する必要があります。変更を行わないとマネジメントブレードがネットワークブレードの情報を取得できなくなります。

### ■ マネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの設定

マネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの確認や設定をします。確認や設定の方法については、「[System Information](#)」(→ P.38) をご覧ください。

#### POINT

- ▶ サーバブレードの時刻をマネジメントブレードの時刻に同期させることができます。詳しくは、サーバブレードの『ユーザーズガイド』の「3.2 BIOS セットアップユーティリティ」をご覧ください。

#### ● マネジメントブレードのネットワーク経由の時刻合わせ

マネジメントブレードは、NTP (Network Time Protocol) を使用できます。  
詳しくは、「[NTP](#)」(→ P.33) をご覧ください。

#### 重要

- ▶ マネジメントブレードの NTP の設定を変更する場合は、ブレードシステムの運用開始前または運用停止中に実施してください。運用中に変更すると、サーバブレードのシステムに不具合が生じるおそれがあります。

### 1.3.4 CLI を使用した初期設定

---

### ■ 用意するもの

作業を始める前に、次のものを用意してください。

- ・ 管理端末 (パソコンなど)  
管理端末には一般的なターミナルソフトウェアが動作する環境が必要です。また、通信インターフェースとしてシリアルポートが必要になります。
- ・ RS-232C クロスケーブル (シャーシに添付)

#### POINT

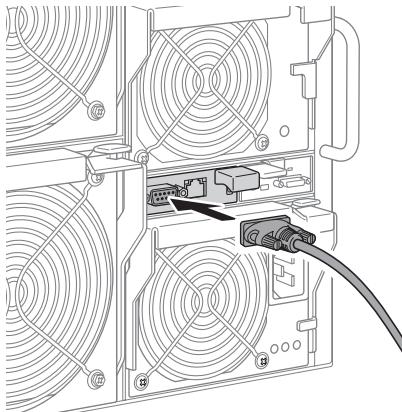
- ▶ Telnet 経由の CLI を使用する場合は、「[ネットワークインターフェース経由の Telnet を使用する](#)」(→ P.57) をご覧ください。

## ■シリアルインターフェースの接続と設定

- 1** RS-232C クロスケーブルをマスター モードで動作しているマネジメントブレードに接続します。

### POINT

- マネジメントブレードの動作モードは、マネジメントブレードマスター表示ランプで確認してください。詳しくは、『シャーシ ハードウェアガイド』の「2.1 各部の名称と働き」をご覧ください。



- 2** [手順1](#) で接続した RS-232C クロスケーブルのもう片方のコネクタを、管理端末に接続します。

- 3** 管理端末でターミナルソフトウェアを起動し、マネジメントブレードに接続するための設定をします。

設定方法については、お使いのターミナルソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

1. 管理端末でターミナルソフトウェアを起動して次のポート設定をします。

設定項目	設定値
ビット／秒	115200
データビット	8
parity	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

2. 管理端末でターミナルソフトウェアのエミュレーションの設定を「VT100」に設定します。

- 4** 表示された「Welcome to management Blade n.nn」(n.nn は、版数を示す数値)画面で、<Username>: に「root」と <Password>: に「root」を入力します。

### POINT

- ▶ すでにパスワードを変更している場合は、新しいパスワードを入力してください。
- 詳しくは、[\[3.1.2 CLIへのログイン\] \(→ P.58\)](#) をご覧ください。

## ■ 管理アカウントのパスワードの変更

マネジメントブレードにはご購入時の状態で管理者権限を持つ次のアカウントが用意されています。セキュリティ確保のためにパスワードを必ず変更してください。

- ユーザー名 : root
- パスワード : root

パスワードの変更方法は次のとおりです。

- 1** 管理端末から CLI にログインします。

すでに CLI にログインしている場合は、[手順2](#) に進んでください。ログインしていない場合は、[\[3.1 CLI の起動\] \(→ P.57\)](#) をご覧になり、ログインしてください。

### POINT

- ▶ CLI の操作方法については[\[3.1.4 CLI の基本操作\] \(→ P.60\)](#) をご覧ください。

- 2** 「Console Menu」画面で「(1) Management Agent」を選択します。

- 3** 「Management Agent」画面で「(6) Username And Password」を選択します。

- 4** 「User ID List」画面で「(1) User 1\_: Root」を選択します。

- 5** 「Edit Username And Password」画面で「(2) Change Password」を選択し、新しいパスワードを入力します。

詳しくは、[\[Edit Username And Password \(1\\_6\\_1\)\] \(→ P.114\)](#) をご覧ください。

### POINT

- ▶ パスワードは最大で半角英数字 16 文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。

### 重要

- ▶ マネジメントブレードの管理アカウントのパスワードを変更する場合は、ネットワークブレードの管理アカウントのパスワードも変更する必要があります。変更を行わないとマネジメントブレードがネットワークブレードの情報を取得できなくなります。

## ■ マネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの設定

マネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの確認や設定をします。確認や設定の方法については、[「Management Agent Information \(1\\_1\)」（→ P.64）](#)をご覧ください。

### POINT

- ▶ サーバブレードの時刻をマネジメントブレードの時刻に同期させることができます。詳しくは、サーバブレードの『ユーザーズガイド』の「3.2 BIOS セットアップユーティリティ」をご覧ください。

## ● マネジメントブレードのネットワーク経由の時刻合わせ

マネジメントブレードは、NTP (Network Time Protocol) を使用できます。

詳しくは、[「Agent NTP \(1\\_1\\_17\)」（→ P.72）](#)をご覧ください。

### 重要

- ▶ マネジメントブレードの NTP の設定を変更する場合は、ブレードシステムの運用開始前または運用停止中に実施してください。運用中に変更すると、サーバブレードのシステムに不具合が生じるおそれがあります。

## 第 2 章

# Web UI について

この章では、マネジメントブレードでブレードシステムを管理／運用するための設定を、Web UI で行う方法について説明しています。

2.1 Web UI の起動 .....	19
2.2 Web UI の概要 .....	20
2.3 Web UI のメニュー .....	22

## 2.1 Web UI の起動

マネジメントブレードに Web UI (Web ユーザーインターフェース) からアクセスする手順は、次のとおりです。

### POINT

- ▶ Web UI は、次の Web ブラウザをサポートしています。
  - ・ Internet Explorer (Version 5.0 以降)
  - ・ Netscape (Version 4.75、4.78 および 6.x 以降 [注])  
注 : SSL の機能を使用する場合は Version 7.0 以降が必要になります。
- ▶ マネジメントブレードに Web UI (Web ユーザーインターフェース) からのアクセスが集中した場合、更新ボタンを押しても、情報が正しく更新されないことがあります。その場合は、しばらく待ってから再度更新ボタンを押してください。

- 1** Web ブラウザを起動し、アドレスバーにマネジメントブレードのアドレスを入力します。

(例)

- ・ HTTP SSL が「disable」の場合  
http://192.168.1.1:80 (ご購入時の設定)
- ・ HTTP SSL が「enable」の場合  
https://192.168.1.1:443 (ご購入時の設定)

### POINT

- ▶ ご購入時、HTTP SSL は「disable」に設定されています。

ユーザー名とパスワードの入力を求めるウィンドウが表示されます。

- 2** ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ご購入時の設定の場合は、ユーザー名 : 「root」、パスワード : 「root」です。パスワードを変更した場合は、新しいパスワードを入力してください。

## 2.2 Web UI の概要

ユーザー名とパスワードを入力してログインすると、マネジメントブレードの初期画面が表示されます。

The screenshot shows the Fujitsu BX600S3 Management Interface. At the top, there's a header bar with the Fujitsu logo, the model name 'BX600S3', and a user status message 'Logged in User: root'. Below the header is a navigation menu on the left containing links like 'System Property', 'Management Blade', 'Lan Switch Blade', 'PHY Module', 'FC Switch Blade', 'DKVM Blade', and 'Server Blade'. The main area displays various status tables:

- Overall Status:** Shows components like Power Supply, Management Blades, and Fan Units with their current status (e.g., ok, standby, not-present).
- Temperature Sensors:** A table showing temperature readings for various sensors across different blades.
- Fan Units:** A table showing fan unit status and speeds.
- Power Supply Units:** A table showing power supply unit status and types (ok, dummy).

Annotations on the right side identify specific sections:

- ヘッダー領域** (Header Area) points to the top header and user login information.
- システム設定ページ** (System Configuration Page) points to the navigation menu on the left.
- 設定項目メニュー** (Setting Item Menu) points to the bottom-left corner of the main interface area.

画面は次の 3 つの領域に分かれています。

- **設定項目メニュー**

各種設定項目が階層構造で表示されます。

詳しくは [「設定項目メニュー」\(→ P.20\)](#) をご覧ください。

- **システム設定ページ**

「設定項目メニュー」から選択した設定項目の内容が表示されます。

詳しくは [「システム設定ページ」\(→ P.21\)](#) をご覧ください。

- **ヘッダー領域**

ログインしているユーザー名とショートカットアイコンが表示されます。

詳しくは [「ヘッダー領域」\(→ P.21\)](#) をご覧ください。

### 2.2.1 設定項目メニュー

設定項目メニューには、ブレードシステムのシステム構成やプロパティ、システムに搭載されているブレードなどが階層構造で表示されます。このメニューは「System Property」、「Management Blade」、「LAN Switch Blade」、「Server Blade」などのグループに分けられています。それぞれのグループの下の階層を開くには、「+」をクリックしてください。設定項目メニューの詳細は、[「2.3.1 設定項目の概要」\(→ P.22\)](#) をご覧ください。

## 2.2.2 システム設定ページ

システム設定ページでは、設定項目メニューで選択した設定項目の詳細が表示されます。システム設定ページの、最上部と最下部には、次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	ヘルプファイル（英語）を表示します。
	表示されているページの最上部に移動します。
	表示されているページの最下部に移動します。

- ・ ページの最上部に、現在のページのタイトルが表示されます。
- ・ ページの最下部に、Controller time（マネジメントブレードの日付と時刻）が表示されます。表示される日付と時刻はシステム設定ページにアクセスしたときのものです。

システム設定ページの基本操作は、次のとおりです。

- ・ 各ページの設定を有効にするには、ボックスに文字や数値を入力した後、「Apply」などのボタンをクリックします。

### POINT

- ▶ 設定が有効になるまでに時間がかかる項目や、マネジメントブレードの再起動後に設定が有効になる項目もあります。

## 2.2.3 ヘッダー領域

ヘッダー領域には、次のショートカットアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	システム設定ページの表示を更新します。
	Web UI の初期画面に移動します。

## 2.3 Web UI のメニュー

### 2.3.1 設定項目の概要

Web UI の設定項目メニューに表示される第二階層までの主な項目は、次のとおりです。

設定項目メニュー	説明
「System Property」(→ P.23)	システムの構成に使用します。
「System Event Log」(→ P.24)	イベントログの表示とアラームハンドラの設定をします。
「Environ./Maintenance」(→ P.25)	シャーシ、ファン、電源ユニットなどの状態の監視および動作の設定をします。 また、マネジメントブレードを再起動します。
「LAN Interface」(→ P.31)	ネットワーク構成を設定します。
「SNMP Interface」(→ P.35)	SNMP の情報を設定します。
「Console Redirection」(→ P.36)	KVM (キーボード、ディスプレイ、マウス) の切り替えと、IP フィルタリングを設定します。
「Fiber Channel」(→ P.37)	ファイバーチャネルパススルーブレードの状態を表示します。
「System Information」(→ P.38)	エージェント情報、時刻、タイムゾーンの設定をします。
「User Accounts」(→ P.39)	ユーザー名、パスワードなどの管理をします。
「Deployment Table」(→ P.40)	Deployment ソフトなどで使用するパラメータの表示と設定をします。
「PPP and Modem Setting」	通常は使用しません。
「Management Blade」(→ P.41)	マネジメントブレードの情報を表示します。
「Lan Switch Blade」(→ P.41)	LAN スイッチブレードの情報の表示と設定をします。
「PHY Module (LAN パススルーブレード搭載時)」(→ P.44)	LAN パススルーブレードの情報を表示します。
「FC Switch Blade (ファイバーチャネルスイッチブレード搭載時)」(→ P.45)	ファイバーチャネルスイッチブレードの情報の表示と設定をします。
「DKVM Blade (PG-KVB103 搭載時)」(→ P.46)	高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の情報の表示とファームウェアの管理をします。また、リモートで KVM を使用するためのツールを起動します。
「Blade Info」(→ P.46)	高機能 KVM モジュールの情報を表示します。
「Network Configuration」(→ P.47)	高機能 KVM モジュールのネットワークの設定をします。
「Console Redirection」(→ P.47)	コンソールリダイレクション機能の設定をします。
「Virtual Media」(→ P.47)	リモート接続する機器の設定をします。
「FW Update」(→ P.48)	高機能 KVM モジュールのファームウェアをアップデートします。
「Server Blade」(→ P.48)	サーバブレード、ストレージブレードの情報を表示と設定をします。

### POINT

- すべての設定項目メニューについては、「[付録 A Web UI 設定項目メニュー一覧](#)」(→ P.145) をご覧ください。

## 2.3.2 System Property

システムの構成に使用します。

表示／設定項目	説明
「System Event Log」(→ P.24)	イベントログの表示とアラームハンドラの設定をします。
「Event Log」(→ P.24)	イベントログを表示します。
「Alarm Handler」(→ P.25)	アラームハンドラを設定します。
「Environ./Maintenance」(→ P.25)	シャーシ、ファン、電源ユニットなどの状態監視および動作の設定をします。 また、マネジメントブレードを再起動します。
「Firmware Update」	ファームウェアのアップデートをします。通常は使用しないでください。
「Power Supply」(→ P.25)	電源ユニットの状態や稼働時間などの情報を表示します。 また、シャーシやサーバーブレードの電源の設定をします。
「UPS」	通常は使用しません。
「Chassis」(→ P.28)	シャーシとシステムファンユニットの状態、シャーシ内の温度情報を表示します。また、温度異常時のアクションおよび保守ランプの設定をします。
「Fans」(→ P.29)	ファンの状態の表示と設定をします。
「Reset management Blade」(→ P.30)	マネジメントブレードを再起動します。
「LAN Interface」(→ P.31)	ネットワーク構成の設定をします。
「Internet Protocol」(→ P.32)	IP アドレスなどの設定をします。
「Domain Name Server」(→ P.32)	DNS の設定をします。
「HTTP」(→ P.32)	HTTP のポート番号の設定をします。
「Telnet」(→ P.33)	Telnet のポート番号などの設定をします。
「NTP」(→ P.33)	NTP の設定をします。
「SSL」(→ P.34)	SSL の設定をします。SSL バージョン 3 を使用できます。
「Duplex Mode」(→ P.34)	転送速度の設定をします。
「SNMP Interface」(→ P.35)	SNMP の情報を設定をします。
「Console Redirection」(→ P.36)	KVM (キーボード、ディスプレイ、マウス) の切り替えと、IP フィルタリングの設定をします。
「Keyboard/Mouse/Video Switch to Local」(→ P.36)	キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するサーバーブレードを設定します。
「IP Filter For Telnet/IP Filter For HTTP/IP Filter For SNMP」(→ P.36)	IP フィルタリングの設定をします。
「Fiber Channel」(→ P.37)	ファイバーチャネルバススルーブレードの状態を表示します。
「FC Pass Through Card-1 / FC Pass Through Card-2」(→ P.37)	ファイバーチャネルバススルーブレード 1、2 の状態を表示します。
「System Information」(→ P.38)	エージェント情報、時刻、タイムゾーンの設定をします。

表示／設定項目	説明
「User Accounts」(→ P.39)	ユーザー名、パスワードなどの管理をします。
「Deployment Table」(→ P.40)	Deployment ソフトなどで使用するパラメータの表示と設定をします。
「PPP and Modem Setting」	通常は使用しません。

## ■ System Event Log

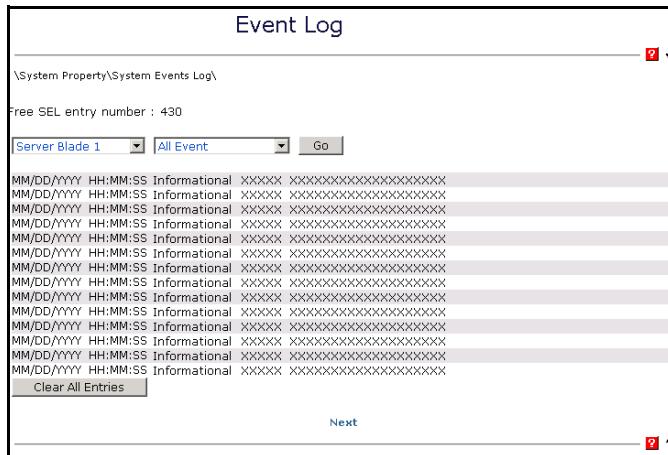
イベントログの表示とアラームハンドラの設定をします。

マネジメントブレードのイベントログにはシャーシに関するイベントログも含まれます。

### ● Event Log

イベントログを表示します。

「Event Log」をクリックすると、次のページが表示されます。



左側のリストボックスから確認したいブレードを選択すると、それぞれのブレードに記録されたイベントログが表示されます。

右側のリストボックスからイベントの種類を選択すると、該当するイベントのみ表示されます。選択できるイベントの種類は次のとおりです。

- All Event

すべてのログを表示します。

- Informational Event

正常な操作の完了など、情報レベルのイベントを表示します。

- Minor Event

重要度の低いイベントを表示します。内容によっては対処する必要があります。

- Major Event

重要度の高いイベントを表示します。できるだけ早く対処する必要があります。

- Critical Event

システムに重大な影響を与えるイベントを表示します。必ず対処が必要です。

「Next」をクリックすると過去のログを順番に表示します。

「Free SEL entry number」に残りの保存可能なイベントの件数を表示します。

- イベントログのエントリは、マネジメントブレードで最大 425 件、BX620 S5 サーバブレードで最大 511 件まで保存できます。
- 「Clear All Entries」をクリックすると、イベントログがすべて消去されます。

## ● Alarm Handler

アラームハンドラを設定します。

表示／設定項目	説明
Mail Settings	未サポートです。設定しないでください。
Error Forwarding	送信するイベントのフィルタを設定します。アラームハンドラでは、アラームグループとエラーレベルで送信するアラームを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Error Forwarding Level 指定したレベルより重要度の低いアラームを送信しないように設定します。</li> </ul>
Server Blade Power On/Off Event Log Enable	サーバブレードの電源 ON/OFF およびシャットダウンを、マネジメントブレードのイベントログへ記録するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable [注 1] サーバブレードの電源 ON/OFF およびシャットダウンのイベントログを記録します。</li> <li>• disable サーバブレードの電源 ON/OFF およびシャットダウンのイベントログを記録しません。</li> </ul>
Management Blade Wrap Around Event Log Enable	マネジメントブレードのイベントログの記録方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable (ご購入時の設定) イベントログが最大件数になると、古いログから順番に上書きします。</li> <li>• disable イベントログが最大件数になると、ログの記録を停止します。[注 2]</li> </ul>

注 1 : 「enable」にすると、イベントの発生が多くなります。イベントログの発生件数に注意して、最大件数を超えないようにしてください。

注 2 : 「disable」に設定した場合、イベントログが最大件数になると、それ以後発生するイベントを記録しません。  
定期的にイベントログを確認し、必要に応じてログの保存、消去をしてください。  
イベントログは、画面のテキストをコピーして、テキストファイルなどに貼り付けて保存してください。

## ■ Environ./Maintenance

シャーシ、ファン、電源ユニットなどの状態監視および動作の設定をします。  
また、マネジメントブレードを再起動します。

### ● Firmware Update

ファームウェアのアップデートをします。通常は使用しないでください。

### ● Power Supply

電源ユニットの状態や稼働時間などの情報を表示します。  
また、シャーシやサーバブレードの電源の設定をします。

表示／設定項目	説明
Power Status/Power Switch	<p>電源ユニットの電源状態を表示や設定をします。 設定する場合は、「<a href="#">4.1 リモート電源切断に関する留意事項</a>」(→ P.141) をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>power on : シャーシのメイン電源を入れます。</li> <li>hard power off : シャーシのメイン電源を切ります。</li> <li>graceful shutdown and off : サーバブレードに対して、OS を終了してサーバブレードの電源を切るように指示（graceful シャットダウン）をしてから、シャーシのメイン電源を切ります。</li> </ul> <p>次のチェックボックスにチェックを付けると、graceful シャットダウンに失敗した場合に、設定した時間が経過してから強制的にサーバブレードの電源を切ります。</p> <p><input type="checkbox"/> When graceful shutdown fail, force power off after n minutes. (n は 1 ~ 7 分が選択できます。)</p>
Group Status	電源ユニット全体の状態を表示します。
Power Redundancy	電源ユニットの冗長構成の状態を表示します。
Power Supply unit 1 ~ 4	電源ユニットスロット 1 ~ 4 に搭載されている、電源ユニットやダミー電源ユニットの状態を表示します。
System Power Supply Redundancy Mode	200V の電源ユニットが 4 台搭載されている場合のみ表示されます。 200V 電源の冗長モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>3+1 : 本設定は、使用できません。</li> <li>2+2 : 通常時は 2 台を使用して、2 台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。</li> </ul>
Power Supply Live Time Counter	電源ユニットやダミー電源ユニットの交換に関する情報を表示・設定します。 [注 1]
Component Name	電源ユニットスロット 1 ~ 4 の名称を表示します。
Installation Date	電源ユニットやダミー電源ユニットの使用開始日を設定します。
Life Time	電源ユニットを交換した時に、電源ユニットおよびダミー電源ユニットの寿命時間を設定します。 200V の電源ユニットを搭載している場合は、電源ユニットおよびダミー電源ユニットの寿命時間を「35,000 時間 - 稼働時間」と入力します。 100V の電源ユニットを搭載している場合は、電源ユニットの寿命時間を「44,000 時間 - 稼働時間」と入力します（100V の電源ユニットの定期交換はありません）。 電源ユニットやダミー電源ユニットを交換したら、「Reset」をクリックしてください。
Expiry Date	電源ユニットやダミー電源ユニットの交換時期を表示します。
Running time	電源ユニットやダミー電源ユニットの稼動時間を表示します。
Expiry Reporting Date	「Contact Check Box」にチェックを付けた日付を表示します。
Status	電源ユニットやダミー電源ユニットの状態を表示します。
Contact Check Box	電源ユニットやダミー電源ユニットが寿命期日に達した場合に、修理相談窓口に連絡後、チェックを付けてください。修理相談窓口について、詳しくは『サポート & サービス』をご覧ください。 「Reset」をクリックするとチェックが外れます。
Apply	入力した情報を適用します。

表示／設定項目	説明
Reset	「Running Time」、「Expiry Reporting Date」、「Contact Check Box」の情報を消去し、リセットします。
Server Blade Power Switch	<p>サーバブレードの電源を設定します。[注2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Turn on all server Blades : すべてのサーバブレードの電源を入れます。</li> <li>Turn off all server Blades : すべてのサーバブレードに「graceful shutdown and off」の設定をします。</li> </ul> <p>この項目を選択して「Apply」をクリックすると、確認画面が表示されます。次に「YES」をクリックすると、すべてのサーバブレードの「Power Status」に対して、「graceful shutdown and off」が設定されます（サーバブレードの「Power Status」に関しては、<a href="#">「Power Status / Power Switch」（→ P.51）</a>をご覧ください）。</p>

注1：電源ユニット（200V）およびダミー電源ユニットは定期交換部品です。詳しくは『シャーシハードウェアガイド』の「4.3 定期交換部品について」をご覧ください。  
定期交換後は設定を変更してください。

注2：「Server Blade Power Switch」でサーバブレードの電源を設定する場合は、指示した後に電源のON/OFFがすべて完了したことをWeb UIのアイコンなどで確認してから、次の操作に進んでください。

### POINT

- ▶ シャーシのメイン電源を入れると、ネットワークブレードとシステムファンが動作を開始します。サーバブレードに通電されますが、電源投入指示をしない限り起動しません。

### ● UPS

通常は使用しません。設定しないでください。

## ● Chassis

シャーシとシステムファンユニットの状態、シャーシ内の温度情報を表示します。  
また、温度異常時のアクションおよび保守ランプの設定をします。

表示／設定項目	説明
Chassis Product Version	シャーシのプロダクト版数を表示します。
System Information	システム情報を表示・設定します。
Overall Status	システム全体の状態を表示します。
System LED	システム識別灯表示機能を利用してシャーシの保守ランプの設定をします。 <a href="#">[注]</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>• power on : 保守スイッチを押したときにシャーシ前面と背面の保守ランプを点灯させます。</li> <li>• off : この機能を使用しません。</li> <li>• blinking : 保守スイッチを押したときにシャーシ前面と背面の保守ランプを点滅させます。</li> </ul>
Rear Fan Door Status	システムファンユニットの状態を表示します。
Sensor ID	対象となるシステムファンユニットを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Rear Panel-1 : システムファンユニット 1</li> <li>• Rear Panel-2 : システムファンユニット 2</li> </ul>
Status	システムファンユニットの状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• open : システムファンユニットが取り外されています。</li> <li>• closed : システムファンユニットが取り付けられています。</li> </ul>
Ambient Temperature	環境温度を表示します。
No	温度センサーの番号を表示します。
Status	温度センサーの状態を表示します。
Designation	温度センサーの場所を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Housing-Left : シャーシ前面から見て左側</li> <li>• Housing-Center : シャーシ前面から見て中央</li> <li>• Housing-Right : シャーシ前面から見て右側</li> <li>• Ambient : シャーシメイン電源スイッチ付近</li> <li>• Switch-1 ~ 4 : ネットワークブレード内部</li> <li>• PSU-1 ~ 4 : 電源ユニット内部</li> </ul>
Temperature	温度センサーで測定した温度を表示します。
Warning Level	警告する温度を表示します。
Critical Level	危険温度を表示します。
Reaction	温度が危険な値 (Critical Level) に達した場合の設定を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• continue : 温度異常時にもブレードシステムを継続稼働します。</li> <li>• shutdown-and-poweroff : 温度が危険な値 (Critical-Level) に達したときに、シャーシのメイン電源を graceful シャットダウンします。</li> </ul>

注 : 「on」に設定しても、「System Overall Status」が「error」または「critical」状態の場合、ランプは点滅します。「off」に設定した場合は、ランプはつきません。

## ● Fans

ファンの状態の表示と設定をします。

表示／設定項目	説明
ID	ファンの番号を表示します。
Status	ファンの状態を表示します。
Designation	ファンの場所を表示します。 • Rear1_Fan-N (N は 1 または 2) : システムファンユニット内蔵ファン • Rear2_Fan-N (N は 1 または 2) : システムファンユニット内蔵ファン • PowerUnitN-Fan-1 (N は 1 ~ 4) : 電源ユニット内蔵ファン (電源冷却用ファン) • PowerUnitN-Fan-2 (N は 1 ~ 4) : 電源ユニット内蔵ファン (システムファンユニット) • PowerUnitN-Fan-3 (N は 1 ~ 4) : 電源ユニット内蔵ファン (システムファンユニット)
Normal Revolutions	ファンの回転数を表示します。
Reaction	ファンに故障が発生した場合のブレードシステムの動作を設定します。 • continue : ファンに故障が発生した場合にもブレードシステムの稼働を継続します。 • shutdown-and-poweroff : ファンに故障が発生した場合に、各サーバブレードの OS をシャットダウンしてから、シャーシのメイン電源を切ります。使用する場合は、「 <a href="#">[4.1 リモート電源切断に関する留意事項]</a> 」(→ P.141) をご覧ください。
Fans Test	ファン故障の予兆監視のために、指定した時刻 (Daily test time) に、ファンの動作テストをします。
Daily test time	• hour : minute : 時刻を設定します。時間は 24 時間形式で入力します。 • disabled : ファンの動作テストをしません。 <input type="checkbox"/> Fan test at every start-up チェックを付けると、シャーシのメイン電源を入れるたびにファンの動作テストをします。
Fans Live Time Counter	システムファンユニットの稼動時間と寿命時間を表示します。
Component Name	システムファンモジュール 1 ~ 4 の名称を表示します。
Installation Date	本マネジメントブレードでは使用できません。
Life Time	本マネジメントブレードでは使用できません。
Expiry Date	本マネジメントブレードでは使用できません。
Running time	システムファンユニットの稼動時間を表示します。
Expiry Reporting Date	本マネジメントブレードでは使用できません。
Status	システムファンユニットの状態を表示します。
Contact Check Box	本マネジメントブレードでは使用できません。
Apply	本マネジメントブレードでは使用できません。
Reset	本マネジメントブレードでは使用できません。

## ● Reset management Blade

マネジメントブレードを再起動します。

「Reset Management Blade」をクリックすると、マネジメントブレードが再起動されます。

### POINT

- ▶ マネジメントブレードの再起動をしても、シャーシのメイン電源およびサーバブレードの電源状態は保持されます。
- ▶ マネジメントブレードが冗長構成の場合に再起動をすると、マスターとスレーブが切り替わります。その間の 30 秒間はネットワークインターフェースによる通信ができません。

## ■ LAN Interface

ネットワーク構成の設定をします。

各項目を設定後「Apply LAN Configuration」をクリックすると、設定が反映されます。

一部の設定は、マネジメントブレードの再起動後に反映されます。再起動については、[「Reset management Blade」（→ P.30）](#)をご覧ください。

LAN Interface
? ↓

**Internet Protocol** \* The setting will be effective after reboot

Use DHCP  disable  enable

IP Address	192	.	168	.	1	.	1
Subnet Mask	255	.	255	.	255	.	0
Gateway	0	.	0	.	0	.	0
Default Route	LAN						

Domain Name Server

DNS Server 1	0	.	0	.	0	.	0
DNS Server 2	0	.	0	.	0	.	0

HTTP

Port  \* The setting will be effective after 10 seconds

Telnet

Port

DropTime  seconds \* The range is 30~65535 and 0 means disable timeout

NTP

disable  enable

NTP Server 1	0	.	0	.	0	.	0
NTP Server 2	0	.	0	.	0	.	0

Sync Mode

The Latest Sync Date/Time Not Ready

SSL

HTTP SSL  disable  enable \* The setting will be effective after 15 seconds

Telnet SSL  disable  enable

Duplex Mode

Execution Mode Auto-Negotiation

Setting Mode

? ↑

## ● Internet Protocol

IP アドレスなどの設定をします。DHCP を使用すると、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」の設定が不要になります。

表示／設定項目	説明
Use DHCP	DHCP の設定をします。 ・ enable : DHCP を使用します。 ・ disable : DHCP を使用しません。 設定を有効にするために、マネジメントブレードを再起動してください。
IP Address	DHCP の設定が「disable」の場合、マネジメントブレードの IP アドレスを設定します。 ご購入時の設定 : 192.168.1.1 設定を有効にするために、マネジメントブレードを再起動してください。
Subnet Mask	DHCP の設定が「disable」の場合、マネジメントブレードのサブネットマスクを設定します。 ご購入時の設定 : 255.255.255.0 設定を有効にするために、マネジメントブレードを再起動してください。
Gateway	DHCP の設定が「disable」の場合、マネジメントブレードのゲートウェイの IP アドレスを設定します。
Default Route	通常は使用しません。「LAN」以外に変更しないでください。

### POINT

- ▶ 再起動については、「[Reset management Blade](#)」(→ P.30) をご覧ください。

## ● Domain Name Server

DNS の設定をします。

表示／設定項目	説明
DNS Server 1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

## ● HTTP

HTTP のポート番号の設定をします。

表示／設定項目	説明
Port	管理端末でアクセスするときの HTTP のポート番号を設定します。 ご購入時の設定 : 80

### POINT

- ▶ ポート番号の設定は変更してから約 10 秒後に有効になります。

## ● Telnet

Telnet のポート番号などの設定をします。

表示／設定項目	説明
Port	管理端末でアクセスするときの Telnet のポート番号を設定します。 ご購入時の設定 : 3172
Drop Time	休止状態の Telnet 接続が自動的に切れるまでの時間（秒）を設定します。 設定できる範囲は 30 ~ 65535 秒です。この機能を無効にする場合は、0 を設定してください。 また、設定した値は CLI 上のタイムアウト時間「Management Agent Timeout(Sec)」と共通になります。

## ● NTP

NTP の設定をします。

表示／設定項目	説明
NTP	NTP を使用したマネジメントブレードの時刻の設定をします。同期する方法は「SyncMode」で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ enable : NTP を使用します。</li> <li>・ disable : NTP を使用しません。</li> </ul>
NTP Server 1	プライマリ NTP サーバの IP アドレスを設定します。
NTP Server 2	セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを設定します。
Sync Mode	時刻の同期モードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Sync Afterward マネジメントブレードより NTP サーバの時刻が進んでいるときだけ、マネジメントブレードの時刻を NTP サーバと合わせます。データベースなど時間に注意が必要な用途で使用している場合は、このモードを選択してください。</li> <li>・ Sync Always マネジメントブレードの時刻を、15 分おきに NTP サーバと合わせます。</li> </ul>
The Latest Sync Date/Time	マネジメントブレードが NTP サーバと最後に合わせた時刻を表示します。

### POINT

- ▶ NTP を「enable」に設定したときは、「The Latest Sync Date/Time」で時刻が同期されているか必ず確認してください。設定直後は、表示に時間がかかる場合がありますので、ヘッダー領域の「再読み込み」を何度もクリックしてください。

## ● SSL

SSL の設定をします。

SSL バージョン 3 を使用できます。

表示／設定項目	説明
HTTP SSL	HTTP SSL の設定をします。 • enable : HTTP SSL を使用します。 • disable : HTTP SSL を使用しません。
Telnet SSL	Telnet SSL の設定をします。 • enable : Telnet SSL を使用します。 • disable : Telnet SSL を使用しません。

### ※ 重要

- ▶ SSL を使用するためには、Web ブラウザや端末エミュレータで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。また、Web ブラウザで SSL バージョン 2 が有効になっている場合は無効に変更してください。

## ● Duplex Mode

転送速度の設定をします。

表示／設定項目	説明
Execution Mode	現在選択されているモードを表示します。
Setting Mode	転送速度を設定します。 • Auto-Negotiation : オートネゴシエーション • 100 Full Mode : 100Mbps 全二重固定 • 100 Half Mode : 100Mbps 半二重固定 • 10 Full Mode : 10Mbps 全二重固定 • 10 Half Mode : 10Mbps 半二重固定

## ■ SNMP Interface

SNMP の情報を設定します。

### ● SNMP Communities

SNMP のコミュニティ名を設定します。

- ・ コミュニティ名を設定するには、「Community」にコミュニティ名を入力して「New Community」をクリックします。最大 5 個まで登録できます。
- ・ 「Permission」を選択し「Apply」をクリックすると、チェックを付けたコミュニティの「Permission」を変更できます。
- ・ 「Delete」にチェックを付けて「Apply」をクリックすると、チェックを付けたコミュニティを削除できます。

#### POINT

- ▶ ServerView Operations Manager や SystemcastWizard などの SNMP で通信するソフトウェアを使用する場合は同じコミュニティ名を設定してください。

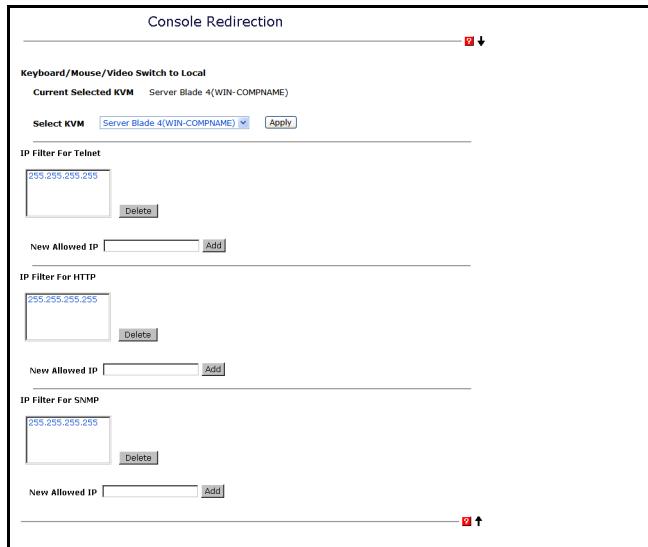
### ● SNMP Trap Destination

SNMP トラップの送信先を設定します。

- ・ 送信先を設定するには、「Destination」および「Community」に送信先の IP アドレスとコミュニティ名を入力して「Apply」をクリックします。  
最大 5 個までの送信先を登録できます。
- ・ 「Delete」にチェックを付けて「Apply」をクリックすると、チェックを付けたトラップの送信先を削除できます。

## ■ Console Redirection

KVM（キーボード、ディスプレイ、マウス）の切り替えと、IP フィルタリングの設定をします。



### ● Keyboard/Mouse/Video Switch to Local

キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するサーバブレードを設定します。

- **Current Selected KVM**

現在選択されている状態が表示されます。

- **Select KVM**

搭載されているサーバブレードの一覧がプルダウンで表示されます。キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するサーバブレードを選んで「Apply」をクリックします。

### ● IP Filter For Telnet/IP Filter For HTTP/IP Filter For SNMP

IP フィルタリングの設定をします。最大 10 個の IP アドレスをできます。

ボックスの中には接続を許可している IP アドレスが表示されます。

- **IP フィルタの削除**

ボックスの中に表示されている IP アドレスから、削除する IP アドレスを選択して「Delete」をクリックすると、IP アドレスを削除できます。

#### POINT

- ▶ IP Filter For Telnet と IP Filter For HTTP では、IP フィルタリングをしない設定として、「255.255.255.255」がご購入時の状態で登録されています。必要に応じて削除してください。フィルタリングの設定をする前に「255.255.255.255」を削除してしまうと、Web UI や Telnet 経由での CLI が利用できなくなります。

- **New Allowed IP**

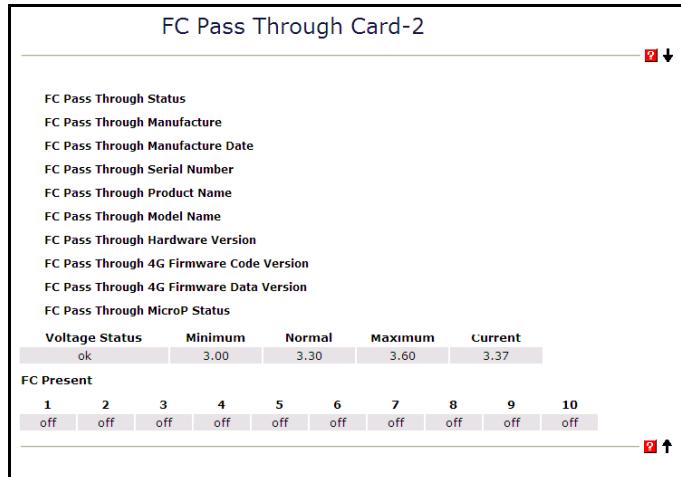
接続を許可する IP アドレスを登録します。

接続を許可する IP アドレス（例：192.168.1.2）を入力し、「Add」をクリックします。

IP アドレスは、最大 10 個まで登録できます。

## ■ Fiber Channel

ファイバーチャネルパススループレードの状態を表示します。



### ● FC Pass Through Card-1 / FC Pass Through Card-2

ファイバーチャネルパススループレード 1、2 の状態を表示します。

表示／設定項目	説明
FC Pass Through Status	ファイバーチャネルパススループレードの状態を表示します。
FC Pass Through Manufacture	製造元を表示します。
FC Pass Through Manufacture Date	製造年月日を表示します。
FC Pass Through Serial Number	シリアル番号を表示します。
FC Pass Through Product Name	製品名を表示します。
FC Pass Through Model Name	モデル名を表示します。
FC Pass Through Hardware Version	ハードウェア版数を表示します。
Voltage Status	ファイバーチャネルパススループレードの電圧を表示します。 • Minimum : 最小値 • Normal : 通常の値 • Maximum : 最大値 • Current : 現在の値
FC Pass Through 4G Firmware Code Version	ファームウェアのプログラム版数を表示します。
FC Pass Through 4G Firmware Data Version	ファームウェアのデータ版数を表示します。
FC Pass Through MicroP Status	マイクロプロセッサの状態を表示します。
FC Present	ファイバーチャネルモジュールの接続状態を表示します。

## ■ System Information

エージェント情報、時刻、タイムゾーンの設定をします。

### ● Agent Information

SNMP エージェント情報の設定をします。

表示／設定項目	説明
Name	マネジメントブレードのシステム名を設定します。 ServerView Operations Manager を使用する場合は設定することをお勧めします。
Location	マネジメントブレードの設置場所を設定します。
Contact	システム管理者の連絡先を設定します。

### ● Daylight Saving Time

通常は使用しません。設定しないでください。

### ● Controller Time

マネジメントブレードの時刻を設定します。

表示／設定項目	説明
(MM/DD/YYYY)	日付を設定します（表示される日付はアクセス時のものです）。
(HH:MM:SS)	時刻を 24 時間形式で設定します（表示される時間はアクセス時のものです）。

### ● Time Zone

マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。

表示／設定項目	説明
Time Zone	タイムゾーンを設定します。

## ■ User Accounts

ユーザー名、パスワードなどの管理をします。  
 この操作をするためには管理者権限が必要です。  
 既存のユーザー名または「Add New User Account」をクリックします。

### POINT

- ▶ 管理者権限を持つユーザー名「root」（パスワード「root」）が出荷時に設定されています。
- ▶ 登録できるユーザー数は「root」を含めて 10 ユーザーです。

表示／設定項目	説明
Name	新しいユーザー名を設定します。
Password	パスワードを設定します。大文字・小文字は区別されます。
Confirm Password	確認のためパスワードを再度設定します。
Permissions	ユーザーの権限を設定します。 [注] <ul style="list-style-type: none"> <li>• Read Only (LOGIN) : 設定の読み取りができます。</li> <li>• Modify values : 設定の読み書きができます。</li> <li>• Configure users : マネジメントブレードのユーザーアカウント管理ができます。</li> <li>• Reset/Switch Off : リセットや電源切断ができます。</li> <li>• Access EMP via CLI : 使用できません。</li> <li>• KVM User (incl. KVM configuration rights) :                              高機能 KVM モジュールのグラフィカルコンソールリダイレクション機能を利用できます。                         </li> </ul>
KVM perm expiration date	高機能 KVM を使用したサーバブレードへのリモートアクセスの権限有効時間を設定します。すべてのユーザーに対して設定が必要です。 ご購入時には、有効期間は、アカウント作成後 1ヵ月に設定されています。

注：「KVM User (incl. KVM configuration rights)」の権限を設定する場合は、他のすべての権限にもチェックを付けてください。

ユーザーを削除するには、「Delete User Account」にチェックを付けて「Apply」をクリックします。

### POINT

- ▶ ユーザー「root」は削除できません。

## ■ Deployment Table

Deployment ソフトなどで使用するパラメータの表示と設定をします。Deployment パラメータは各種の Deployment ソフトや ServerView Operations Manager などで使用されます。プルダウンメニューからサーバブレードを選択し、サーバブレードに対する Deployment パラメータを設定します。

表示／設定項目	説明
Chassis ID	シャーシの ID を表示します。
Slot ID	サーバブレードが搭載されているスロット番号を表示します。
MAC Address 1 MAC Address 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の MAC アドレスを表示します。
IP Address 1 IP Address 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の IP アドレスを表示します。
Subnet Mask 1 Subnet Mask 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のサブネットマスクを表示します。
Default Gateway 1 Default Gateway 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のデフォルトゲートウェイを表示します。
Hostname	サーバブレードのホスト名を設定します。
MasterImageReference	マスターイメージのディレクトリを設定します。
Status of Blade	サーバブレードの現在の状態を表示します。
Lan Status of slot	LAN の状態を表示します。
AutomaticRecovery	自動復元機能を設定します。
Status of Cloning	クローニングの状態を表示します。
OEM parameters 1-10	OEM パラメータを指定します。

### ■ 重要

- 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Hostname」、「MasterImageReference」などは ServerView Operations Manager などのソフトウェアにより自動的に設定されます。各種の Deployment ソフトの操作上変更が必要な場合以外は、設定を変更しないでください。

## ■ PPP and Modem Setting

通常は使用しません。設定しないでください。

### 2.3.3 Management Blade

---

マネジメントブレードの情報を表示します。

マネジメントブレード名をクリックすると、選択したマネジメントブレードの情報が表示されます。

表示／設定項目	説明
Blade Information	ブレード情報
Play Role	マネジメントブレードの動作モードを表示します。 ・ master : マスター モードで動作し、シャーシ全体を管理します。 ・ slave : スレーブ モードで動作し、マスターのマネジメントブレードを監視します。マスターのマネジメントブレードが故障した場合は、シャーシ全体の管理を引き継ぎます。
Manufacture	製造元を表示します。
Produce Date	製造年月日を表示します。
Serial Number	シリアル番号を表示します。
Product Name	製品名を表示します。
Model Name	モデル名を表示します。
MAC Address	管理用の MAC アドレスを表示します。
Firmware Version	ファームウェアの版数を表示します。
Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。
Change Management Role to Slave	通常は使用しません。マネジメントブレードが冗長構成でない場合は表示されません。
Change Management Role to Master	

### 2.3.4 Lan Switch Blade

---

LAN スイッチブレードの情報の表示と設定をします。

LAN スイッチブレード名をクリックすると、選択した LAN スイッチブレードの情報が表示されます。

表示／設定項目	説明
「Blade Info」 ( <a href="#">→ P.42</a> )	LAN スイッチブレードの各種情報の設定と表示をします。
「Backup/Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	LAN スイッチブレードの各種設定のバックアップや復元をします。
「Backup/Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	バックアップ、復元をします。
「Last Action」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	前回に実施した作業の内容を表示します。
「Auto Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	バックアップした設定を LAN スイッチブレードへ自動復元する設定をします。

#### POINT

- ▶ LAN スイッチブレードの表示情報を更新するには、「Reload」をクリックします。ただし、LAN スイッチブレードの交換直後は、更新されません。

## ■ Blade Info

LAN スイッチブレードの各種情報の設定と表示をします。

表示／設定項目	説明	
Status	Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。 LAN スイッチブレードの状態を表示します。 • ok : 正常に動作しています。 • fail : BIOS クラッシュまたは POST (Power On Self Test : 起動時に行われる装置チェック) エラーが発生しています。	
Located LED	LAN スイッチブレード判別機能を利用して保守ランプの設定をします。複数の LAN スイッチブレードを判別するために使用します。 • blinking : LAN スイッチブレードの保守ランプを点滅させます。 • off : この機能を使用しません。	
Blade Information	ブレード情報	
Manufacture	製造元を表示します。	
Produce Date	製造年月日を表示します。	
Serial Number	シリアル番号を表示します。	
Product Name	製品名を表示します。	
Model Name	モデル名を表示します。	
Board Version	ボードの版数を表示します。	
Firmware Version	ファームウェアの版数を表示します。	
Network Setting	ネットワーク設定	
Mac Address	LAN スイッチブレードの管理用の MAC アドレスを表示します。	
URL Address	LAN スイッチブレードの Web UI の URL を表示します。 クリックするとそのページにジャンプします (ネットワークの配線と設定が必要です)。	
DHCP	DHCP を使用する場合、チェックを付けます。	
IP Address	DHCP を使用しない場合、LAN スイッチブレードの管理用の IP アドレスを設定、表示します。	
Subnet Mask	DHCP を使用しない場合、LAN スイッチブレードのサブネットマスクを設定、表示します。	
Gateway Address	DHCP を使用しない場合、LAN スイッチブレードのゲートウェイアドレスを設定、表示します。	
Apply	「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway Address」で設定した値を、LAN スイッチブレードに適用します。 設定は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイル「backupexi」に保存されます。	
Reload	LAN スイッチブレードの表示情報を更新します。	
Switch Blade Period polling	Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。 マネジメントブレードが Cisco Catalyst Blade Switch 3040 を定期的に確認する設定をします。	
Set Password for Polling Account	Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。 マネジメントブレードに、Cisco Catalyst Blade Switch 3040 のログインパスワードを記録します。	
Reset Switch Blade	LAN スイッチブレードを再起動します。 「Reboot」をクリックすると、確認画面が表示されます。確認画面の「YES」をクリックすると、LAN スイッチブレードが再起動されます。	

## ■ Backup/Restore

LAN スイッチブレードの各種設定のバックアップや復元をします。

### ※ 重要

- ▶ LAN スイッチブレード（PG-SW106、PG-SW107）は、この機能を使用できません。
- ▶ LAN スイッチブレード（PG-SW106、PG-SW107）の各種設定のバックアップや復元を行う場合は、各スイッチブレードで、TFTP による設定のバックアップや復元をしてください。詳しくは、お使いの LAN スイッチブレードのマニュアルをご覧ください。

### ● Backup/Restore

バックアップ、復元をします。

表示／設定項目	説明
backup	選択した LAN スイッチブレードの設定をマネジメントブレードにバックアップします。
force-restore	マネジメントブレードにバックアップされている設定を、現在搭載されている LAN スイッチブレードに対して復元します。復元された設定情報は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup_cfg」というファイル名で保存されます。

### ● Last Action

前回に実施した作業の内容を表示します。

表示／設定項目	説明
Last Done Backup file time	前回にバックアップを実施した時間を表示します。
View Backup File	バックアップした設定を表示します。

### ● Auto Restore

バックアップした設定を LAN スイッチブレードへ自動復元する設定をします。

「enable」に設定すると、新たに LAN スイッチブレードがシャーシに搭載された場合のみ自動復元されます。復元された設定情報は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup\_cfg」というファイル名で保存されます。

### 2.3.5 PHY Module (LAN パススルーブレード搭載時)

LAN パススルーブレードの情報を表示します。

LAN パススルーブレードをクリックすると、選択した LAN パススルーブレードの情報が表示されます。

表示／設定項目	説明
LAN Pass Thru Manufacture	製造元を表示します。
LAN Pass Thru Manufacture Date	製造年月日を表示します。
LAN Pass Thru Serial Number	シリアル番号を表示します。
LAN Pass Thru Product Name	製品名を表示します。
LAN Pass Thru Model Name	モデル名を表示します。
LAN Pass Thru Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。
LAN Pass Thru Firmware Version	ファームウェアの版数を表示します。

## 2.3.6 FC Switch Blade (ファイバーチャネルスイッチブレード搭載時)

ファイバーチャネルスイッチブレードの情報の表示と設定をします。

ファイバーチャネルスイッチブレードをクリックすると、選択したファイバーチャネルスイッチブレードの情報が表示されます。

表示／設定項目	説明
Located LED	ファイバーチャネルスイッチブレード判別機能を利用して保守ランプの設定をします。複数のファイバーチャネルスイッチブレードを判別するため使用します。 ・ off : この機能を使用しません。 ・ blinking : ファイバーチャネルスイッチブレードの保守ランプを点滅させます。
Power Switch	ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を制御します。 ・ off : ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を切れます。 ・ power on : ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を入れます。
FC Switch Manufacture	製造元を表示します。
FC Switch Manufacture Date	製造年月日を表示します。
FC Switch Serial Number	シリアル番号を表示します。
FC Switch Product Name	製品名を表示します。
FC Switch Product Number	製品番号を表示します。
FC Switch Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。
Switch Domain ID	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているドメインIDを表示します。
Apply Domain ID Setting	クリックすると、設定したドメインIDを反映します。
Switch Name	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されている名前を表示します。
IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースのIPアドレスを表示します。
Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースのサブネットマスクを表示します。
Gateway Address	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているゲートウェイアドレスを表示します。
Apply Network Setting	クリックすると、設定したネットワーク情報を適用します。
Reload	クリックすると、設定内容の再読み込みをします。
FC Switch Blade Period Polling	マネジメントブレードがファイバーチャネルスイッチブレードを定期的に確認する設定をします。 「enable」をチェックを付けて「Apply」をクリックすると、定期的な設定確認が有効になります。
Set Password for Polling Account	マネジメントブレードに、ファイバーチャネルスイッチブレードのログインパスワードを記録します。
Reset	ファイバーチャネルスイッチブレードを再起動します。

## 2.3.7 DKVM Blade (PG-KVB103 搭載時)

高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の情報の表示とファームウェアの管理をします。  
また、リモートで KVM を使用するためのツールを起動します。

表示／設定項目	説明
「Blade Info」 <a href="#">(→ P.46)</a>	高機能 KVM モジュールの情報を表示します。
「Network Configuration」 <a href="#">(→ P.47)</a>	高機能 KVM モジュールのネットワークの設定をします。
「Console Redirection」 <a href="#">(→ P.47)</a>	コンソールリダイレクション機能の設定をします。
「Console Redirection」 <a href="#">(→ P.47)</a>	Video Viewer を起動します。
「Virtual Media」 <a href="#">(→ P.47)</a>	リモート接続する機器の設定をします。
「Virtual Media Redirection」 <a href="#">(→ P.47)</a>	Virtual Media を起動します。
「FW Update」 <a href="#">(→ P.48)</a>	高機能 KVM モジュールのファームウェアをアップデートします。

### POINT

- ▶ 高機能 KVM モジュールの設定をするためには、マネジメントブレードの Web UI を使用します。CLI では、設定できません。

### ■ Blade Info

高機能 KVM モジュールの情報を表示します。

表示／設定項目	説明
KVM blade Manufacture	製造元を表示します。
KVM blade Manufacture Date	製造年月日を表示します。
KVM blade Serial Number	シリアル番号を表示します。
KVM blade Product Name	製品名を表示します。
KVM blade Model Name	モデル名を表示します。
KVM blade Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。

## ■ Network Configuration

高機能 KVM モジュールのネットワークの設定をします。

設定を変更するときは、各項目を設定した後「Apply Changes」をクリックします。

表示／設定項目	説明
Use DHCP (For KVM IP Address)	高機能 KVM モジュールの IP アドレスの自動取得（DHCP を有効にする）を設定します。DHCP を有効にすると、「KVM IP Address」、「KVM Gateway」、「KVM Subnet Mask」の設定は不要です。
KVM IP Address	高機能 KVM モジュールの IP アドレスを設定します。
KVM Gateway	高機能 KVM モジュールのゲートウェイアドレスを設定します。
KVM Subnet Mask	高機能 KVM モジュールのサブネットマスクを設定します。
Keyboard/Mouse Port Virtual Media Port Video Port	高機能 KVM モジュールで使用する各ポートを設定します。
Web Server HTTP Port	使用できません。
Network Speed	ネットワークのスピードを選択します。
Duplex Mode	通信方式を選択します。 ・ on : 全二重通信 ・ off : 半二重通信
Auto Negotiation	オートネゴシエーション機能を使用するかしないか選択します。
Mac Address	高機能 KVM モジュールの管理用の MAC アドレスを表示します。
Reset	高機能 KVM モジュールを再起動します。

## ■ Console Redirection

コンソールリダイレクション機能の設定をします。

### ● Console Redirection

Video Viewer を起動します。

プルダウンメニューからサーバブレードを選択して「Launch」をクリックすると、Video Viewer が起動し、サーバブレードの画面を操作できます。

Video Viewer によるコンソールリダイレクションについて、詳しくは『シャーシハードウェアガイド』の「付録 C 高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の操作」をご覧ください。

## ■ Virtual Media

リモート接続する機器の設定をします。

### ● Virtual Media Redirection

Virtual Media を起動します。

プルダウンメニューからサーバブレードを選択して「Launch」をクリックすると、Virtual Media が起動し、管理端末のフロッピーディスクドライブや DVD ドライブの接続設定ができます。

Virtual Media によるフロッピーディスクドライブや DVD ドライブの設定について、詳しくは『シャーシハードウェアガイド』の「付録 C 高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の操作」をご覧ください。

## ■ FW Update

高機能 KVM モジュールのファームウェアをアップデートします。

アップデートをするときは、各項目を設定した後「Update Firmware」をクリックします。

表示／設定項目	説明
Image Name	高機能 KVM モジュールのアップデート用ファイル名を入力します。
TFTP IP Address	TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

## 2.3.8 Server Blade

サーバブレード、ストレージブレードの情報の表示と設定をします。

サーバブレードをクリックすると、選択したサーバブレードの情報が表示されます。

表示／設定項目	説明
「Recovery」 <a href="#">(→ P.49)</a>	異常発生時の設定、BIOS 設定情報のバックアップや復元設定、電源設定とスケジュール、起動オプションなどの設定をします。
「ASR, server blade n」 <a href="#">(→ P.49)</a> [注]	サーバブレードの OS 起動失敗時の設定をします。
「Auto Configuration, server blade n」 <a href="#">(→ P.50)</a> [注]	サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元をします。
「Power Control, server blade n」 <a href="#">(→ P.51)</a> [注]	サーバブレードの電源の設定をします。
「Boot Option, server blade n」 <a href="#">(→ P.52)</a> [注]	サーバブレードの起動方法を設定します。
「Blade Info」 <a href="#">(→ P.53)</a>	サーバブレードやストレージブレードの情報の表示と設定をします。
「Blade Info, server blade n」 <a href="#">(→ P.53)</a> [注]	サーバブレードの情報の表示や電源ランプの設定をします。
「Memory Modules, server blade n」 <a href="#">(→ P.54)</a> [注]	メモリの情報を表示します。
「Voltage, server blade n」 <a href="#">(→ P.54)</a> [注]	電圧の情報を表示します。
「Temperature, server blade n」 <a href="#">(→ P.54)</a> [注]	温度の情報を表示します
「Storage Blade Info,server blade n (ストレージブレード搭載時)」 <a href="#">(→ P.55)</a> [注]	ストレージブレードの情報を表示します。

注：n は搭載スロット番号です。

また、サーバブレードの電源の状態と KVM (キーボード／ディスプレイ／マウス) のセレクト位置をアイコンで表示します。

アイコン	説明
	電源 OFF の状態です。
	電源 ON の状態です。
	KVM が選択されて、電源 OFF の状態です。
	KVM が選択されて、電源 ON の状態です。

## ■ Recovery

異常発生時の設定、BIOS 設定情報のバックアップや復元設定、電源設定とスケジュール、起動オプションなどの設定をします。

### ● ASR, server blade n

- **Software Watchdog**

ServerView Operations Manager により設定します。

- **Boot Watchdog**

サーバブレードの OS 起動監視の設定をします。サーバブレードの POST が終了してからタイムアウト時間の間に ServerView エージェントとの通信が開始されない場合、OS 起動失敗を検出し、設定したアクションを実行します。

表示／設定項目	説明
Boot Watchdog	OS 起動監視（Boot ウォッチドッグ）を設定します。 • enable : OS の起動を監視します。 • disable : OS の起動を監視しません。
Watchdog Time	OS 起動失敗を検出するまでの時間を選択します。
Watchdog Action	OS 起動に失敗した時のアクションを設定します。設定する場合は、 <a href="#">[4.1 リモート電源切断に関する留意事項]（→ P.141）</a> をご覧ください。 • no-action : そのままの状態で何もしません。 • hard reset : サーバブレードを再起動します。 • off : サーバブレードの電源を切れます。 • graceful shutdown and power-cycle : サーバブレードの電源を切った後、再度電源を入れます。
Maximum Restart Retries	OS 起動に失敗した場合にリトライする回数を設定します。 「0」を設定した場合、リトライはしません。

### 重要

- ▶ サーバブレードに ServerView Operations Manager をインストールしない場合は、「Boot Watchdog」を「disable」に設定してください。「enable」に設定した場合、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をします。
- ▶ CD/DVD やフロッピーディスクなどからシステムを起動する場合は、「Boot Watchdog」を「disable」に設定してください。「Boot Watchdog」を「enable」のままで起動すると、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をします。  
「Boot Watchdog」を「enable」で運用する場合は、運用を再開する前に、再度設定を「enable」にしてください。
- ▶ 本機能の設定時には「ServerView Suite DVD2」内の ServerView Suite マニュアルをご覧になり、仕様と運用方法をご理解のうえ、正しく設定してください。

### POINT

- ▶ OS 起動監視（Boot ウォッチドッグ）機能の有効、無効は ServerView Operations Manager からも設定できます。

## ● Auto Configuration, server blade n

サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元をします。

### • Server Blade n System CMOS Configuration Backup/Restore

サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティによって設定された BIOS 設定情報のバックアップ、復元処理をします。

サーバブレードの電源を入れた後、POST が終了するまで操作できません。その場合は「Not ready to backup/restore, now!!」と表示されます。

### 重要

- ▶ 次のいずれかの場合、必ず BIOS 設定情報のバックアップをしてください。
  - ・サーバブレードを初めて使用する場合
  - ・BIOS セットアップユーティリティで情報を変更した場合
  - ・サーバブレードのメモリの増減・変更などハードウェア構成を変更した場合
  - ・BIOS 版数を更新した場合
- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみバックアップ、復元することができます。  
オンボード SAS アレイコントローラの BIOS 設定情報はバックアップ、復元できません。
- ▶ バックアップ、復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。

### • CMOS Backup

BIOS 設定情報をマネジメントブレードにバックアップします。

### • CMOS Restore

マネジメントブレードにバックアップした BIOS 設定情報を復元します。

### 重要

- ▶ BIOS 設定情報ファイルをバックアップしたサーバブレードと復元先のサーバブレードのタイプが異なる場合、または BIOS 版数が異なる場合は、この機能を使用しないでください。

復元した BIOS 設定情報を有効にするためにはサーバブレードを再起動してください。

表示／設定項目	説明
CMOS File	マネジメントブレードにバックアップされている BIOS 設定情報ファイルを表示します。「スロット番号：MAC アドレス：バックアップした日付：BIOS 版数」がファイル名として付けられています。復元したい設定ファイルを選択してください。
Restore Policy	サーバブレードに BIOS 設定情報を復元する条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ smart-restore : BIOS 設定情報をバックアップしたサーバブレードと、復元対象のサーバブレードの MAC アドレスとスロット番号が同じ場合に、BIOS 設定情報を復元します。</li> <li>・ force-restore : 強制的に BIOS 設定情報を復元します。</li> </ul>

## ● Power Control, server blade n

サーバブレードの電源の設定をします。

### • Power Status / Power Switch

表示／設定項目	説明
Power on	サーバブレードの電源を入れます。
graceful shutdown and off	サーバブレードで動作する ServerView エージェントが OS のシャットダウンをし、電源を切ります。[注]
graceful shutdown and power-cycle	サーバブレードで動作する ServerView エージェントが OS のシャットダウンをし、電源を切った後、再度電源を入れます。[注]
hard reset	サーバブレードを強制的に再起動します。
NMI	通常は選択しないでください。
Hard Power off	サーバブレードの電源を強制的に切れます。

注：この機能を使用する場合は「[4.1 リモート電源切断に関する留意事項](#)」（→ P.141）をご覧ください。対応していないサーバブレードに対してこの操作をした場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、設定しないでください。

### ■ 重要

- ▶ サーバブレードの電源切断を指示した後、すぐに電源を入れる場合は、必ず 10 秒以上待ってから電源を入れてください。

### • Power On/Off

サーバブレードのスケジュール運転の設定をします。

毎日同じ設定でスケジュール運転をする場合には、「Everyday」の「On Time」、「Off Time」を設定して「Everyday」をクリックします。

表示／設定項目	説明
On Time	<ul style="list-style-type: none"> <li>• hour : minute : 各曜日に対してサーバブレードの電源を入れる時刻を「時 : 分」で設定します。時間は 24 時間形式で入力します。</li> <li>• disabled : 電源を入れる時刻を設定しません。</li> </ul>
Off Time	<ul style="list-style-type: none"> <li>• hour : minute : 各曜日に対してサーバブレードの電源を切る時刻を「時 : 分」で設定します。時間は 24 時間形式で入力します。[注]</li> <li>• disabled : 電源を切る時刻を設定しません。</li> </ul>

注：この機能を使用する場合は「[4.1 リモート電源切断に関する留意事項](#)」（→ P.141）をご覧ください。対応していないサーバブレードに対してこの操作をした場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、設定しないでください。

### • Power Setting

「Off Time」にサーバブレードのシャットダウンが失敗した場合に、強制的に電源を切る動作を設定します。次のチェックボックスにチェックを付け、シャットダウンが失敗してから強制的にサーバブレードの電源を切る時間を設定します。

- When power off fail, force power off after n minutes. (n は 1 ~ 7 分が選択できます)

## ● Boot Option, server blade *n*

サーバブレードの起動方法を設定します。

- **Boot Option Selected**

起動方法を設定します。

表示／設定項目	説明
normal	サーバブレードの OS を起動するデバイスの順番を、 BIOS に設定されている状態にします。
pxe-lan-1 ~ pxe-lan-6	サーバブレードの OS 起動時に、 LAN ポート 1 ~ 6 のうちいずれかを使用した PXE ブートを最初に実行します。
add-in-pci-lan-1 / add-in-pci-lan-2	サーバブレードの OS 起動時に、拡張カードスロットモジュールに搭載された LAN カードのポート 1 またはポート 2 を使用した PXE ブートを最初に実行します。

- **Set BIOS recovery flash bit**

使用しません。設定をしないでください。

- **Boot CPU Operating**

サーバブレードに搭載されている CPU の動作モードを表示します。

表示／設定項目	説明
Performance	CPU は Performance モードで動作しています。
not-ready	CPU は動作していません。

## ■ Blade Info

サーバブレードやストレージブレードの情報の表示と設定をします。  
ブレードを搭載した直後は、正しい値が表示されないので、30秒以上経過してから再度確認してください。

### ● Blade Info, server blade n

サーバブレードの情報の表示や電源ランプの設定をします。

表示／設定項目	説明
Host Name	ホスト名を設定します。半角英数字のみ使用できます。
Blade Status	サーバブレードの状態を表示します。
Server LED	サーバブレード判別機能を利用して電源ランプの設定をします。複数のサーバブレードを判別するために使用します。 ・blinking：サーバブレードの電源ランプを点滅させます。 ・off：この機能を使用しません。
OS Type	ServerView エージェントがインストールされている場合、OS のタイプを表示します。
OS Version	ServerView エージェントがインストールされている場合、OS の版数を表示します。
Model	モデル名を表示します。
Board Serial Number	シリアル番号を表示します。
Ident Serial Number	製造工場発行のシリアル番号を表示します。
Bios Version	BIOS の版数を表示します。
Firmware Version	BMC (Baseboard Management Controller : メインボード上で温度や電圧のセンサーなどを管理しているマイクロコントローラ) のファーム版数を表示します。
KME Version	KME (キーボードマウスエミュレータ) の版数を表示します。
Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。
Product Name	製品名を表示します。
Product Version	プロダクト版数を表示します。
Manufacture Date	製造年月日を表示します。
PCI Add-In Card	PCI Add-In Card の状態を表示します。
Daughter Card	サーバブレードに搭載する I/O 拡張ボード (ファイバーチャネル拡張ボードなど) の状態を表示します。
Memory Dump Flag	メモリダンプフラグの状態を表示します。
Processors	CPU の情報を表示します。
No.	CPU の番号を表示します。
Status	CPU の状態を表示します。
Type	CPU のタイプを表示します。
Frequency	CPU の動作周波数を表示します。
External Clock	CPU パスの動作周波数を表示します。
CPU ID	CPU のステッピングを表示します。
Socket	CPU のソケット位置を表示します。

表示／設定項目	説明
Network Interface Card	ネットワークインターフェースに関する情報を表示します。
No.	LAN ポートの番号を表示します。
Mac Address	MAC アドレスを表示します。
IP Address	ServerView エージェントがインストールされている場合、IP アドレスを表示します。

### ● Memory Modules, server blade n

メモリの情報を表示します。

表示／設定項目	説明
No.	メモリモジュールの番号を表示します。
Status	メモリの状態を表示します。
Module Size	メモリの容量を表示します。
Type	メモリの種類を表示します。
Speed	メモリバスのスピードを表示します。
Socket Designation	メモリが搭載されている位置を表示します。

### ● Voltage, server blade n

電圧の情報を表示します。

表示／設定項目	説明
No.	電圧センサーの番号を表示します。
Status	電圧センサーの状態を表示します。
Minimum	電圧の危険下限しきい値を表示します。
Maximum	電圧の危険上限しきい値を表示します。
Nominal	電圧の公称値を表示します。
Current	電圧の現在の値を表示します。
Designation	測定している電圧の種類を表示します。

### ● Temperature, server blade n

温度の情報を表示します。

表示／設定項目	説明
No.	温度センサーの番号を表示します。
Status	温度センサーの状態を表示します。
Designation	温度センサーの測定位置を表示します。
Temp.	温度の現在の値を表示します。
Upper Warning Level	温度警告の上限値を表示します。
Upper Critical Level	温度異常の上限値を表示します。
Lower Warning Level	温度警告の下限値を表示します。
Lower Critical Level	温度異常の下限値を表示します。

### ● Storage Blade Info,server blade n (ストレージブレード搭載時)

ストレージブレードの情報を表示します。

表示／設定項目	説明
Storage Blade Manufacture	ストレージブレードの製造元を表示します。
Storage Blade Manufacture Date	ストレージブレードの製造年月日を表示します。
Storage Blade Serial Number	ストレージブレードのシリアル番号を表示します。
Storage Blade Product Name	ストレージブレードの製品名を表示します。
Storage blade Product Version	ストレージブレードのプロダクト版数を表示します。
Storage Blade Model Name	ストレージブレードのモデル名を表示します。
Storage Blade Hardware Version	ストレージブレードのハードウェア版数を表示します。

## 第3章

# CLIについて

3

この章では、マネジメントブレードでブレードシステムを管理／運用するための設定を、CLIで行う方法について説明しています。

3.1 CLI の起動 .....	57
3.2 CLI のメニュー .....	61

# 3.1 CLI の起動

ここでは、シリアルインターフェースまたはネットワーク経由の Telnet を使用した CLI（コマンドラインインターフェース）の接続方法および CLI の起動方法について説明します。

## 3.1.1 CLI の接続方法

### ■シリアルインターフェースを使用する

- マスターモードで動作しているマネジメントブレードと管理端末を RS-232C クロスケーブルで接続します。

[「シリアルインターフェースの接続と設定」\(→ P.15\)](#)

#### POINT

- マネジメントブレードの動作モードは、マネジメントブレードマスター表示ランプで確認してください。詳しくは、『シャーシハードウェアガイド』の「2.1 各部の名称と働き」をご覧ください。

スレーブモードで動作しているマネジメントブレードに接続すると「Welcome to slave console menu」画面が表示されます。次の方法で、マスターモードのマネジメントブレードにログインし直してください。

- シリアルケーブルを、マスターモードで動作しているマネジメントブレードに接続し直します。詳しくは、[「シリアルインターフェースの接続と設定」\(→ P.15\)](#) をご覧ください。

#### POINT

##### マスターモードとスレーブモードの切り替えについて

- スレーブモード用のログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、「Slave Console Menu」画面で「1. Change Role To Master」を選択して、マネジメントブレードの動作モードをスレーブモードからマスターモードに変更します。

### ■ネットワークインターフェース経由の Telnet を使用する

CLI をネットワーク経由の Telnet を用いて使用する場合は、リモートマネジメントコントローラを使用することをお勧めします。リモートマネジメントコントローラについて、詳しくは『リモートマネジメントコントローラ ユーザーズガイド』をご覧ください。

- マネジメントブレードと管理端末を LAN ケーブルで接続します。

[「ネットワークインターフェースの接続と設定」\(→ P.12\)](#)

- 管理端末で Telnet のクライアントソフトを起動して、マネジメントブレードのポート番号を指定して接続します。

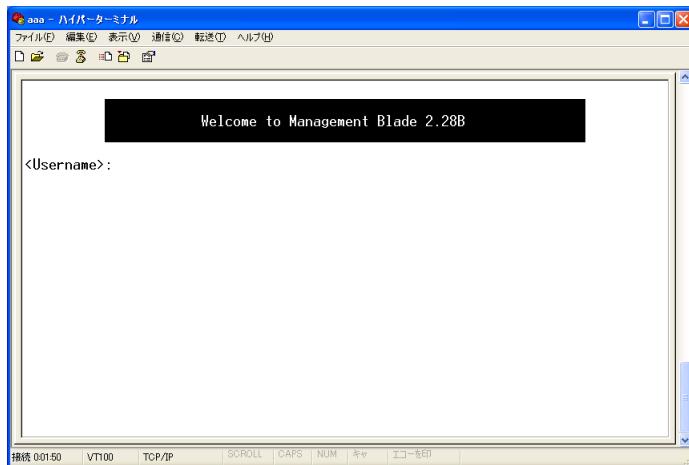
(ご購入時の設定 ポート番号 : 3172)

## 重要

- ▶ Telnet はマネジメントブレードに対して同時に 1 セッションしか開けません。
- ▶ Telnet のクライアントソフトは「VT100」の設定にする必要があります。設定方法については、ご使用のクライアントソフトのマニュアルをご覧ください。

### 3.1.2 CLI へのログイン

マネジメントブレードの動作中に管理端末上でターミナルソフトウェアを起動してしばらくすると、次のようなログイン画面が表示されます。



ここで <Username>: ユーザー名と <Password>: パスワードを入力すると、CLI にログインできます。

## POINT

- ▶ ご購入時の状態では、ユーザー名、パスワード共に「root」が設定されています。

### 3.1.3 CLI の概要

CLI の特徴は、次のとおりです。

- CLI の画面で表示されるメニュー上の数字を入力することで、情報の表示や設定、ページを移動できます。詳しくは、「[3.1.4 CLI の基本操作](#)」(→ P.60) をご覧ください。
- メニューは階層構造です。
- CLI では、一番上の階層のメニューを「Console Menu (コンソールメニュー)」といいます。詳しくは、「[3.2.1 Console Menu](#)」(→ P.61) をご覧ください。

CLI の主なメニューについては、次の表をご覧ください。

メニュー	説明
「Management Agent」 <a href="#">(→ P.62)</a>	ブレードシステムの情報表示や設定をします。
「Management Agent Information (1_1)」 <a href="#">(→ P.64)</a>	マネジメントブレードで動作するエージェントの設定をします。
「Management Blade (1_2)」 <a href="#">(→ P.75)</a>	マネジメントブレードの情報を表示します。
「System Information (1_3)」 <a href="#">(→ P.77)</a>	システム情報の表示と設定をします。
「Server Control Information Table (1_4)」 <a href="#">(→ P.93)</a>	サーバブレードの情報の表示と設定をします。
「Switch Blade (1_5)」 <a href="#">(→ P.111)</a>	LAN スイッチブレードの情報を表示します。
「Username And Password (1_6)」 <a href="#">(→ P.113)</a>	ユーザー アカウントの管理をします。
「Blue Screen」	通常は使用しません。
「Event Log (1_8)」 <a href="#">(→ P.115)</a>	イベントログの表示や記録の設定をします。
「Set System Default (1_9)」 <a href="#">(→ P.117)</a>	マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。
「Server Blade CMOS Backup/Restore (1_10)」 <a href="#">(→ P.118)</a>	サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップや復元をします。
「Switch Blade Configuration Backup/Restore (1_11)」 <a href="#">(→ P.122)</a>	LAN スイッチブレードの設定のバックアップや復元をします。
「Deployment Parameter (1_12)」 <a href="#">(→ P.125)</a>	Deployment 用パラメータの表示と設定をします。
「Power Consumption」	通常は使用しません。
「PPP and Modem Setting」	通常は使用しません。
「Fiber Channel (1_15)」 <a href="#">(→ P.127)</a>	ファイバーチャネル パススルーブレードの情報を表示します。
「PHY Module (1_16)」 <a href="#">(→ P.129)</a>	LAN パススルーブレードの情報を表示します。
「FC Switch (1_17)」 <a href="#">(→ P.131)</a>	ファイバーチャネル スイッチブレードの情報を表示します。
「Connection Module」	通常は使用しません。
「Storage Blade (1_19)」 <a href="#">(→ P.133)</a>	ストレージブレードの情報を表示します。
「Emergency Management Port」	通常は使用しません。
「Console Redirection Table」 <a href="#">(→ P.135)</a>	サーバブレードと LAN スイッチブレードのコンソール リダイレクション機能を使用します。
「Console Redirect Server Blade (3_1)」 <a href="#">(→ P.136)</a>	サーバブレードのコンソール リダイレクション機能を使用します。
「Console Redirect Switch Blade (3_2)」 <a href="#">(→ P.137)</a>	LAN スイッチブレード、およびファイバーチャネル パススルーブレードのコンソール リダイレクション機能を使用します。
「TFTP update」	通常は使用しません。
「Logout」 <a href="#">(→ P.137)</a>	CLI からログアウトしてログイン画面に戻ります。
「Reboot Management Blade」 <a href="#">(→ P.138)</a>	マネジメントブレードを再起動します。
「System Information Dump」 <a href="#">(→ P.139)</a>	ブレードシステムの情報を表示します。
「Command Line Interface」	通常は使用しません。

CLI のメニュー項目は Web UI と共にあります。必要に応じて [「第 2 章 Web UI について」\(→ P.18\)](#) もあわせてご覧ください。

### POINT

- ▶ 全設定項目メニューについては、[「付録 B CLI 設定項目メニュー一覧」\(→ P.148\)](#) をご覧ください。

## 3.1.4 CLI の基本操作

ページの移動や情報を表示する場合は、「Enter selection:」の後ろに、画面に表示されているメニューの数字を入力し、【Enter】キーを押します。  
ひとつ前のページに戻る場合は、「0」を入力し、【Enter】キーを押します。

```
+-----+
|           Console Menu          Page_root      |
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP update
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
(7) System Information Dump
(8) Command Line Interface
Enter selection:
```

- IP アドレスなどの設定値を入力する場合は、「-->」記号の後ろに、画面に表示される指示に従って数字や文字列を入力します。
- 画面に「effect after reboot」の表示がある場合は、マネジメントブレードを再起動すると、設定が有効になります。
- (ー) で表示されている項目は情報の表示のみで設定できません。
- 入力した文字列を削除するには、同じ画面で【Space】キーを押した後【Enter】キーを押します。

## 3.2 CLI のメニュー

### 3.2.1 Console Menu

CLI にログインすると、最初に Console Menu が表示されます。

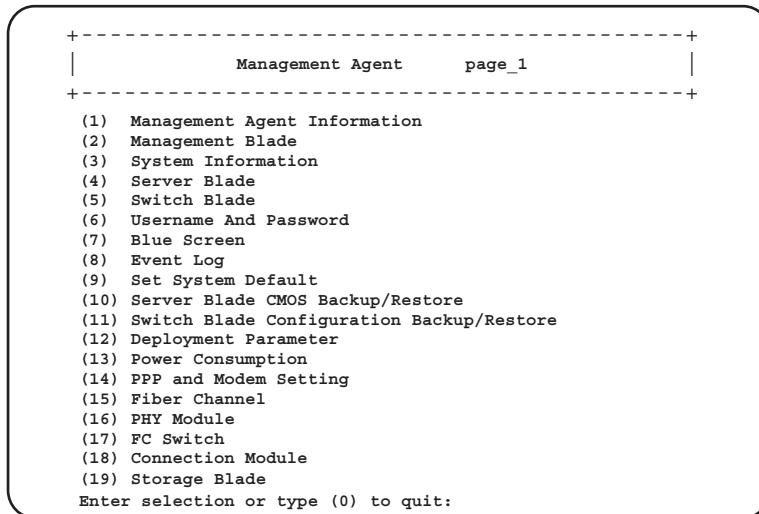
ここでは、Console Menu について説明します。

```
+-----+
|           Console Menu          Page_root |
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP update
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
(7) System Information Dump
(8) Command Line Interface
Enter selection:
```

メニュー	説明
1. Management Agent	ブレードシステムの情報表示や設定をします。 <a href="#">「3.2.2 Management Agent」（→ P.62）</a>
2. Emergency Management Port	通常は使用しません。
3. Console Redirection	サーバブレードと LAN スイッチブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。選択すると、「Console Redirection Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「3.2.3 Console Redirection Table」（→ P.135）</a>
4. TFTP update	通常は使用しません。
5. Logout	CLI からログアウトしてログイン画面に戻ります。 <a href="#">「3.2.4 Logout」（→ P.137）</a>
6. Reboot Management Blade	マネジメントブレードを再起動します。 <a href="#">「3.2.5 Reboot Management Blade」（→ P.138）</a>
7. System Information Dump	ブレードシステムの情報を表示します。 <a href="#">「3.2.6 System Information Dump」（→ P.139）</a>
8. Command Line Interface	通常は使用しません。 万一誤って選択した場合には、“Script>” プロンプトの後ろに次のコマンドを入力し、コンソールメニューに戻ります。 exit [Enter]

## 3.2.2 Management Agent

ブレードシステムの情報表示や設定をします。



メニュー	説明
1. Management Agent Infromtion	マネジメントブレードで動作するエージェントの設定をします。選択すると、「Agent Information」メニューが表示されます。 <a href="#">「Management Agent Information (1_1)」（→ P.64）</a>
2. Management Blade	マネジメントブレードの情報を表示します。 <a href="#">「Management Blade (1_2)」（→ P.75）</a>
3. System Information	システム情報の表示と設定をします。 <a href="#">「System Information (1_3)」（→ P.77）</a>
4. Server Blade	サーバブレードの情報の表示と設定をします。 <a href="#">「Server Control Information Table (1_4)」（→ P.93）</a>
5. Switch Blade	LAN スイッチブレードの情報を表示します。 <a href="#">「Switch Blade (1_5)」（→ P.111）</a>
6. Username And Password	ユーザー アカウントの管理をします。選択すると、「User ID List」メニューが表示されます。 <a href="#">「Username And Password (1_6)」（→ P.113）</a>
7. Blue Screen	通常は使用しません。
8. Event Log	イベントログの表示や記録の設定をします。 <a href="#">「Event Log (1_8)」（→ P.115）</a>
9. Set System Default	マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。 <a href="#">「Set System Default (1_9)」（→ P.117）</a>
10. Server Blade CMOS Backup/Restore	サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップや復元をします。選択すると、「Server Blade Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade CMOS Backup/Restore (1_10)」（→ P.118）</a>
11. Switch Blade Configuration Backup/Restore	LAN スイッチブレードの設定のバックアップや復元をします。選択すると、「Switch Blade」メニューが表示されます。 <a href="#">「Switch Blade Configuration Backup/Restore (1_11)」（→ P.122）</a>

メニュー	説明
12. Deployment Parameter	Deployment 用パラメータの表示と設定をします。選択すると、「Deployment Parameter」メニューが表示されます。 <a href="#">「Deployment Parameter (1_12)」(→ P.125)</a>
13. Power Consumption	通常は使用しません。
14. PPP and Modem Setting	通常は使用しません。
15. Fiber Channel	ファイバーチャネルバススループレードの情報を表示します。選択すると、「Fiber Channel Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Fiber Channel (1_15)」(→ P.127)</a>
16. PHY Module	LAN パススループレードの情報を表示します。選択すると、「PHY Module Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「PHY Module (1_16)」(→ P.129)</a>
17. FC Switch	ファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。選択すると、「FC SWITCH Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「FC Switch (1_17)」(→ P.131)</a>
18. Connection Module	通常は使用しません。
19. Storage Blade	ストレージブレードの情報を表示します。選択すると、「Storage Information Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Storage Blade (1_19)」(→ P.133)</a>

## ■ Management Agent Information (1\_1)

マネジメントブレードで動作するエージェントの設定をします。

```
+-----+-----+
|          Agent Information      page 1_1 |
+-----+-----+
(1) Set Management Agent IP Address : 192.168.1.1
(2) Set Management Agent Network Mask : 255.255.255.0
(3) Set Management Agent Gateway : 0.0.0.0
(4) Set Management Agent Default Route : LAN
(5) Set Management Agent DHCP Configure : disable
(6) Set Time Zone : (GMT+9) Osaka, Sapporo, Tokyo
(7) Set Management Agent Date Time : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(8) Set Management Agent Timeout(Sec) : 900
(9) Agent System Info
(-) Management Agent Administrative URL : http://192.168.1.1:80/
(11) Automatically Adjust Clock for Daylight Saving Changes : disable
(12) Agent HTTP
(13) Agent SNMP
(14) Agent Telnet
(15) Agent DNS
(16) Agent SMTP
(17) Agent NTP
(18) Agent NIC Duplex Mode
(19) Change Management Role To Slave
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set Management Agent IP Address	マネジメントブレードの IP アドレスを設定します。 ご購入時の設定：192.168.1.1 設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。
2. Set Management Agent Network Mask	マネジメントブレードのサブネットマスクを設定します。 ご購入時の設定：255.255.255.0 設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。
3. Set Management Agent Gateway	マネジメントブレードのゲートウェイの IP アドレスを設定します。設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。
4. Set Management Agent Default Route	通常は使用しません。「LAN」に設定してください。
5. Set Management Agent DHCP Configure	マネジメントブレードの DHCP を設定します。設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : DHCP を有効にします。有効にすると、「Agent IP Address」、「Agent Network Mask」、「Agent Gateway」の設定は不要です。</li> <li>• disable : DHCP を無効にします。</li> </ul>
6. Set Time Zone	マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。
7. Set Management Agent Date Time	マネジメントブレードの時刻を設定します。<月 / 日 / 西暦 時 : 分 : 秒>の形式で入力します。時刻は 24 時間形式で入力します。
8. Set Management Agent Timeout (Sec)	コンソールログインのタイムアウト値を設定します。設定した秒数の間に何も操作をしないと、自動的にログイン画面に戻ります。 30 ~ 65535 秒の間で設定してください。 設定値を 0 にすると、この機能は無効になります。また、設定した値は Web UI 上の Telnet のタイムアウト時間「DropTime」と共通になります。
9. Agent System Info	マネジメントブレードの名称などを設定します。
Management Agent Administrative URL	Web UI の URL を表示します。

項目	内容
11. Automatically Adjust Clock for Daylight Saving Changes	使用できません。設定しないでください。
12. Agent HTTP	マネジメントブレードの HTTP エージェントの設定をします。 「Agent HTTP (1_1_12)」(→ P.66)
13. Agent SNMP	マネジメントブレードの SNMP エージェントの設定をします。 「Agent SNMP (1_1_13)」(→ P.67)
14. Agent Telnet	マネジメントブレードの Telnet エージェントの設定をします。 「Agent TELNET (1_1_14)」(→ P.70)
15. Agent DNS	マネジメントブレードの DNS を設定します。選択すると、「Agent DNS Network」メニューが表示されます。 「Agent Network DNS (1_1_15)」(→ P.71)
16. Agent SMTP	使用できません。設定しないでください。
17. Agent NTP	マネジメントブレードの NTP の設定をします。 「Agent NTP (1_1_17)」(→ P.72)
18. Agent NIC Duplex Mode	マネジメントブレードの NIC の転送速度の設定をします。 「Agent NIC Duplex Mode (1_1_18)」(→ P.74)
19. Change Management Role To Slave	マネジメントブレードの動作モードを強制的にスレーブモードに変更します。通常は使用しません。

POINT

- マネジメントブレードの再起動は、[「3.2.5 Reboot Management Blade」\(→ P.138\)](#) をご覧ください。

## ● Agent HTTP (1\_1\_12)

マネジメントブレードの HTTP エージェントの設定をします。

```
+-----+
|           Agent HTTP      page_1_1_12      |
+-----+
(1) Set HTTP Enable      : enable
(2) Set HTTP Port        : 80
(3) Set HTTP SSL Enable : disable
(4) HTTP IP Filter Table
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set HTTP Enable	HTTP サービスを設定します。設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。 ・enable : HTTP サービスを使用します。 ・disable : HTTP サービスを使用しません。 [注 1]
2. Set HTTP Port	HTTP のポート番号を設定します。この設定は、10 秒後に有効になります。
3. Set HTTP SSL Enable	HTTP SSL を設定します。 [注 2] ・enable : HTTP SSL を使用します。 ・disable : HTTP SSL を使用しません。
4. HTTP IP Filter Table	HTTP による接続を許可する IP アドレスの設定をします。HTTP を許可する IP アドレスは、最大 10 個まで登録できます。 ご購入時設定値は、IP アドレスのフィルタリングをしません。IP フィルタリングをする場合は、削除してください。

注 1 : この項目を disable に設定すると、Web UI を使用できません。

注 2 : SSL を使用するためには、Web ブラウザで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。また、Web ブラウザで SSL バージョン 2 が有効になっている場合は、無効に変更してください。

### POINT

- マネジメントブレードの再起動は、[「3.2.5 Reboot Management Blade」（→ P.138）](#) をご覧ください。

## ● Agent SNMP (1\_1\_13)

マネジメントブレードの SNMP エージェントの設定をします。

```
+-----+
|          Agent SNMP      page_1_1_13      |
+-----+
(1) Set Agent SNMP Enable : enable
(2) Set Agent SNMP Security Enable : disable
(3) Agent SNMP Trap Table
(4) Agent SNMP Community String Table
(5) SNMP IP Filter Table
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set Agent SNMP Enable	SNMP サービスを設定します。 <a href="#">[注]</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>enable : SNMP サービスを使用します。</li> <li>disable : SNMP サービスを使用しません。</li> </ul>
2. Set Agent SNMP Security Enable	ServerView Operations Manager で「システム識別灯表示ボタン」を使用するときの設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>enable : ユーザー名とパスワードの入力を求めます。</li> <li>disable : ユーザー名とパスワードの入力を求めません。</li> </ul>
3. Agent SNMP Trap Table	SNMP トラップの送信先のテーブルの設定と表示をします。 <a href="#">[Agent SNMP Trap Table (1_1_13_3)] (→ P.68)</a>
4. Agent SNMP Community String Table	SNMP コミュニティ名の設定と表示をします。 <a href="#">[Agent SNMP Community String (1_1_13_4)] (→ P.68)</a>
5. SNMP IP Filter Table	SNMP による接続を許可する IP アドレスを設定します。 <a href="#">[SNMP IP Filter Table (1_1_13_5)] (→ P.69)</a>

注 : ServerView Operations Manager などの SNMP で通信するソフトウェアを使用する場合は、enable に設定してください。

## ● Agent SNMP Trap Table (1\_1\_13\_3)

SNMP トラップの送信先のテーブルの設定と表示をします。

```
+-----+
|          Agent SNMP Trap Table      page_1_1_13_3 |
+-----+
(1) Agent SNMP Trap 1 : 0.0.0.0
(2) Agent SNMP Trap 2 : 0.0.0.0
(3) Agent SNMP Trap 3 : 0.0.0.0
(4) Agent SNMP Trap 4 : 0.0.0.0
(5) Agent SNMP Trap 5 : 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:
```

各 SNMP トラップの数字を入力し、SNMP トラップの送信先の IP アドレスを設定します。

## ● Agent SNMP Community String (1\_1\_13\_4)

SNMP コミュニティ名の設定と表示をします。

```
+-----+
|          Agent SNMP Community String    page_1_1_13_4 |
+-----+
(1) SNMP Community String 1 :
(2) SNMP Community String 2 :
(3) SNMP Community String 3 :
(4) SNMP Community String 4 :
(5) SNMP Community String 5 :
Enter selection or type (0) to quit:
```

各 コミュニティの数字を入力し、コミュニティ名を設定します。

### POINT

- ▶ ServerView Operations Manager や SystemcastWizard などの SNMP で通信をするアプリケーションを使用する場合は、コミュニティ名の設定が必要です。通信可能なコミュニティ名を設定してください。

## ● SNMP IP Filter Table (1\_1\_13\_5)

SNMP による接続を許可する IP アドレスを設定します。

SNMP を許可する IP アドレスは、最大 10 個まで登録できます。

ご購入時に登録されている 255.255.255.255 は、IP アドレスのフィルタリングをしない設定です。IP フィルタリングをする場合は、許可する IP アドレスを設定した後、最後に削除してください。フィルタリングの設定をする前に「255.255.255.255」を削除してしまうと、SNMP による接続ができなくなります。

```
+-----+  
|      SNMP IP Filter Table    page_1_1_13_5 |  
+-----+  
  
(1) SNMP IP Filter 1 : 255.255.255.255  
(2) SNMP IP Filter 2 : 0.0.0.0  
(3) SNMP IP Filter 3 : 0.0.0.0  
(4) SNMP IP Filter 4 : 0.0.0.0  
(5) SNMP IP Filter 5 : 0.0.0.0  
(6) SNMP IP Filter 6 : 0.0.0.0  
(7) SNMP IP Filter 7 : 0.0.0.0  
(8) SNMP IP Filter 8 : 0.0.0.0  
(9) SNMP IP Filter 9 : 0.0.0.0  
(10) SNMP IP Filter 10 : 0.0.0.0  
  
Enter selection or type (0) to quit:
```

## ● Agent TELNET (1\_1\_14)

マネジメントブレードの Telnet エージェントの設定をします。

```
+-----+
|                               Agent TELNET      page_1_1_14 |
+-----+
(1) Set Telnet Enable      : enable
(2) Set Telnet Port        : 3172
(3) Telnet IP Filter Table
(4) Telnet Disconnection
(5) Set telnet SSL Enable : disable
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set Telnet Enable	Telnet サービスを設定します。設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。 ・enable : Telnet サービスを使用します。 ・disable : Telnet サービスを使用しません。
2. Set Telnet Port	Telnet のポート番号を設定します。 ご購入時の設定 : 3172 設定を有効にするには、マネジメントブレードを再起動してください。
3. Telnet IP Filter Table	Telnet サービスを許可する IP アドレスを設定します。 <a href="#">「Telnet IP Filter Table (1_1_14_3)」(→ P.71)</a>
4. Telnet Disconnection	Telnet 接続を強制的に切断します。画面の指示に従って操作をしてください。
5. Set telnet SSL Enable	Telnet SSL の使用を設定します。 <a href="#">[注]</a> ・enable : Telnet SSL を使用します。 ・disable : Telnet SSL を使用しません。

注 : SSL を使用するためには、Telnet のクライアントソフトで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。

### POINT

- マネジメントブレードの再起動は、[「3.2.5 Reboot Management Blade」\(→ P.138\)](#) をご覧ください。

## ● Telnet IP Filter Table (1\_1\_14\_3)

Telnet サービスを許可する IP アドレスの設定をします。

Telnet を許可する IP アドレスを、最大 10 個まで登録できます。

ご購入時に登録されている 255.255.255.255 は、IP アドレスのフィルタリングをしない設定です。IP フィルタリングをする場合は、許可する IP アドレスを設定した後、最後に削除してください。フィルタリングの設定をする前に「255.255.255.255」を削除してしまうと、Telnet 経由での CLI が利用できなくなります。

```
+-----+
|           Telnet IP Filter Table      page_1_1_14_3      |
+-----+
(1) Telnet IP Filter 1 : 255.255.255.255
(2) Telnet IP Filter 2 : 0.0.0.0
(3) Telnet IP Filter 3 : 0.0.0.0
(4) Telnet IP Filter 4 : 0.0.0.0
(5) Telnet IP Filter 5 : 0.0.0.0
(6) Telnet IP Filter 6 : 0.0.0.0
(7) Telnet IP Filter 7 : 0.0.0.0
(8) Telnet IP Filter 8 : 0.0.0.0
(9) Telnet IP Filter 9 : 0.0.0.0
(10) Telnet IP Filter 10: 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:
```

## ● Agent Network DNS (1\_1\_15)

マネジメントブレードの DNS を設定します。

```
+-----+
|           Agent Network DNS      page_1_1_15      |
+-----+
(1) Set DNS IP ADDRESS_1 : 0.0.0.0
(2) Set DNS IP ADDRESS_2 : 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set DNS IP Address_1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
2. Set DNS IP Address_2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

## ● Agent NTP (1\_1\_17)

マネジメントブレードの NTP の設定をします。

```
+-----+
|          Agent NTP      page_1_1_17 |
+-----+
(1) Set NTP ENABLE      : disable
(2) NTP Server IP
(-) The Latest Sync Date/Time : Not Ready
(4) Sync Mode            : Sync Afterward
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set NTP ENABLE	NTP を設定します。 ・ enable : NTP を使用します。マネジメントブレードの時刻を定期的に NTP サーバと同期させます。同期する方法は、「4. Sync Mode」で指定します。 ・ disable : NTP を使用しません。
2. NTP Server IP	NTP サーバの IP アドレスを入力します。 <a href="#">「NTP Server IP (1_1_17_2)」(→ P.73)</a>
The Latest Sync Date/Time	マネジメントブレードが NTP サーバと最後に合わせた時刻を表示します。 <a href="#">[注]</a>
4. Sync Mode	時刻の同期モードを指定します。 ・ Sync Afterward : マネジメントブレードより NTP サーバの時刻が進んでいるときだけ、マネジメントブレードの時刻を合わせます。データベースなど時間に注意が必要な用途で使用している場合は、このモードを選択してください。 ・ Sync Always : マネジメントブレードの時刻を、15 分おきに NTP サーバと合わせます。

注 : NTP を有効に設定した場合は、この表示で時刻が同期されているか必ず確認してください。設定直後は、表示に時間がかかる場合があります。ページを「Agent Infomation (1-1)」に戻し、ページの再表示を数回実行してください。

## ● NTP Server IP (1\_1\_17\_2)

NTP サーバの IP アドレスを入力します。

```
+-----+  
|       NTP Server IP      page_1_1_17_2 |  
+-----+  
  
(1) NTP Server IP 1 : 0.0.0.0  
(2) NTP Server IP 2 : 0.0.0.0  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. NTP Server IP 1	プライマリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。
2. NTP Server IP 2	セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。

## ● Agent NIC Duplex Mode (1\_1\_18)

マネジメントブレードの NIC の転送速度の設定をします。

```
+-----+  
|          Agent NIC Duplex Mode      page_1_1_18 |  
+-----+  
  
(-) Execution Mode : Auto-Negotiation  
(3) NIC Mode : Auto-Negotiation  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Execution Mode	現在の NIC の転送速度を表示します。
3. NIC Mode	NIC の転送速度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Auto-Negotiation : オートネゴシエーション</li><li>• 100 Full Mode : 100Mbps 全二重固定</li><li>• 100 Half Mode : 100Mbps 半二重固定</li><li>• 10 Full Mode : 10Mbps 全二重固定</li><li>• 10 Half Mode : 10Mbps 半二重固定</li></ul>

## ■ Management Blade (1\_2)

マネジメントブレードの情報を表示します。

```
+-----+  
|           Management Blade      page_1_2 |  
+-----+  
  
(1) Management Blade_1 : master  
(2) Management Blade_2 : slave  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Management Blade_1 ~ Management Blade_2	選択したマネジメントブレードの詳細情報を表示します。 <a href="#">「Management Blade (1_2_1)」（→ P.76）</a>

## ● Management Blade (1\_2\_1)

選択したマネジメントブレードの詳細情報を表示します。

```
+-----+-----+
|       Management Blade      page_1_2_1 |
+-----+-----+
(-) Management Blade Run Mode      : master
(-) Management Blade Status        : **
(-) Management Blade Manufacture : **
(-) Management Blade Manufacture Date : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(-) Management Blade Serial Number : **
(-) Management Blade Product Name : **
(-) Management Blade Model Name  : **
(-) Management Blade Hardware Version : **
(-) Management Blade Firmware Version : **
(-) Management MAC Address       : **:**:**;**;**:**;**
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Management Blade Run Mode	マネジメントブレードの動作モードを表示します。 • master : マスター モードで動作し、ブレードシステムを管理します。 • slave : スレーブ モードで動作し、マスターのマネジメントブレードを監視します。マスターのマネジメントブレードが故障した場合は、ブレードシステムの管理を引き継ぎます。
Management Blade Status	マネジメントブレードの状態を表示します。
Management Blade Manufacture	マネジメントブレードの製造元を表示します。
Management Blade Manufacture Date	マネジメントブレードの製造年月日を表示します。
Management Blade Serial Number	マネジメントブレードのシリアル番号を表示します。
Management Blade Product Name	マネジメントブレードの製品名を表示します。
Management Blade Model Name	マネジメントブレードのモデル名を表示します。
Management Blade Hardware Version	マネジメントブレードのハードウェア版数を表示します。
Management Blade Firmware Version	マネジメントブレードのファームウェアの版数を表示します。
Management MAC Address	マネジメントブレードの MAC アドレスを表示します。

## ■ System Information (1\_3)

システム情報の表示と設定をします。

```
+-----+
|           System Information      page_1_3 |
+-----+
(1) System Control Information
(2) System Power Supply
(3) System Fan
(4) System Temperature
(5) System Chassis Table
(6) System UPS
(7) System KVM
(8) System LED Control : off
(9) NIC Status Detection
(10) Turn on/off all server blades
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Control Information	システムの情報を表示します。 <a href="#">「System Control Information (1_3_1)」（→ P.78）</a>
2. System Power Supply	電源の状態を表示します。 <a href="#">「System Power Supply (1_3_2)」（→ P.79）</a>
3. System Fan	システムファンの状態を表示します。 <a href="#">「System Fan (1_3_3)」（→ P.82）</a>
4. System Temperature	システムの温度を表示します。 <a href="#">「System Temperature (1_3_4)」（→ P.87）</a>
5. System Chassis Table	シャーシの情報を表示します。選択すると、「System Chassis」メニューが表示されます。 <a href="#">「System Chassis (1_3_5)」（→ P.89）</a>
6. System UPS	使用しません。
7. System KVM	キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するブレードを設定します。
8. System LED Control	システム識別灯表示機能を利用して、シャーシの保守ランプの設定をします。 [注] ・on：保守スイッチを押したときに保守ランプを点灯させます。 ・off：この機能を使用しません。 ・blinking：保守スイッチを押したときに保守ランプを点滅させます。
9. NIC Status Detection	NIC 状態の検出を設定します。 <a href="#">「NIC Status Detection (1_3_9)」（→ P.91）</a>
10.Turn on/off all server blades	サーバブレードの電源の設定をします。 <a href="#">「Turn on/off all server blades (1_3_10)」（→ P.92）</a>

注：「on」に設定しても、「System Overall Status」が「error」または「critical」状態の場合、ランプは点滅します。  
「off」に設定した場合は、ランプはつきません。

## ● System Control Information (1\_3\_1)

システムの情報を表示します。

```
+-----+
|           System Control Information      page_1_3_1   |
+-----+
(-) System Name          : BX600
(-) Number of Fans       : **
(-) Number of Temperature Sensors : **
(-) Number of Power Supply Unit    : **
(-) System Housing Type        : BX600S3
(-) System Overall Status     : **

Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
System Name	システムの名前を表示します。
Number of Fans	シャーシに搭載されているファンの数を表示します。
Number of Temperature Sensors	シャーシに搭載されている温度センサーの数を表示します。
Number of Power Supply Unit	シャーシに搭載されている電源ユニットの数を表示します。
System Housing Type	シャーシのタイプを表示します。
System Overall Status	システム全体の状態を表示します。

## ● System Power Supply (1\_3\_2)

電源の状態を表示します。

```
+-----+
|           System Power Supply      page_1_3_2      |
+-----+
(1) System Power Supply Control      : Hard Power off
(-) System Power Supply Status       : not-ready
(-) System Power Supply Redundancy   : yes
(4) System Power Supply Unit Table
(5) System Power supply Redundancy Mode: 2+2
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Power Supply Control	<p>シャーシのメイン電源の電源状態を設定します。          設定する場合は、「<a href="#">4.1 リモート電源切断に関する留意事項</a>」（→ P.141）  <a href="#">[注]</a> をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>power on：シャーシのメイン電源を入れます。</li> <li>Hard Power off：シャーシのメイン電源を強制的に切ります。</li> <li>graceful shutdown and off：サーバブレードに対してOSを終了して          サーバブレードの電源を切るように指示してからメイン電源を切ります。</li> </ul>
System Power Supply Status	電源全体の状態を表示します。
System Power Supply Redundancy	電源ユニットの冗長構成の状態を表示します。
4. System Power Supply Unit Table	電源ユニットの状態を表示します。選択すると、「System Power Unit Status Table」が表示されます。 <a href="#">「System Power Unit Status Table (1_3_2_4)」（→ P.80）</a>
5. System Power supply Redundancy Mode	<p>本項目は、200Vの電源ユニットが4台搭載されている場合のみ表示します。          200V電源の冗長モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3+1：本設定は使用できません。</li> <li>2+2：通常時は2台を使用して、2台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。</li> </ul>

注：対応していないサーバブレードに対してこの操作をした場合には、ACPIシャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、選択しないでください。

## ● System Power Unit Status Table (1\_3\_2\_4)

電源ユニットの状態を表示します。

```
+-----+  
|       System Power Unit Status Table      page_1_3_2_4 |  
+-----+  
  
(1) Power Supply Unit 1 : **  
(2) Power Supply Unit 2 : **  
(3) Power Supply Unit 3 : **  
(4) Power Supply Unit 4 : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Power Supply Unit 1 ~	選択した電源ユニットの詳細な状態を表示します。
Power Supply Unit 4	<a href="#">「System Power Supply Unit Table (1_3_2_4_1)」(→ P.81)</a>

## ● System Power Supply Unit Table (1\_3\_2\_4\_1)

選択した電源ユニットの詳細な状態を表示します。

```
+-----+-----+
|      System Power Supply Unit Table      page_1_3_2_4_1   |
+-----+-----+
(-) System Power Supply Unit Status       : **
(-) System Power Supply Unit Manufacture : **
(-) System Power Supply Unit Product Name: **
(-) System Power Supply Model Name       : **
(-) System Power Supply Product Version  : **
(-) System Power Supply Serial Number    : **
(-) System Power Supply Running Time    : **
(8) System Power Supply Running Time Reset: **
(9) Power Supply Live Time              : **
(-) System Power Supply OVP             : **
(-) System Power Supply OCP             : **

Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
System Power Supply Unit Status	電源ユニットの状態を表示します。
System Power Supply Unit Manufacture	電源ユニットの製造元を表示します。
System Power Supply Unit Product Name	電源ユニットの製品名を表示します。
System Power Supply Model Name	電源ユニットのモデル名を表示します。
System Power Supply Product Version	電源ユニットのプロダクト版数を表示します。
System Power Supply Serial Number	電源ユニットのシリアル番号を表示します。
System Power Supply Running Time	電源ユニットの稼働時間を表示します。
8. System Power Supply Running Time Reset	電源ユニットの稼働時間を 0 にします。電源ユニットを交換した場合は、「reset」を選択して稼働時間を 0 に設定してください。
9. Power Supply Live Time	通常は設定の変更をしないでください。
System Power Supply OVP	OVP (Over Voltage Protection) の状態を表示します。
System Power Supply OCP	OCP (Over Current Protection) の状態を表示します。

### POINT

#### ▶ 電源ユニットの定期交換について

電源ユニット（200V）およびダミー電源ユニットは定期交換部品です。詳しくは『シャーシハードウェアガイド』の「4.3 定期交換部品について」をご覧ください。

定期交換後に設定を変更してください。

## ● System Fan (1\_3\_3)

システムファンの状態を表示します。

```
+-----+
|           System Fan      page_1_3_3 |
+-----+
(1) System Fans Table
(2) System Fans Live Time Table
(3) Set System Fans Daily Test Time      : disable
(4) Fan Test At Every Start-up         : disable
(-) System Fans Overall Status        : ok
(6) All Rear Fans Unavailable Reaction : continue
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Fans Table	シャーシと電源ユニットに搭載されているファンの状態を一覧表示します。選択すると、「System Fan」メニューが表示されます。 <a href="#">「System Fan (1_3_3_1)」(→ P.83)</a>
2. System Fans Live Time Table	システムファンの寿命時間の表示と設定をします。選択すると、「System Fan (REAR Fans)」メニューが表示されます。 <a href="#">「System Fan (REAR Fans) (1_3_3_2)」(→ P.85)</a>
3. Set System Fans Daily Test Time	システムファンの動作テストを実施する時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;hh:mm&gt; : 時刻を「時：分」で設定します。時間は24時間形式で入力します。</li> <li>・ disable : 動作テストを実施しません。</li> </ul>
4. Fan Test At Every Start-up	システムファンの動作テストの設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ enable : ファンの動作開始時に、毎回動作テストを実施します。</li> <li>・ disable : 動作テストを実施しません。</li> </ul>
System Fans Overall Status	システムファンの状態を表示します。
6. All Rear Fans Unavailable Reaction	すべてのシステムファンが停止した場合の、システムの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ continue : システムの動作を継続します。</li> <li>・ shutdown-and-poweroff : すべてのサーバーブレードに対してシャットダウン指示を出し、その後シャーシの電源を切ります。</li> </ul> 設定する場合は、 <a href="#">「4.1 リモート電源切断に関する留意事項」(→ P.141)</a> をご覧ください。

## ● System Fan (1\_3\_3\_1)

シャーシと電源ユニットに搭載されているファンの状態を一覧表示します。

```
+-----+  
|           System Fan      page_1_3_3_1 |  
+-----+  
(1) Rear1-Fan-1 : **  
(2) Rear1-Fan-2 : **  
(3) Rear2-Fan-1 : **  
(4) Rear2-Fan-2 : **  
(5) PowerUnit1-Fan-1 : **  
(6) PowerUnit1-Fan-2 : **  
(7) PowerUnit1-Fan-3 : **  
(8) PowerUnit2-Fan-1 : **  
(9) PowerUnit2-Fan-2 : **  
(10) PowerUnit2-Fan-3 : **  
(11) PowerUnit3-Fan-1 : **  
(12) PowerUnit3-Fan-2 : **  
(13) PowerUnit3-Fan-3 : **  
(14) PowerUnit4-Fan-1 : **  
(15) PowerUnit4-Fan-2 : **  
(16) PowerUnit4-Fan-3 : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Rear1-Fan-1 ~ PowerUnit4-Fan-3	選択したファンの設定と状態を表示します。 [System Fan (1_3_3_1)] (→ P.84)

## ● System Fan (1\_3\_3\_1\_1)

選択したファンの設定と状態を表示します。

```
+-----+
|           System Fan      page_1_3_3_1_1 |
+-----+
(1) System Fan Fail Reaction      : continue
(-) System Fan Designation       : Rear1-Fan-1
(-) System Fan Status            : **
(-) System Fan Current Speed    : **
(-) System Nominal Maximum Speed: **
(-) System Current Maximum Speed: **
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Fan Fail Reaction	<p>ファンに故障が発生した場合のシステムの動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>continue : ファンに故障が発生した場合にもサーバの稼働を継続します。</li> <li>shutdown-and-poweroff : ファンに故障が発生した場合に、各サーバーブレードの OS をシャットダウンしてから、シャーシのメイン電源を切ります。設定する場合は、<a href="#">[4.1 リモート電源切断に関する留意事項] (→ P.141)</a> をご覧ください。</li> </ul>
System Fan Designation	<p>ファンの位置を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Rear1-Fan-N (Nは1または2) : システムファンユニット内蔵ファン</li> <li>Rear2-Fan-N (Nは1または2) : システムファンユニット内蔵ファン</li> <li>PowerUnitN-Fan-1 (Nは1～4) : 電源ユニット内蔵ファン（電源冷却用ファン）</li> <li>PowerUnitN-Fan-2 (Nは1～4) : 電源ユニット内蔵ファン（システムファンユニット）</li> <li>PowerUnitN-Fan-3 (Nは1～4) : 電源ユニット内蔵ファン（システムファンユニット）</li> </ul>
System Fan Status	ファンの状態を表示します。
System Fan Current Speed	ファンの現在の回転数を表示します。
System Nominal Maximum Speed	ファンの公称最大回転数を表示します。
System Current Maximum Speed	ファンの最大回転数を表示します。

## ● System Fan (REAR Fans) (1\_3\_3\_2)

システムファンの寿命時間の表示と設定をします。

```
+-----+  
|       System Fan (REAR Fans)      page_1_3_3_2 |  
+-----+  
  
(1) System Fan_1  
(2) System Fan_2  
(3) System Fan_3  
(4) System Fan_4  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
System Fan_1 ~ System Fan_4	選択したシステムファンユニットの稼働時間の設定と情報の表示をします。 <a href="#">「System Fan (1_3_3_2_1)」(→ P.86)</a>

## ● System Fan (1\_3\_3\_2\_1)

選択したシステムファンユニットの稼働時間の設定と情報の表示をします。

```
+-----+
|           System Fan      page_1_3_3_2_1 |
+-----+
(-) Fan Running Time      : 0
(2) Fan Live Time Reset   : hard reset
(3) Fan Live Time         : 26000
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Fan Running Time	システムファンユニットの稼働時間を表示します。
2. Fan Live Time Reset	システムファンユニットの稼働時間を 0 にします。 システムファンユニットを交換した場合は、「hard reset」を選択して稼働時間を 0 に設定してください。
3. Fan Live Time	システムファンユニットの寿命時間を表示します。 通常は設定の変更をしないでください。

## ● System Temperature (1\_3\_4)

システムの温度を表示します。

```
+-----+
|           System Temperature      page_1_3_4 |
+-----+
(1) System Temperature Sensor Table
(-) System Temperature Overall Status : ok
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Temperature Sensor Table	温度センサーとその状態を一覧表示します。選択すると、「System Temperature」メニューが表示されます。 <a href="#">「System Temperature (1_3_4_1)」(→P.87)</a>
System Temperature Overall Status	システム全体の温度センサーの状態を表示します。

## ● System Temperature (1\_3\_4\_1)

温度センサーとその状態を一覧表示します。

```
+-----+
|           System Temperature      page_1_3_4_1 |
+-----+
(1) Housing-Left   : ok
(2) Housing-Center : ok
(3) Housing-Right  : ok
(4) Ambient         : ok
(5) Switch-1       : ok
(6) Switch-2       : ok
(7) Switch-3       : not-available
(8) Switch-4       : not-available
(9) PSU-1          : ok
(10)PSU-2          : ok
(11)PSU-3          : ok
(12)PSU-4          : ok
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Housing-Left ~ PSU-4	選択した温度センサーの設定と表示をします。各温度センサーを選択すると、選択した温度センサーの設定や情報の表示をします。 <a href="#">「System Temperature (1_3_4_1_1)」(→P.88)</a>

## ● System Temperature (1\_3\_4\_1\_1)

選択した温度センサーの設定と表示をします。

```
+-----+
|           System Temperature      page_1_3_4_1_1 |
+-----+
(1) System Temperature Critical Reaction      : continue
(-) System Temperature Sensor Designation    : Housing-Left
(-) System Temperature Sensor Status          : **
(-) System Temperature Upper Warning Level   : **
(-) System Temperature Upper Critical Level  : **
(-) System Temperature Current Value        : **

Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Temperature Critical Reaction	温度センサーが異常を検知した場合のシステムの動作を設定します。 • continue : 温度異常時もブレードシステムを継続稼働します。 • shutdown-and-poweroff : 温度異常の発生時に、シャーシのメイン電源の graceful シャットダウンをします。 設定する場合は、「 <a href="#">4.1 リモート電源切断に関する留意事項</a> 」(→ <a href="#">P.141</a> ) をご覧ください。
System Temperature Sensor Designation	温度センサーの位置を表示します。 • Housing-Left : シャーシ前面から見て左側 • Housing-Center : シャーシ前面から見て中央 • Housing-Right : シャーシ前面から見て右側 • Ambient : フロントコントロールボード内部 • Switch-1 ~ 4 : ネットワークブレード内部 • PSU1 ~ 4 : 電源ユニット内部
System Temperature Sensor Status	温度センサーの状態を表示します。
System Temperature Upper Warning Level	温度の警告しきい値を表示します。
System Temperature Upper Critical Level	温度の危険しきい値を表示します。
System Temperature Current Value	温度センサーの現在の測定値を表示します。

## ● System Chassis (1\_3\_5)

シャーシの情報を表示します。

```
+-----+  
|           System Chassis      page_1_3_5 |  
+-----+  
  
(1) System Chassis Intrusion Table  
(-) System Chassis Serial Number : **  
(-) System Chassis Product Version : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Chassis Intrusion Table	システムファンユニットの取り付け状態を表示します。選択すると、「Chassis Intrusion」メニューが表示されます。 <a href="#">「System Chassis Intrusion Table (1_3_5_1)」(→ P.90)</a>
System Chassis Serial Number	シャーシのシリアル番号を表示します。
System Chassis Product Version	シャーシのプロダクト版数を表示します。

## ● System Chassis Intrusion Table (1\_3\_5\_1)

システムファンユニットの取り付け状態を表示します。

```
+-----+  
| Chassis Intrusion (Sensor_1:Front, Sensor_2:Rear) page_1_3_5_1 |  
+-----+  
  
(-) System Chassis Intrusion Sensor_1 : **  
(-) System Chassis Intrusion Sensor_2 : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
System Chassis Intrusion Sensor_1	システムファンユニット 1 (上) および 2 (下) の状態を表示します。 • closed : ファンユニットが取り付けられています。 • open : ファンユニットが取り外されています。
System Chassis Intrusion Sensor_2	

## ● NIC Status Detection (1\_3\_9)

NIC 状態の検出を設定します。

```
+-----+
|           NIC Status Detection      page_1_3_9 |
+-----+
(1) NIC Status Detection : disable
(2) NIC Detection Timeout : 120
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. NIC Status Detection	<p>マネジメントブレードの冗長構成時の、NIC 状態の検出を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : ネットワークインターフェース経由の通信を常時監視します。</li> <li>• disable : ネットワークインターフェース経由の通信を監視しません。</li> </ul> <p>「2. NIC Detection Timeout」で指定する時間が経過するまでに通信されない場合は、NIC 状態の自己診断テストを実施します。</p> <p>テストで異常を検出すると強制的に通信経路を変更し、NIC 異常や LAN ケーブルの切断などによる通信障害時も、ネットワークインターフェース経由の管理や運用を続行できます。【注 1】</p>
2. NIC Detection Timeout	NIC 状態を検出する時間 (秒) を 0 ~ 300 の間で設定します。【注 2】

注 1 : マネジメントブレードが非冗長構成のときは、「NIC Status Detection」を「disable」に設定してください。  
マネジメントブレードが冗長構成のときに「NIC Status Detection」を「enable」に設定する場合は、事前に次のことを確認してください。

- ・マスターとスレーブのマネジメントブレードに LAN ケーブルを接続し、接続先のネットワーク機器とのリンクが確立していること。
- ・管理端末がマスターとスレーブのマネジメントブレードと、ネットワークインターフェース経由で通信できるネットワーク構成であること。

注 2 : ServerView Operations Manager などのサーバ監視ソフトウェアのタイムアウト値は、「NIC Detection Timeout」の設定値よりも長く設定してください。タイムアウト値の設定に関しては、それぞれのサーバ監視ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

### POINT

- ▶ 「NIC Status Detection」で異常が検出された場合、マネジメントブレードの状態は「critical」になりますが、マネジメントブレード異常ランプは点滅や点灯をしません。

## ● Turn on/off all server blades (1\_3\_10)

サーバブレードの電源の設定をします。

```
+-----+
|           Turn on/off all server blades      page_1_3_10   |
+-----+
(1) Turn on all server blades
(2) Turn off all server blades
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Turn on all server blades	サーバブレードの電源を順番に入れます。
2. Turn off all server blades	サーバブレードの電源を切る設定をします。 この項目を選択すると、確認画面が表示されます。確認画面で「Yes, turn off all server blades」を選択すると、「Server Power」に「off」または「graceful shutdown and off」の設定をします。詳しくは、 <a href="#">「1. Server power」（→ P.95）</a> をご覧ください。

### 重要

- この項目でサーバブレードの電源を設定する場合は、指示した後に電源の ON/OFF がすべて完了したことを CLI の表示などで確認してから、次の操作に進んでください。

## ■ Server Control Information Table (1\_4)

サーバブレードの情報の表示と設定をします。

```
+-----+-----+
|      Server Control Information Table          page_1_4 |
+-----+-----+
(1) Server Blade_1: ok
(2) Server Blade_2: ok
(3) Server Blade_3: ok
(4) Server Blade_4: ok
(5) Server Blade_5: ok
(6) Server Blade_6: ok
(7) Server Blade_7: ok
(8) Server Blade_8: ok
(9) Server Blade_9: ok
(10) Server Blade_10: ok
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	選択したサーバブレードの詳細情報の表示と設定をします。選択すると、「Server Blade」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade (1_4_1)」（→ P.94）</a>

## ● Server Blade (1\_4\_1)

選択したサーバブレードの詳細情報の表示と設定をします。

```
+-----+
|           Server Blade      page_1_4_1 |
+-----+
(1) Server Blade Control Information
(2) Server Blade Information
(3) Server Blade CPU
(4) Server Blade Memory
(5) Server Blade Voltage Table
(6) Server Blade Temperature
(7) Server Blade NIC Information
(8) Server Blade Watch Dog
(9) Raid Controller Type
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Server Blade Control Information	サーバブレードの電源や起動の設定をします。選択すると、「Server Blade Control」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade Control (1_4_1_1)」(→ P.95)</a>
2. Server Blade Information	サーバブレードの情報を表示します。 <a href="#">「Server Blade Information (1_4_1_2)」(→ P.97)</a>
3. Server Blade CPU	サーバブレードに搭載されているCPUの情報を表示します。選択すると、「Server Blade CPU Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade CPU Table (1_4_1_3)」(→ P.98)</a>
4. Server Blade Memory	サーバブレードに搭載されているメモリの情報を表示します。 <a href="#">「Server Blade Memory (1_4_1_4)」(→ P.100)</a>
5. Server Blade Voltage Table	サーバブレードの電圧センサーの情報を表示します。選択すると、「Server Voltage Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Voltage Table (1_4_1_5)」(→ P.103)</a>
6. Server Blade Temperature	サーバブレードの温度センサーの情報を表示します。選択すると、「Server Temperature」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Temperature (1_4_1_6)」(→ P.105)</a>
7. Server Blade NIC Information	サーバブレードのオンボードのNICの情報を表示します。選択すると、「Server NIC Information」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server NIC Information (1_4_1_7)」(→ P.107)</a>
8. Server Blade Watch Dog	サーバブレードの異常監視の設定をします。選択すると、「Server Blade Watchdog」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade Watchdog (1_4_1_8)」(→ P.108)</a>
9. Raid Controller Type	サーバブレードのアレイコントローラタイプを表示します。

## ● Server Blade Control (1\_4\_1\_1)

サーバブレードの電源や起動の設定をします。

```
+-----+-----+
|       Server Blade Control      page_1_4_1_1 |
+-----+-----+
(1) Server power                 : power on
(2) Set Server Maximum Restart Retries : 3
(3) Set Server Boot Mode          : normal
(4) Server LED Control           : off
(-) Server CPU Mode              : performance
(-) Server Administrative URL    :
(-) Server Memory Dump Flag     : normal
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Server power	<p>サーバブレードの電源の設定をします。<a href="#">[注 1]</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Power on : サーバブレードの電源を入れます。</li> <li>graceful shutdown and off : サーバブレードで動作する ServerView エージェントが OS のシャットダウンをし、電源を切れます。</li> <li>graceful shutdown and power-cycle : サーバブレードで動作する ServerView エージェントが OS のシャットダウンをし、電源を切った後、再度電源を入れます。</li> <li>hard reset : サーバブレードを強制的に再起動します。</li> <li>NMI : 通常は選択しないでください。</li> <li>Hard Power off : サーバブレードの電源を強制的に切れます。</li> </ul>
2. Set Server Maximum Restart Retries	OS 起動に失敗した場合のリトライ回数を設定します。 0 ~ 7 回の間に設定してください。
3. Set Server Boot Mode	<p>サーバブレードの起動方法を設定します。<a href="#">[注 2]</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>normal : サーバブレードの OS を起動するデバイスの順番を、BIOS に設定されている状態にします。</li> <li>pxe-lan-1 ~ pxe-lan-6 : サーバブレードの OS 起動時に、選択した LAN ポートを使用した PXE ブートを最初に実行します。</li> <li>add-in-pci-lan-1 / add-in-pci-lan-2 : サーバブレードの OS 起動時に、選択した拡張カードスロットモジュールに搭載した LAN カードのポート 1 またはポート 2 を使用した PXE ブートを最初に実行します。</li> </ul>
4. Server LED Control	サーバブレード判別機能を利用して電源ランプの設定をします。複数のサーバブレードの判別に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>blinking : サーバブレードの電源ランプを点滅させます。</li> <li>off : この機能を使用しません。</li> </ul>
Server CPU Mode	サーバブレードに搭載されている CPU の動作モードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>performance : CPU は Performance モードで動作しています。</li> <li>not-ready : CPU は動作していません。</li> </ul>
Server Administrative URL	使用しません。
Server Memory Dump Flag	メモリダンプフラグの状態を表示します。

注 1 : この機能を使用する場合は、[「4.1 リモート電源切断に関する留意事項」（→ P.141）](#)をご覧ください。対応していないサーバブレードに対してこの操作をした場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので選択しないでください。

サーバブレードの電源切断を指示した後電源 ON を指示する場合は、必ず 10 秒以上待ってから電源を入れてください。

注 2 : サーバブレードに LAN カード以外の拡張カードを搭載している場合、「add-in-pci-lan-1」または「add-in-pci-lan-2」を選択すると、サーバブレードが起動の途中で停止します。そのときは、一度サーバブレードの電源を切り、起動方法を変更後に再度電源を入れてください。

## ● Server Blade Information (1\_4\_1\_2)

サーバブレードの情報を表示します。

```
+-----+-----+
|       Server Blade Information      page_1_4_1_2   |
+-----+-----+
(-) Server Blade Status      : **
(-) Server Blade Manufacture : **
(-) Server Blade Manufacture Date : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(-) Server Blade Serial Number : **
(-) Server Blade Ident Serial Number : **
(-) Server Blade Product Name : **
(-) Server Blade Product Version : **
(-) Server Blade Model Name : **
(-) Server Blade Hardware Version : **
(-) Server Blade BIOS Version : **
(-) Server Blade KME Version : **
(-) Number Of CPU Socket : **
(-) Number Of Memory Socket : **
(-) Server Blade OS Type : **
(-) Server Blade OS Version : **
(-) Server Blade BMC Firmware Version : **
(-) Server Blade PCI Add-In Card : Not-present
(-) Server Blade Daughter Card : present
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Server Blade Status	サーバブレードの状態を表示します。
Server Blade Manufacture	サーバブレードの製造元を表示します。
Server Blade Manufacture Date	サーバブレードの製造年月日を表示します。
Server Blade Serial Number	サーバブレードのシリアル番号を表示します。
Server Blade Ident Serial Number	製造工場発行のシリアル番号を表示します。
Server Blade Product Name	サーバブレードの製品名を表示します。
Server Blade Product Version	サーバブレードのプロダクト版数を表示します。
Server Blade Model Name	サーバブレードのモデル名を表示します。
Server Blade Hardware Version	サーバブレードのハードウェアの版数を表示します。
Server Blade BIOS Version	サーバブレードのBIOSの版数を表示します。
Server Blade KME Version	サーバブレードのKME（キーボードマウスエミュレータ）の版数を表示します。
Number Of CPU Socket	サーバブレードのCPUソケットの数を表示します。
Number Of Memory Socket	サーバブレードのメモリスロットの数を表示します。
Server Blade OS Type	ServerViewエージェントがインストールされている場合、サーバブレードのOSのタイプを表示します。
Server Blade OS Version	ServerViewエージェントがインストールされている場合、サーバブレードのOSの版数を表示します。
Server Blade BMC Firmware Version	サーバブレードのBMCのファームウェア版数を表示します。
Server Blade PCI Add-In Card	サーバブレードの拡張カードスロットモジュールの状態を表示します。
Server Blade Daughter Card	サーバブレードのI/O拡張ボード（ファイバーチャネル拡張ボードなど）の状態を表示します。

### ● Server Blade CPU Table (1\_4\_1\_3)

サーバブレードに搭載されている CPU の情報を表示します。

```
+-----+  
|       Server Blade CPU Table      page_1_4_1_3 |  
+-----+  
  
(1) CPU 1 : ok  
(2) CPU 2 : ok  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
CPU 1 ~ CPU 2	選択した CPU の詳細情報を表示します。各 CPU の番号を入力すると、選択した CPU の詳しい情報を表示できます。 <a href="#">「Server Blade CPU Information (1_4_1_3_1)」(→ P.99)</a>

## ● Server Blade CPU Information (1\_4\_1\_3\_1)

選択した CPU の詳細情報を表示します。

```
+-----+  
|      Server Blade CPU Information      page_1_4_1_3_1 |  
+-----+  
  
(-) CPU Type : **  
(-) CPU Frequency : **  
(-) CPU ID : **  
(-) CPU Status : **  
(-) CPU Name : **  
(-) CPU Socket Designation : **  
(-) CPU Manufacturer : **  
(-) CPU Clock : **  
  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
CPU Type	CPU のタイプ
CPU Frequency	CPU の周波数
CPU ID	CPU のステッピング
CPU Status	CPU の状態
CPU Name	CPU の種類
CPU Socket Designation	CPU のソケットの場所
CPU Manufacturer	CPU の製造元
CPU Clock	CPU バスの動作周波数

## ● Server Blade Memory (1\_4\_1\_4)

サーバブレードに搭載されているメモリの情報を表示します。

```
+-----+
|           Server Blade Memory      page_1_4_1_4 |
+-----+
(1) Server Blade Memory Information Table
(2) Server Blade Memory Modules Table
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Server Blade Memory Information Table	メモリの総容量を表示します。選択すると、「Memory Information Table」メニューが表示されます。 <a href="#">「Memory Information Table (1_4_1_4_1)」（→ P.100）</a>
2. Server Blade Memory Modules Table	搭載されているメモリモジュールの状態を表示します。 <a href="#">「Server Blade Memory Modules Table (1_4_1_4_2)」（→ P.101）</a>

## ● Memory Information Table (1\_4\_1\_4\_1)

メモリの総容量を表示します。

```
+-----+
|           Memory Information Table      page_1_4_1_4_1 |
+-----+
(-) Physical Memory Size      : **
Enter selection or type (0) to quit:
```

## ● Server Blade Memory Modules Table (1\_4\_1\_4\_2)

搭載されているメモリモジュールの状態を表示します。

```
+-----+
|   Server Blade Memory Module Table      page_1_4_1_4_2   |
+-----+
(1) Memory Module 1 : **
(2) Memory Module 2 : **
(3) Memory Module 3 : **
(4) Memory Module 4 : **
(5) Memory Module 5 : **
(6) Memory Module 6 : **
(7) Memory Module 7 : **
(8) Memory Module 8 : **
(9) Memory Module 9 : **
(10) Memory Module 10 : **
(11) Memory Module 11 : **
(12) Memory Module 12 : **
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Memory Module <i>n</i> ( <i>n</i> はメモリスロット番号)	選択したメモリモジュールの詳細を表示します。 各メモリモジュールの番号を入力すると、選択したメモリモジュールの詳細が表示されます。 <a href="#">「Memory Module Information Table (1_4_1_4_2_1)」（→ P.102）</a>

## ● Memory Module Information Table (1\_4\_1\_4\_2\_1)

選択したメモリモジュールの詳細を表示します。

```
+-----+  
|      Memory Module Information Table      page_1_4_1_4_2_1 |  
+-----+  
  
(-) Memory Module Status      : **  
(-) Memory Module Size       : **  
(-) Memory Module Type       : **  
(-) Memory Module Socket Designation : **  
(-) Memory Module Speed      : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Memory Module Status	メモリモジュールの状態
Memory Module Size	メモリモジュールの容量
Memory Module Type	メモリモジュールのタイプ
Memory Module Socket Designation	メモリモジュールが搭載されている位置
Memory Module Speed	メモリバスの動作周波数

## ● Server Voltage Table (1\_4\_1\_5)

サーバブレードの電圧センサーの情報を表示します。

```
+-----+  
|       Server Voltage Table      page_1_4_1_5 |  
+-----+  
  
(1) Voltage ID 1 : **  
(2) Voltage ID 2 : **  
(3) Voltage ID 3 : **  
(4) Voltage ID 4 : **  
(5) Voltage ID 5 : **  
(6) Voltage ID 6 : **  
(7) Voltage ID 7 : **  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Voltage ID <i>n</i> ( <i>n</i> は電圧センサー番号)	選択した電圧センサーの詳細情報を表示します。各電圧センサーの番号を入力すると、詳しい情報が表示されます。 <a href="#">「Server Voltage Information Table (1_4_1_5_1)」(→ P.104)</a>

## ● Server Voltage Information Table (1\_4\_1\_5\_1)

選択した電圧センサーの詳細情報を表示します。

```
+-----+-----+
|      Server Voltage Information Table      page_1_4_1_5_1 |
+-----+-----+
(-) Server Voltage Designation : **
(-) Server Voltage Status     : **
(-) Server Voltage Minimum Value : **
(-) Server Voltage Maximum Value : **
(-) Server Voltage Current Value : **
(-) Server Voltage Nominal Value : **
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Server Voltage Designation	「Server Voltage Table」で選択した電圧センサー
Server Voltage Status	電圧センサーの状態
Server Voltage Minimum Value	電圧の危険下限しきい値
Server Voltage Maximum Value	電圧の危険上限しきい値
Server Voltage Current Value	電圧の現在の値
Server Voltage Nominal Value	電圧の公称値

## ● Server Temperature (1\_4\_1\_6)

サーバブレードの温度センサーの情報を表示します。

```
+-----+-----+
|       Server Temperature      page_1_4_1_6   |
+-----+-----+
(1) Temperature Sensor ID 1 : **
(2) Temperature Sensor ID 2 : **
(3) Temperature Sensor ID 3 : **
(4) Temperature Sensor ID 4 : **
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Temperature Sensor ID <i>n</i> ( <i>n</i> は温度センサー番号)	選択した温度センサーの詳細情報を表示します。温度センサーの番号を入力すると、詳しい情報が表示されます。 <a href="#">[Server Temperature Sensor Information Table (1_4_1_6_1)] (→ P.106)</a>

## ● Server Temperature Sensor Information Table (1\_4\_1\_6\_1)

選択した温度センサーの詳細情報を表示します。

```
+-----+-----+
| Server Temperature Sensor Information Table      page_1_4_1_6_1 |
+-----+-----+
(-) Server Temperature Sensor Designation : **
(-) Server Temperature Sensor Status       : **
(-) Server Temperature Upper Warning Level : **
(-) Server Temperature Upper Critical Level: **
(-) Server Temperature Lower Warning Level : **
(-) Server Temperature Lower Critical Level: **
(-) Server Temperature Current Value      : **

Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Server Temperature Sensor Designation	「Server Temperature」で選択した温度センサー
Server Temperature Sensor Status	温度センサーの状態
Server Temperature Upper Warning Level	温度警告の上限値
Server Temperature Upper Critical Level	温度異常の上限値
Server Temperature Lower Warning Level	温度警告の下限値
Server Temperature Lower Critical Level	温度異常の下限値
Server Temperature Current Value	温度センサーの現在の値

## ● Server NIC Information (1\_4\_1\_7)

サーバブレードのオンボードの NIC の情報を表示します。

```
+-----+
|           Server NIC Information      page_1_4_1_7 |
+-----+
(1) Server Blade NIC IP Table
(2) Server Blade MAC Address Table
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Server Blade NIC IP Table	ServerView エージェントがインストールされている場合、サーバブレードの IP アドレスを表示します。選択すると、「Server Blade NIC IP」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade NIC IP (1_4_1_7_1)」(→ P.107)</a>
2. Server Blade MAC Address Table	サーバブレードの MAC アドレスを表示します。選択すると、「Server Blade MAC Address」メニューが表示されます。 <a href="#">「Server Blade MAC Address (1_4_1_7_2)」(→ P.108)</a>

## ● Server Blade NIC IP (1\_4\_1\_7\_1)

ServerView エージェントがインストールされている場合、サーバブレードの IP アドレスを表示します。

```
+-----+
|           Server Blade NIC IP      page_1_4_1_7_1 |
+-----+
(-) IP1 : n.n.n.n
(-) IP2 : n.n.n.n
(-) IP3 : n.n.n.n
(-) IP4 : n.n.n.n
(-) IP5 : n.n.n.n
(-) IP6 : n.n.n.n
Enter selection or type (0) to quit:
```

## ● Server Blade MAC Address (1\_4\_1\_7\_2)

サーバブレードの MAC アドレスを表示します。

```
+-----+
|       Server Blade MAC Address      page_1_4_1_7_2 |
+-----+
(-) NIC1 : **:**:**:**;**;**
(-) NIC2 : **:**:**:**;**;**
(-) NIC3 : **:**:**:**;**;**
(-) NIC4 : **:**:**:**;**;**
(-) NIC5 : **:**:**:**;**;**
(-) NIC6 : **:**:**:**;**;**
Enter selection or type (0) to quit:
```

## ● Server Blade Watchdog (1\_4\_1\_8)

サーバブレードの異常監視の設定をします。

```
+-----+
|       Server Blade Watchdog      page_1_4_1_8 |
+-----+
(1) Server Blade Software Watchdog
(2) Server Blade Boot Watchdog
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Server Blade Software Watchdog	サーバブレードの OS ハング監視（ソフトウェアウォッチドッグ）の状態を表示します。選択すると、「Software Watchdog Information」メニューが表示されます。 <a href="#">[Software Watchdog Information (1_4_1_8_1)] (→ P.109)</a>
2. Server Blade Boot Watchdog	サーバブレードの OS 起動監視（Boot ウォッチドッグ）を設定します。選択すると、「Boot Watchdog Information」メニューが表示されます。 <a href="#">[Boot Watchdog Information (1_4_1_8_2)] (→ P.110)</a>

## ● Software Watchdog Information (1\_4\_1\_8\_1)

サーバブレードの OS ハング監視（ソフトウェアウォッチドッグ）の状態を表示します。  
ServerView Operations Manager で設定します。

```
+-----+  
|     Software Watchdog Information      page_1_4_1_8_1 |  
+-----+  
  
(-) Software Watchdog Time    : 0.00  
(-) Software Watchdog Action  : not-ready  
(-) Software Watchdog Status  : disable  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Software Watchdog Time	OS ハングを検出するまでの時間を表示します。
Software Watchdog Action	サーバブレードの OS ハング時の動作を表示します。
Software Watchdog Status	OS ハング監視（ソフトウェアウォッチドッグ）の状態を表示します。

## ● Boot Watchdog Information (1\_4\_1\_8\_2)

サーバブレードの OS 起動監視 (Boot ウォッチドッグ) を設定します。サーバブレードの POST が終了してから ServerView エージェントが起動するまでの間隔を監視します。

```
+-----+
|      Boot Watchdog Information      page_1_4_1_8_2 |
+-----+
(1) Set Boot Watchdog Time : 10 minutes
(2) Set Boot Watchdog Enable : disable
(3) Set Boot Watchdog Action : hard reset
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set Boot Watchdog Time	OS 起動失敗を検出するまでの時間を次の選択項目の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 minutes</li> <li>• 5 minutes</li> <li>• 10 minutes</li> <li>• 15 minutes</li> <li>• 20 minutes</li> <li>• 30 minutes</li> <li>• 60 minutes</li> <li>• 100 minutes</li> </ul>
2. Set Boot Watchdog Enable	OS 起動監視 (Boot ウォッチドッグ) の設定をします。
3. Set Boot Watchdog Action	OS 起動に失敗したときのアクションを設定します。設定する場合は、「 <a href="#">4.1 リモート電源切断に関する留意事項</a> 」(→ P.141) をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• no-action : そのままの状態で何もしません。</li> <li>• hard reset : サーバブレードを再起動します。</li> <li>• off : サーバブレードの電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and power-cycle : サーバブレードの電源を切った後、再度電源を入れます。</li> </ul>

### 重要

- ▶ サーバブレードに ServerView エージェントをインストールしない場合は、「2. Set Boot Watchdog Enable」を「disable」に設定してください。「enable」に設定した場合、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をします。
- ▶ CD/DVD やフロッピーディスクなどからシステムを起動する場合は、「2. Set Boot Watchdog Enable」を「disable」に設定してください。「2. Set Boot Watchdog Enable」を「enable」のままで起動すると、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をします。「2. Set Boot Watchdog Enable」を「enable」で運用する場合は、運用を再開する前に、再度設定を「enable」に戻してください。
- ▶ 本機能の設定時には「ServerView Suite DVD2」内の ServerView Suite マニュアルをご覧になり、本機能の仕様と運用方法を十分ご理解のうえ、正しく設定してください。

## POINT

- ▶ OS 起動監視（Boot ウオッチ ドッグ）機能は ServerView Operations Manager からも設定できます。

### ■ Switch Blade (1\_5)

LAN スイッチブレードの情報を表示します。

```
+-----+
|           Switch Blade Name Table          page_1_5 |
+-----+
(1) Switch Blade_1: **
(2) Switch Blade_2: **
(3) Switch Blade_3: **
(4) Switch Blade_4: **
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Switch Blade_1 ~ Switch Blade_4	選択した LAN スイッチブレードの詳細情報の表示と設定をします。 選択すると、「Switch Blade Information」メニューを表示されます。 <a href="#">「Switch Blade Information (1_5_1)」(→ P.111)</a>

### ● Switch Blade Information (1\_5\_1)

選択した LAN スイッチブレードの詳細情報の表示と設定をします。

```
+-----+
|           Switch Blade Information      page_1_5_1 |
+-----+
(-) Administrative URL      : http://n.n.n.n/
(-) Switch Blade Status     : **
(-) Switch Blade Manufacture : **
(-) Switch Blade Manufacture Date : MM/DD/YYYY HH:DD:SS
(-) Switch Blade Serial Number : **
(-) Switch Blade Product Name : **
(-) Switch Blade Model Name   : **
(-) Switch Blade Hardware Version : **
(-) Switch Blade Firmware Version : **
(-) Switch Blade MAC Address  : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) Switch Blade IP Address   : n.n.n.n
(-) Switch Blade Subnet Mask  : n.n.n.n
(-) Switch Blade Gateway      : n.n.n.n
(14) Switch Blade IP Address Setting Value : n.n.n.n
(15) Switch Blade Subnet Mask Setting Value : n.n.n.n
(16) Switch Blade Gateway Setting Value    : n.n.n.n
(17) Apply Network Setting
(18) Switch Blade LED Control       : off
(19) Reboot Switch Blade
(20) Switch Blade Period Polling   : disable
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Administrative URL	LAN スイッチブレードの Web インターフェースの URL を表示します。
Switch Blade Status	LAN スイッチブレードの状態を表示します。
Switch Blade Manufacture	LAN スイッチブレードの製造元を表示します。
Switch Blade Manufacture Date	LAN スイッチブレードの製造年月日を表示します。
Switch Blade Serial Number	LAN スイッチブレードのシリアル番号を表示します。
Switch Blade Product Name	LAN スイッチブレードの製品名を表示します。
Switch Blade Model Name	LAN スイッチブレードのモデル名を表示します。
Switch Blade Hardware Version	LAN スイッチブレードのボードの版数を表示します。
Switch Blade Firmware Version	LAN スイッチブレードのファームウェアの版数を表示します。
Switch Blade MAC Address	LAN スイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースの MAC アドレスを表示します。
Switch Blade IP Address	LAN スイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースの IP アドレスを表示します。
Switch Blade Subnet Mask	LAN スイッチブレードに設定されているサブネットマスクを表示します。
Switch Blade Gateway	LAN スイッチブレードに設定されているゲートウェイアドレスを表示します。
14. Switch Blade IP Address Setting Value	LAN スイッチブレードの IP アドレスを設定します。設定を有効にするには、「17. Apply Network Setting」で「Apply」を実行します。
15. Switch Blade Subnet Mask Setting Value	LAN スイッチブレードのサブネットマスクを設定します。設定を有効にするには、「17. Apply Network Setting」で「Apply」を実行します。
16. Switch Blade Gateway Setting Value	LAN スイッチブレードのゲートウェイアドレスを設定します。設定を有効にするには、「17. Apply Network Setting」で「Apply」を実行します。
17. Apply Network Setting	(14)、(15)、(16) で設定した値を、LAN スイッチブレードに適用します。 設定は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイル、「backupexi」に保存されます。
18. Switch Blade LED Control	LAN スイッチブレード判別機能を利用して保守ランプの設定をします。複数の LAN スイッチブレードの判別に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• blinking : LAN スイッチブレード保守ランプを点滅させます。</li> <li>• off : この機能を使用しません。</li> </ul>
19. Reboot Switch Blade	LAN スイッチブレードを再起動します。 <u><a href="#">「Reboot Switch Blade (1 5 1 19)」(→ P.113)</a></u>
20. Switch Blade Period Polling	LAN スイッチブレードに対する周期ポーリングを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : 有効にします。</li> <li>• disable : 無効にします。</li> </ul>

## ● Reboot Switch Blade (1\_5\_1\_19)

LAN スイッチブレードを再起動します。

```
+-----+
|                               page_1_5_1_19   |
+-----+
Reboot Switch Blade
(1) reboot now!
(0) quit
Enter selection :
```

項目	内容
1. reboot now!	LAN スイッチブレードを再起動します。
0. quit	Switch Blade Information (1_5_1) へ戻ります。

## ■ Username And Password (1\_6)

ユーザーアカウントの管理をします。

```
+-----+
|           User ID List      page_1_6   |
+-----+
(1) User_1 : root
(2) User_2 :
(3) User_3 :
(4) User_4 :
(5) User_5 :
(6) User_6 :
(7) User_7 :
(8) User_8 :
(9) User_9 :
(10)User_10:
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
User_1 ~ User_10	選択したユーザーアカウントの設定をします。 選択すると、「Edit Username And Password」メニューが表示されます。 <a href="#">[Edit Username And Password (1_6_1)] (→ P.114)</a>

## ● Edit Username And Password (1\_6\_1)

選択したユーザー アカウントの設定をします。

```
+-----+
|           Edit Username And Password      page_1_6_1   |
+-----+
(1) Change Username : root
(2) Change Password : *****
(3) User Permission : 255
Enter selection or type (0) to quit:
```

### 重要

- User Permission の設定は、複雑な設定となるため、Web UI での設定をお勧めします。  
[「User Accounts」\(→ P.39\)](#)

項目	内容
1. Change Username	新しいユーザー名を入力します。
2. Change Password	新しいパスワードを入力します。
3. User Permission	ユーザーの権限を、各設定のビットマップを合計した 0 ~ 255 の値で設定します。詳しくは次の表をご覧ください。

項目	ビットマップ	値
Read Only [LOGIN]	0x00000001	1
Modify values	0x00000010	2
Configure users	0x000000100	4
Reset/Switch Off	0x00001000	8
Access EMP via CLI (使用できません)	0x00010000	16
Adv. KVM User (incl. KVM configuration rights)	0x00100000	32
Administrator	0x11111111	255

### POINT

- パスワードおよびユーザー名は最大で半角 16 文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。
- ご購入時に管理者権限を持つユーザー「root」(パスワード「root」)が設定されています。ユーザー名「root」のパスワードは初期設定時に必ず変更してください。
- ユーザー名「root」は変更できません。
- Adv. KVM User (incl. KVM configuration rights) 権限を設定する場合は、Administrator 以外の権限を同時に設定する必要があります。「63」と入力します。

## ■ Event Log (1\_8)

イベントログの表示や記録の設定をします。

```
+-----+-----+
|           Event Log      page_1_8 |
+-----+-----+
(1) Management Blade Event Log
(2) Server Blade Event Log Table
(3) Server Blade Power On/Off Event Log Enable : disable
(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable : enable
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Management Blade Event Log	マネジメントブレードのイベントログを表示します。選択すると、「Manage Blade Event Log Level」メニューが表示されます。 <a href="#">「Manage Blade Event Log Level (1_8_1)」（→ P.116）</a>
2. Server Blade Event Log Table	サーバブレードを選択し、イベントログを表示します。
3. Server Blade Power On/Off Event Log Enable	サーバブレードのイベントログへの記録を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : イベントログに電源 ON/OFF やシャットダウンを記録します。</li> <li>• disable : イベントログに記録しません。</li> </ul>
4. Management Blade Wrap Around Event Log Enable	マネジメントブレードのイベントログの記録を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable (ご購入時の設定) : イベントログが最大件数になると、古いログから順番に上書きします。</li> <li>• disable : イベントログが最大件数になると、ログの記録を停止します。</li> </ul>

注：「enable」に設定すると、イベントの発生が多くなります。イベントログの件数に注意して、最大件数を超えないようにしてください。

### POINT

- ▶ マネジメントブレードで「4. Management Blade Wrap Around Event Log Enable」を「disable」に設定した場合、イベントログが最大件数になると、それ以後発生するイベントを記録しません。定期的にイベントログを確認し、必要に応じてログの保存と消去をしください。
- ▶ イベントログの保存は、画面のテキストをコピーして、テキストファイルなどに貼り付けてください。

## ● Manage Blade Event Log Level (1\_8\_1)

マネジメントブレードのイベントログを表示します。  
数字を入力すると、選択したイベントを表示します。

```
+-----+
|      Manage Blade Event Log Level      page_1_8_1   |
+-----+
(1) All Event
(2) Informational Event
(3) Minor Event
(4) Major Event
(5) Critical Event
(6) Clear All Entries
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. All Event	すべてのログを表示します。
2. Informational Event	正常な操作の完了など、情報レベルのイベントを表示します。
3. Minor Event	重要度の低いイベントを表示します。内容によっては、対処する必要があります。
4. Major Event	重要度の高いイベントを表示します。できるだけ早く対処する必要があります。
5. Critical Event	システムに重大な影響を与えるイベントを表示します。必ず対処が必要です。
6. Clear All Entries	すべてのイベントログを消去します。

イベントログは次のようなフォーマットで表示されます。【Enter】キーを押すと、すべてのログを確認できます。イベントログのエントリは、マネジメントブレードで最大 510 件、BX620 S5 サーバブレードで最大 511 件まで保存できます。

①                          ②

```
SEL entry number:nnn, Free space of SEL entry:nnn
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info 00062 ****.
-----
nnn entries left, Press Enter (or type 0 to quit) -----
```

画面上部にログの件数の情報が表示されます。

- ① 「SEL entry number」：システムイベントログに記録されたイベントの数を表示します。
- ② 「Free space of SEL entry」：システムイベントログに記録できるイベントの残り件数を表示します。

## ■ Set System Default (1\_9)

マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。

ご購入時の状態に戻す場合は、設定を戻したい項目を「true」に変更してマネジメントブレードを再起動します。

```
+-----+
|          Set System Default      page_1_9      |
+-----+
(1)  Set Config Default      : false
(2)  Set Username/Password Default   : false
(3)  Set CMOS Backup Default    : false
(4)  Set Deployment Default     : false
(5)  Set Switch Blade Config Default : false
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Set Config Default	マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。ただし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定は戻りません。また、Time Zone は (GMT+0) になります。必要に応じて変更してください。
2. Set Username/Password Default	ユーザー名とパスワードをご購入時の状態に戻します。
3. Set CMOS Backup Default	BIOS 設定情報のバックアップの設定をご購入時の状態に戻します。
4. Set Deployment Default	Deployment 設定をご購入時の状態に戻します。
5. Set Switch Blade Config Default	使用できません。

### POINT

- マネジメントブレードの再起動は、「[3.2.5 Reboot Management Blade](#)」（→ P.138）をご覧ください。

## ■ Server Blade CMOS Backup/Restore (1\_10)

サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップや復元をします。

サーバブレードの電源を入れた後 POST が終了するまで操作できません。操作可能になると「Ready」と表示されます。

サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップ状況を表示します。バックアップしたデータがある場合には、「MAC アドレス, 日付, BIOS 版数」が表示されます。

```
+-----+
| Server Blade [Status] [CMOS Backup File] Table   page_1_10 |
+-----+
(1) Server Blade_1  : [Ready      ] [No Backup CMOS File          ]
(2) Server Blade_2  : [Ready      ] [No Backup CMOS File          ]
(3) Server Blade_3  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(4) Server Blade_4  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(5) Server Blade_5  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(6) Server Blade_6  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(7) Server Blade_7  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(8) Server Blade_8  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(9) Server Blade_9  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File          ]
(10) Server Blade_10 : [Not Ready ] [No Backup CMOS File         ]
Enter selection or type (0) to quit:
```

### 重要

- ▶ 次のいずれかの場合、必ず BIOS 設定情報のバックアップをしてください。
  - ・サーバブレードを初めて使用する場合
  - ・BIOS セットアップユーティリティで情報を変更した場合
  - ・サーバブレードのメモリの増減・変更などハードウェア構成を変更した場合
  - ・BIOS 版数を更新した場合
- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみをバックアップや復元することができます。オンボード SAS コントローラの BIOS 設定情報はバックアップや復元ができません。
- ▶ バックアップ、復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	選択したサーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元の設定をします。選択すると、「Server CMOS Configure」メニューが表示されます。 <a href="#">[Server CMOS Configure (1_10_1)] (→ P.119)</a>

## ● Server CMOS Configure (1\_10\_1)

選択したサーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元の設定をします。  
バックアップした情報は、マネジメントブレードに保存されます。

```
+-----+
|           Server CMOS Configure      page_1_10_1 |
+-----+
(1) CMOS Control
(2) CMOS Configure Restore Target   : **
(-) Server CMOS ID With BIOS Version : nnnn
(-) Server CMOS ID With Mac Address  : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) Backup Date Time    : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. CMOS Control	BIOS 設定情報のバックアップと復元をします。 <a href="#">「CMOS Control (1_10_1_1)」(→ P.120)</a>
2. CMOS Configure Restore Target	復元対象のサーバブレードのスロット番号を設定します。 <a href="#">「CMOS Configure Restore Target (1_10_1_2)」(→ P.121)</a>
Server CMOS ID With BIOS Version	BIOS 設定情報をバックアップしたサーバブレードの BIOS 版数を表示します。
Server CMOS ID With Mac Address	BIOS 設定情報をバックアップしたサーバブレードの MAC アドレスを表示します。
Backup Date Time	BIOS 設定情報をバックアップした日時を表示します。

## ● CMOS Control (1\_10\_1\_1)

BIOS 設定情報のバックアップと復元をします。

```
+-----+
|       CMOS Control          Page_1_10_1_1 |
+-----+
CMOS Control : no-action
(1) backup
(2) smart-restore
(3) force-restore
(0) quit
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. backup	選択したサーバブレードの BIOS 設定情報をマネジメントブレードにバックアップします。
2. smart-restore	BIOS 設定情報をバックアップしたサーバブレードと、復元対象のサーバブレードの MAC アドレスとスロット番号が同じ場合に、BIOS 設定情報を復元します。復元対象のサーバブレードは、「 <a href="#">CMOS Configure Restore Target (1_10_1_2)</a> 」(→ P.121) で設定します。[注]
3. force-restore	強制的に BIOS 設定情報を復元します。復元対象のサーバブレードは、「 <a href="#">CMOS Configure Restore Target (1_10_1_2)</a> 」(→ P.121) で設定します。[注]

注：BIOS 設定情報をバックアップしたサーバブレードと復元先のサーバブレードのモデルまたは BIOS の版数が異なる場合、この機能を使用できません。

## ● CMOS Configure Restore Target (1\_10\_1\_2)

復元対象のサーバブレードのスロット番号を設定します。

```
+-----+  
| CMOS Configure Restore Target      Page_1_10_1_2 |  
+-----+  
  
CMOS Configure Restore Target : 1  
Please Input New Value  (Press enter to quit)  
-->>
```

## ■ Switch Blade Configuration Backup/Restore (1\_11)

LAN スイッチブレードの設定のバックアップや復元をします。

```
+-----+
| Switch Blade [Last Action] [Last Done Backup Date] page_1_11 |
+-----+
(1) Blade_1 : [Backup/Restore not supported] [None Configuration Backup]
(2) Blade_2 : [Backup/Restore not supported] [None Configuration Backup]
(3) Blade_3 : [Backup/Restore not supported] [None Configuration Backup]
(4) Blade_4 : [Backup/Restore not supported] [None Configuration Backup]
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Blade_1 ~ Blade_4	選択した LAN スイッチブレードの設定のバックアップと復元を設定します。選択すると、「Switch Backup/Restore Configure」メニューが表示されます。 <a href="#">[Switch Backup/Restore Configure (1_11_1)] (→ P.123)</a>

### ※ 重要

- ▶ LAN スイッチブレード (PG-SW106、PG-SW107) は、この機能を使用できません。
- LAN スイッチブレード (PG-SW106、PG-SW107) の各種設定のバックアップや復元を行う場合は、各スイッチブレードで、TFTP による設定のバックアップや復元をしてください。詳しくは、お使いの LAN スイッチブレードのマニュアルをご覧ください。

## ● Switch Backup/Restore Configure (1\_11\_1)

選択した LAN スイッチブレードの設定のバックアップと復元を設定します。

```
+-----+
| Switch Backup/Restore Configure          page_1_11_1 |
+-----+
(1) Backup/restore Control
(2) View Backup Configuration
(3) Auto Restore Enable : disable
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Backup/restore Control	LAN スイッチブレードの設定のバックアップと復元をします。選択すると、「Switch Backup/restore Control」メニューが表示されます。 <a href="#">「Switch Backup/restore Control (1_11_1)」（→ P.124）</a>
2. View Backup Configuration	マネジメントブレードにバックアップした設定情報を表示します。
3. Auto Restore Enable	マネジメントブレードにバックアップした設定情報の LAN スイッチブレードへの自動復元を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : LAN スイッチブレードがシャーシに搭載されたときに、設定情報を自動復元します。</li> <li>• disable : 設定情報を自動復元しません。</li> </ul> 復元された設定情報は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup_cfg」というファイル名で保存されます。

## ● Switch Backup/restore Control (1\_11\_1\_1)

LAN スイッチブレードの設定のバックアップと復元をします。

```
+-----+
|      Switch Backup/restore Control          page_1_11_1_1 |
+-----+
Switch Backup/restore Control : backup
(1) backup
(2) force-restore
(0) quit
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. backup	選択した LAN スイッチブレードの設定をマネジメントブレードにバックアップします。
2. force-restore	マネジメントブレードにバックアップされている LAN スイッチブレードの設定を、現在搭載されている LAN スイッチブレードに復元します。復元された情報は、LAN スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup_cfg」というファイル名で保存されます。

## ■ Deployment Parameter (1\_12)

Deployment 用パラメータの表示と設定をします。

```
+-----+
|          Deployment Parameter Table      page_1_12 |
+-----+
(1) Server Blade_1
(2) Server Blade_2
(3) Server Blade_3
(4) Server Blade_4
(5) Server Blade_5
(6) Server Blade_6
(7) Server Blade_7
(8) Server Blade_8
(9) Server Blade_9
(10) Server Blade_10
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	選択したサーバブレードの Deployment 用パラメータの設定と表示をします。選択すると、「Deployment Configuration」メニューが表示されます。 <a href="#">「Deployment Parameter (1_12_1)」(→P.126)</a>

## ● Deployment Parameter (1\_12\_1)

選択したサーバブレードの Deployment 用パラメータの設定と表示をします。

```
+-----+
|          Deployment Parameter      page_1_12_1 |
+-----+
(-) Chassis ID      : nn
(-) Slot ID         : nn
(-) MAC Address_1   : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) MAC Address_2   : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(7) IP Address_1    : n.n.n.n
(8) IP Address_2    : n.n.n.n
(11) Subnet Mask_1  : n.n.n.n
(12) Subnet Mask_2  : n.n.n.n
(15) Default Gateway_1 : n.n.n.n
(16) Default Gateway_2 : n.n.n.n
(19) Hostname       : **
(20) Master Image Reference : **
(-) Status of Blade  : **
(22) Automatic Recovery   : **
(-) States of Cloning    : **
(24) LAN status of slot   : **

Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Chassis ID	シャーシの ID を表示します。
Slot ID	サーバブレードが搭載されているスロットの番号を表示します。
MAC Address_1 MAC Address_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の MAC アドレスを表示します。
7. IP Address_1 8. IP Address_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の IP アドレスを設定します。
11. Subnet Mask_1 12. Subnet Mask_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のサブネットマスクを設定します。
15. Default Gateway_1 16. Default Gateway_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のデフォルトゲートウェイを設定します。
19. Hostname	ホスト名を設定します。
20. Master Image Reference	マスターイメージのディレクトリを設定します。
Status of Blade	サーバブレードの現在の状態を表示します。
22. Automatic Recovery	自動復元機能を設定します。
Status of Cloning	クローニングの状態を表示します。
24. LAN status of slot	LAN の状態を設定します。

### ○ 重要

- 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Hostname」、「Master Image Reference」などは ServerView Operations Manager などのソフトウェアにより自動的に設定されます。各種の Deployment ソフトの操作上変更が必要な場合以外は設定を変更しないでください。

## ■ Fiber Channel (1\_15)

ファイバーチャネルパススルーブレードの情報を表示します。

```
+-----+  
|      Fiber_Channel Table          page_1_15 |  
+-----+  
(1) FC Pass Through_1 : ok  
(2) FC Pass Through_2 : ok  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
FC Pass Through_1 ~	選択したファイバーチャネルパススルーブレードの情報を表示します。
FC Pass Through_2	<a href="#">[FC Pass Through Information (1_15_1)] (→ P.128)</a>

## ● FC Pass Through Information (1\_15\_1)

選択したファイバーチャネルパススルーブレードの情報を表示します。

```
+-----+
|          FC Pass Through Information      page_1_15_1   |
+-----+
(-) FC Pass Through Status      : ok
(-) FC Pass Through Manufacture : **
(-) FC Pass Through Manufacture Date : DD/MM/YYYY HH:MM:SS
(-) FC Pass Through Serial Number : **
(-) FC Pass Through Product Name : **
(-) FC Pass Through Model Name : **
(-) FC Pass Through Hardware Version : nn
(-) FC Pass Through Voltage Status : ok
(-) FC Pass Through Voltage Maximum : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Minimum : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Normal : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Current : nnn
(13) FC Present Table
(-) FC Pass Through 4G FW Code Version : nnnn.nnnn
(-) FC Pass Through 4G FW Data Version : nnnn
(-) FC Pass Through microP Status     : ok
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
FC Pass Through Status	ファイバーチャネルパススルーブレードの状態を表示します。
FC Pass Through Manufacture	ファイバーチャネルパススルーブレードの製造元を表示します。
FC Pass Through Manufacture Date	ファイバーチャネルパススルーブレードの製造年月日を表示します。
FC Pass Through Serial Number	ファイバーチャネルパススルーブレードのシリアル番号を表示します。
FC Pass Through Product Name	ファイバーチャネルパススルーブレードの製品名を表示します。
FC Pass Through Model Name	ファイバーチャネルパススルーブレードのモデル名を表示します。
FC Pass Through Hardware Version	ファイバーチャネルパススルーブレードのハードウェア版数を表示します。
FC Pass Through Voltage Status	ファイバーチャネルパススルーブレードの電圧状態を表示します。
FC Pass Through Voltage Maximum	ファイバーチャネルパススルーブレードの最大電圧の値を表示します。
FC Pass Through Voltage Minimum	ファイバーチャネルパススルーブレードの最小電圧の値を表示します。
FC Pass Through Voltage Normal	ファイバーチャネルパススルーブレードの通常の電圧の値を表示します。
FC Pass Through Voltage Current	ファイバーチャネルパススルーブレードの現在の電圧の値を表示します。
13. FC Present Table	ファイバーチャネルモジュールの接続状態を表示します。
FC Pass Through 4G FW Code Version	ファームウェアのプログラム版数を表示します。
FC Pass Through 4G FW Data Version	ファームウェアのデータ版数を表示します。
FC Pass Through MicroP Status	マイクロプロセッサの状態を表示します。

## ■ PHY Module (1\_16)

LAN パススループレードの情報を表示します。

```
+-----+
|      PHY Module Table                      page_1_16   |
+-----+
(1) PHY MODULE_1
(2) PHY MODULE_2
(3) PHY MODULE_3
(4) PHY MODULE_4
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
PHY MODULE_1 ~ PHY MODULE_4	選択した LAN パススループレードの情報を表示します。選択すると、「LAN Pass Through Information」メニューが表示されます。 <a href="#">「LAN Pass Through Information (1_16_1)」（→ P.130）</a>

## ● LAN Pass Through Information (1\_16\_1)

選択した LAN パススループレードの情報を表示します。

```
+-----+-----+
|           LAN Pass Through Information      page_1_16_1   |
+-----+-----+
(-) LAN Pass Through Manufacture : ***
(-) LAN Pass Through Manufacture Date : ***
(-) LAN Pass Through Serial Number : ***
(-) LAN Pass Through Product Name : ***
(-) LAN Pass Through Model Name : ***
(-) LAN Pass Through Hardware Version : ***
(-) LAN Pass Through FW Version : ***
(8) LAN Pass Through LED Control : off
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
LAN Pass Through Manufacture	LAN パススループレードの製造元を表示します。
LAN Pass Through Manufacture Date	LAN パススループレードの製造年月日を表示します。
LAN Pass Through Serial Number	LAN パススループレードのシリアル番号を表示します。
LAN Pass Through Product Name	LAN パススループレードの製品名を表示します。
LAN Pass Through Model Name	LAN パススループレードのモデル名を表示します。
LAN Pass Through Hardware Version	LAN パススループレードのハードウェア版数を表示します。
LAN Pass Through FW Version	LAN パススループレードのファームウェア版数を表示します。
8. LAN Pass Through LED Control	LAN パススループレード判別機能を利用して保守ランプの設定をします。複数の LAN パススループレードの判別に使用します。 • blinking : LAN パススループレード保守ランプを点滅させます。 • off : この機能を使用しません。

## ■ FC Switch (1\_17)

ファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。

```
+-----+-----+
|      FC SWITCH Table          page_1_17   |
+-----+-----+
(1) FC SWITCH MODULE_1
(2) FC SWITCH MODULE_2
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
FC SWITCH MODULE_1 ~ FC SWITCH MODULE_2	選択したファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。 選択すると、「FC SWITCH Information」メニューが表示されます。 <a href="#">[FC SWITCH Information (1_17_1)] (→ P.132)</a>

## ● FC SWITCH Information (1\_17\_1)

選択したファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。

```
+-----+
|          FC SWITCH Information      page_1_17_1 |
+-----+
(-) FC SWITCH Manufacture       : **
(-) FC SWITCH Manufacture Date : DD/MM/YYYY HH:MM:SS
(-) FC SWITCH Serial Number    : **
(-) FC SWITCH Product Name     : **
(-) FC SWITCH Product Number   : **
(-) FC SWITCH Hardware Version : **
(-) FC SWITCH IP Address       : n.n.n.n
(-) FC SWITCH Subnet Mask     : n.n.n.n
(-) FC SWITCH gateway          : n.n.n.n
(-) FC SWITCH Name             :
(-) FC SWITCH Domain ID       :
Enter selection or type (0) to quit:
```

表示／設定項目	内容
FC SWITCH Manufacture	ファイバーチャネルスイッチブレードの製造元を表示します。
FC SWITCH Manufacture Date	ファイバーチャネルスイッチブレードの製造年月日を表示します。
FC SWITCH Serial Number	ファイバーチャネルスイッチブレードのシリアル番号を表示します。
FC SWITCH Product Name	ファイバーチャネルスイッチブレードの製品名を表示します。
FC SWITCH Product Number	ファイバーチャネルスイッチブレードの製品番号を表示します。
FC SWITCH Hardware Version	ファイバーチャネルスイッチブレードのハードウェアの版数を表示します。
FC SWITCH IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースの IP アドレスを表示します。
FC SWITCH Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用ネットワークインターフェースのサブネットマスクを表示します。
FC SWITCH gateway	ファイバーチャネルスイッチブレードのゲートウェイアドレスを表示します。
FC SWITCH Name	ファイバーチャネルスイッチブレードの判別用の名称を表示します。
FC SWITCH Domain ID	ファイバーチャネルスイッチブレードのドメイン ID を表示します。

## ■ Storage Blade (1\_19)

ストレージブレードの情報を表示します。

```
+-----+
|      Storage Information Table          page_1_19   |
+-----+
(2)  Storage Blade_2
(4)  Storage Blade_4
(6)  Storage Blade_6
(8)  Storage Blade_8
(10) Storage Blade_10
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Storage Blade_2 ~ Storage Blade_10	選択したストレージブレードの情報を表示します。選択すると、「Storage Server Blade Information」メニューが表示されます。 ブレードを搭載した直後は、正しい値が表示されないことがありますので、30秒以上経過してから再度確認してください。 <a href="#">「Storage Server Blade Information (1_19_2)」(→ P.134)</a>

## ● Storage Server Blade Information (1\_19\_2)

選択したストレージブレードの情報を表示します。

```
+-----+
|           Storage Server Blade Information      page_1_19_2   |
+-----+
(-) Storage Blade Manufacture      : **
(-) Storage Blade Manufacture Date    : DD/MM/YYYY HH:MM:SS
(-) Storage Blade Serial Number     : **
(-) Storage Blade Ident Serial Number : **
(-) Storage Blade Product Name      : **
(-) Storage Blade Product Version    : **
(-) Storage Blade Model Name        : **
(-) Storage Blade Hardware Version   : **
Enter selection or type (0) to quit:
```

表示／設定項目	内容
Storage Blade Manufacture	ストレージブレードの製造元を表示します。
Storage Blade Manufacture Date	ストレージブレードの製造年月日を表示します。
Storage Blade Serial Number	ストレージブレードのボードシリアル番号を表示します。
Storage Blade Ident Serial Number	ストレージブレードのシリアル番号を表示します。
Storage Blade Product Name	ストレージブレードの製品名を表示します。
Storage Blade Product Version	ストレージブレードのプロダクト版数を表示します。
Storage Blade Model Name	ストレージブレードのモデル名を表示します。
Storage Blade Hardware Version	ストレージブレードのハードウェア版数を表示します。

### 3.2.3 Console Redirection Table

サーバブレードと LAN スイッチブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。サーバブレードの場合は、POST 画面の表示や BIOS セットアップユーティリティの操作などを行います。

LAN スイッチブレードの場合は、コンソールメニューの表示や操作を行います。

#### 重要

- ▶ コンソールリダイレクション機能は、搭載されているサーバブレードおよび LAN スイッチブレードそれぞれ 1 台に対して使用できます。

```
+-----+
|           Console Redirection Table      page_3   |
+-----+
(1) Console Redirect Server Blade
(2) Console Redirect Switch Blade
(3) Set Return Hotkey , Ctrl+(a character) : Q
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. Console Redirect Server Blade	サーバブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。 <a href="#">「Console Redirect Server Blade (3_1)」（→ P.136）</a>
2. Console Redirect Switch Blade	LAN スイッチブレード、およびファイバーチャネルパススルーブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。 <a href="#">「Console Redirect Switch Blade (3_2)」（→ P.137）</a>
3. Set Return Hotkey , Ctrl+(a character)	コンソールリダイレクション画面から CLI に戻るキーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値は「Q」です。</li> <li>コンソールリダイレクション画面で「[Ctrl] + [Q] キー」を入力すると、CLI の画面に戻ります。</li> <li>変更する場合は、「3」を入力後に使用する文字キーを入力します。</li> <li>使用できる文字キーは、【M】キーを除く【A】～【Z】キーです。</li> </ul>

## ■ Console Redirect Server Blade (3\_1)

サーバブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。

```
+-----+
|           Console Redirect Server Blade      page_3_1   |
+-----+
(1) Console Redirect Server Blade_1
(3) Console Redirect Server Blade_3
(4) Console Redirect Server Blade_4
(5) Console Redirect Server Blade_5
(7) Console Redirect Server Blade_7
Enter selection or type (0) to quit:
```

コンソールリダイレクション機能を使うサーバブレードの番号を入力すると、コンソールリダイレクション画面が表示されます。

### POINT

- ▶ コンソールリダイレクション機能はテキスト画面に対してのみ使えます。グラフィックモードを使用した画面（日本語 DOS 環境を含む）は表示できません。
- ・コンソールリダイレクションは、マネジメントブレードと接続されたサーバブレードのシリアルポート A によって行われます。
- ・コンソールリダイレクション機能によって、サーバブレードの BIOS 設定などの管理作業を管理端末からすることができます。
- ・コンソールリダイレクションに使用するエミュレート端末は基本 ASCII 文字列のみに限られ、カーソルキーやファンクションキー、【Ctrl】キーは使用できません。
- ・BIOS 設定などで、これらのキー入力が必要なときは、エスケープシーケンスを使用すると、キー入力が可能になります。詳しくは、次の表をご覧ください。

キー	エスケープシーケンス	キー	エスケープシーケンス
【F1】	【ESC】 → 【1】	【Home】	【ESC】 → 【h】
【F2】	【ESC】 → 【2】	【End】	【ESC】 → 【k】
【F3】	【ESC】 → 【3】	【Ins】	【ESC】 → 【+】
【F4】	【ESC】 → 【4】	【Del】	【ESC】 → 【-】
【F5】	【ESC】 → 【5】	【Page Up】	【ESC】 → 【?】
【F6】	【ESC】 → 【6】	【Page Down】	【ESC】 → 【/】
【F7】	【ESC】 → 【7】	【↑】	【ESC】 → 【w】
【F8】	【ESC】 → 【8】	【↓】	【ESC】 → 【x】
【F9】	【ESC】 → 【9】	【→】	【ESC】 → 【d】
【F10】	【ESC】 → 【0】	【←】	【ESC】 → 【a】
【F11】	【ESC】 → 【!】	【Reset】	【ESC】 → 【R】 → 【ESC】 → 【r】 → 【ESC】 → 【R】
【F12】	【ESC】 → 【@】		

## ■ Console Redirect Switch Blade (3\_2)

LAN スイッチブレード、およびファイバーチャネルパススルーブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。

```
+-----+  
|       Console Redirect Switch Blade      page_3_2 |  
+-----+  
  
(1) Console Redirect Switch Blade_1  
(3) Console Redirect FC Switch Blade_1  
Enter selection or type (0) to quit:
```

コンソールリダイレクション機能を使う LAN スイッチブレード、またはファイバーチャネルパススルーブレードの番号を入力すると、コンソールリダイレクション画面が表示されます。コンソールリダイレクション画面からリターンホットキーを押すと、メニュー画面に戻ることができます。リターンホットキーについては、[\[3. Set Return Hotkey , Ctrl+ \(a character\)\] \(→ P.135\)](#) をご覧ください。

### 3.2.4 Logout

CLI からログアウトしてログイン画面に戻ります。

### 3.2.5 Reboot Management Blade

マネジメントブレードを再起動します。

#### ⚠️ 重要

- ▶ マネジメントブレードを再起動すると、マネジメントブレードのマスターとスレーブが切り替わります。CLI にネットワークインターフェースで接続している場合には、いったん接続が切れますので再度接続してください。  
シリアルインターフェースで接続している場合には、「[3.1.2 CLI へのログイン](#)」(→ P.58) をご覧になり、マスターに接続し直してください。

```
+-----+
|      Reboot Selection: [1] Yes or [0] No      page_6   |
+-----+
(1) Yes,Reboot Now!
Enter selection or type (0) to quit:
```

「1」を入力すると次の画面が表示され、マネジメントブレードが再起動されます。

```
+-----+
|      Management Blade Reboot Now!      page_6_1   |
+-----+
```

#### POINT

- ▶ マネジメントブレードを再起動しても、シャーシのメイン電源およびサーバブレードの電源状態は保持されます。

### 3.2.6 System Information Dump

ブレードシステムの情報を表示します。

```
+-----+  
|      System Information Dump          page_7  |  
+-----+  
  
(1) System Configuration/Status  
(2) SEL for Management Blade  
(3) Server Blade Configuration/Status  
(4) SEL for Server Blade  
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
1. System Configuration/Status	ブレードシステムの構成の情報を表示します。
2. SEL for Management Blade	マネジメントブレードのイベントログを表示します。
3. Server Blade Configuration/Status	サーバブレードの情報を表示します。
4. SEL for Server Blade	サーバブレードのイベントログを表示します。

## 第4章

# 使用上の留意事項

4

この章では、マネジメントブレードをお使いになる上の留意点について説明しています。

4.1 リモート電源切断に関する留意事項 .....	141
4.2 対応ソフトウェア利用時の留意事項 .....	142
4.3 その他の留意事項 .....	143

## 4.1 リモート電源切斷に関する留意事項

マネジメントブレードには、シャーシやサーバブレードの電源をリモートで切斷する機能があります。

この機能を使用する場合は、次の事項に注意してください。

- サーバブレードの電源を切斷する前に、必ずサーバブレードの OS を終了してください。
- シャーシのメイン電源を切斷する前に、必ず搭載されているすべてのサーバブレードの電源を切斷してください。サーバブレードのシステムが破壊されるおそれがあります。
- graceful シャットダウン機能を使用する場合は、サーバブレードに ServerView エージェントをインストールしてください。

ServerView エージェントをインストールしていないサーバブレードに graceful シャットダウンを実行すると、予期しない動作をするおそれがあります。

## 4.2 対応ソフトウェア利用時の留意事項

本マネジメントブレードに対応しているソフトウェアは、次のとおりです。

- **ServerView Operations Manager V4.81 以降**

ServerView Operations Manager からブレードシステムの状態監視、遠隔操作ができます。

ServerView Operations Manager は、「ServerView Suite DVD1」に格納されています。

ServerView Operations Manager のインストール方法については「ServerView Suite DVD2」内の ServerView Suite マニュアルをご覧ください。

### POINT

- ▶ ServerView Operations Manager を使用するために、マネジメントブレードに対して次の設定をしてください。
    - ・ ServerView Operations Manager をインストールした管理端末と、マネジメントブレードおよびサーバブレードを、LAN ネットワークで接続してください。
    - ・ ネットワークインターフェースの設定で、IP アドレスやサブネットマスクなどの設定をしてください。
    - ・ SNMP の設定で SNMP を「enable」にして、SNMP のコミュニティ名を ServerView Operations Manager と同じコミュニティ名に設定してください。
    - ・ 「SNMP Trap Destination」に ServerView Operations Manager をインストールした管理端末の IP アドレスを設定してください。
    - ・ Management Agent System Name を設定してください（推奨）。
- Web UI ([「System Information」\(→ P.38\)](#)) の「Agent Information」  
 CLI ([「Management Agent Information \(1\\_1\)」\(→ P.64\)](#)) の「9. Agent System Info」

- **SystemcastWizard Professional V3.0 以降 (別途ご購入ください)**

ブレードシステムへの OS 一括インストールなどを実現するソフトウェアです。

SystemcastWizard Professional は、次の機能のためにマネジメントブレードを利用しています。

- ・ サーバブレードにリモートから電源投入を指示し、PXE 起動する
- ・ マネジメントブレードに、サーバブレードの「Deployment Configuration」の情報を読み込み、SystemcastWizard Professional のコンピュータ管理情報として利用する

### POINT

- ▶ SystemcastWizard Professional を使用するためには、マネジメントブレードに次の設定をしてください。
  - ・ SystemcastWizard Professional がインストールされたサーバ (Deployment サーバ) とマネジメントブレードおよびサーバブレードのポート 1 をネットワークで接続してください。
  - ・ ネットワーク インターフェースの設定で、IP アドレスやサブネットマスクなどを固定で設定してください。DHCP ではお使いになられません。
  - ・ SNMP のコミュニティ名を設定してください。

## 4.3 その他の留意事項

### ■ 電源ケーブルを取り外した時に記録されるイベントの留意事項

シャーシから電源ケーブルを取り外した後、マネジメントブレードのイベントログに次のイベントが記録されますが、ケーブルを取り外したことによるイベントですので問題ありません。

```
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49198 System overall status is critical.  
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49254 Power supply overall status is critical.  
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32796 Power supply unit n is error.  
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32813 System overall status is error.  
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49253 Power supply overall status is degraded.  
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32796 Power supply unit n is error.  
(n は電源ユニット番号)
```

## 付 錄

Web UI の設定項目メニューと CLI の設定項目  
メニューについて説明しています。

A Web UI 設定項目メニュー一覧 .....	145
B CLI 設定項目メニュー一覧 .....	148

# A Web UI 設定項目メニュー一覧

Web UI 設定項目メニュー一覧表です。カスタムメイドの選択状況によって、表示されないものもあります。

設定項目	説明
「System Property」(→ P.23)	システムの構成に使用します。
「System Event Log」(→ P.24)	イベントログの表示とアラームハンドラの設定をします。
「Event Log」(→ P.24)	イベントログを表示します。
「Alarm Handler」(→ P.25)	アラームハンドラを設定します。
「Environ./Maintenance」(→ P.25)	シャーシ、ファン、電源ユニットなどの状態の監視および動作の設定をします。 また、マネジメントブレードを再起動します。
Firmware Update	通常は使用しません。
「Power Supply」(→ P.25)	電源ユニットの状態や稼働時間などの情報を表示します。また、シャーシやサーバブレードの電源の設定をします。
UPS	通常は使用しません。
「Chassis」(→ P.28)	シャーシとシステムファンユニットの状態、シャーシ内の温度情報を表示します。また、温度異常時のアクションおよび保守ランプの設定をします。
「Fans」(→ P.29)	ファンの状態の表示と設定をします。
「Reset management Blade」(→ P.30)	マネジメントブレードを再起動します。
「LAN Interface」(→ P.31)	ネットワーク構成の設定をします。
「Internet Protocol」(→ P.32)	IP アドレスなどの設定をします。
「Domain Name Server」(→ P.32)	DNS の設定をします。
「HTTP」(→ P.32)	HTTP のポート番号の設定をします。
「Telnet」(→ P.33)	Telnet のポート番号などの設定をします。
「NTP」(→ P.33)	NTP の設定をします。
「SSL」(→ P.34)	SSL の設定をします。
「Duplex Mode」(→ P.34)	転送速度の設定をします。
「SNMP Interface」(→ P.35)	SNMP の情報の設定をします。
「SNMP Communities」(→ P.35)	SNMP のコミュニティ名を設定します。
「SNMP Trap Destination」(→ P.35)	SNMP トラップの送信先を設定します。
「Console Redirection」(→ P.36)	KVM (キーボード、ディスプレイ、マウス) の切り替えと、IP フィルタリングの設定をします。
「Keyboard/Mouse/Video Switch to Local」(→ P.36)	キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するサーバブレードを設定します。
「IP Filter For Telnet/IP Filter For HTTP/IP Filter For SNMP」(→ P.36)	IP フィルタリングの設定をします。

設定項目	説明
「Fiber Channel」 ( <a href="#">→ P.37</a> )	ファイバーチャネルパススルーブレードの状態を表示します。
「FC Pass Through Card-1 / FC Pass Through Card-2」 ( <a href="#">→ P.37</a> )	ファイバーチャネルパススルーブレード 1、2 の状態を表示します。
「System Information」 ( <a href="#">→ P.38</a> )	エージェント情報、時刻、タイムゾーンの設定をします。
「Agent Information」 ( <a href="#">→ P.38</a> )	SNMP エージェント情報の設定をします。
Daylight Saving Time	通常は使用しません。
「Controller Time」 ( <a href="#">→ P.38</a> )	マネジメントブレードの時刻を設定します。
「Time Zone」 ( <a href="#">→ P.38</a> )	マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。
「User Accounts」 ( <a href="#">→ P.39</a> )	ユーザー名、パスワードなどの管理をします。
「Deployment Table」 ( <a href="#">→ P.40</a> )	Deployment ソフトなどで使用するパラメータの表示と設定をします。
PPP and Modem Setting	通常は使用しません。
「Management Blade」 ( <a href="#">→ P.41</a> )	マネジメントブレードの情報を表示します。
「Lan Switch Blade」 ( <a href="#">→ P.41</a> )	LAN スイッチブレードの情報の表示と設定をします。
「Blade Info」 ( <a href="#">→ P.42</a> )	LAN スイッチブレードの各種情報の設定と表示をします。
「Backup/Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	LAN スイッチブレードの各種設定のバックアップや復元をします。
「Backup/Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	バックアップ、復元をします。
「Last Action」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	前回に実施した作業の内容を表示します。
「Auto Restore」 ( <a href="#">→ P.43</a> )	バックアップした設定を LAN スイッチブレードへ自動復元する設定をします。
「PHY Module (LAN パススルーブレード搭載時)」 ( <a href="#">→ P.44</a> )	LAN パススルーブレードの情報を表示します。
「FC Switch Blade (ファイバーチャネルスイッチブレード搭載時)」 ( <a href="#">→ P.45</a> )	ファイバーチャネルスイッチブレードの情報の表示と設定をします。
「DKVM Blade (PG-KVB103 搭載時)」 ( <a href="#">→ P.46</a> )	高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の情報の表示とファームウェアの管理をします。また、リモートで KVM を使用するためのツールを起動します。
「Blade Info」 ( <a href="#">→ P.46</a> )	高機能 KVM モジュールの情報を表示します。
「Network Configuration」 ( <a href="#">→ P.47</a> )	高機能 KVM モジュールのネットワークの設定をします。
「Console Redirection」 ( <a href="#">→ P.47</a> )	コンソールリダイレクション機能の設定をします。
「Console Redirection」 ( <a href="#">→ P.47</a> )	Video Viewer を起動します。
「Virtual Media」 ( <a href="#">→ P.47</a> )	リモート接続する機器の設定をします。
「Virtual Media Redirection」 ( <a href="#">→ P.47</a> )	Virtual Media を起動します。
「FW Update」 ( <a href="#">→ P.48</a> )	高機能 KVM モジュールのファームウェアをアップデートします。

設定項目	説明
「Server Blade」 <a href="#">(→ P.48)</a>	サーバブレード、ストレージブレードの情報の表示と設定をします。
「Recovery」 <a href="#">(→ P.49)</a>	異常発生時の設定、BIOS 設定情報のバックアップや復元設定、電源設定とスケジュール、起動オプションなどの設定を行います。
「ASR, server blade n」 <a href="#">(→ P.49) [注]</a>	サーバブレードの OS 起動監視の設定をします。
「Auto Configuration, server blade n」 <a href="#">(→ P.50) [注]</a>	サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元を行います。
「Power Control, server blade n」 <a href="#">(→ P.51) [注]</a>	サーバブレードの電源の設定をします。
「Boot Option, server blade n」 <a href="#">(→ P.52) [注]</a>	サーバブレードの起動方法を設定します。
「Blade Info」 <a href="#">(→ P.53)</a>	サーバブレードやストレージブレードの情報の表示と設定をします。
「Blade Info, server blade n」 <a href="#">(→ P.53) [注]</a>	サーバブレードの情報の表示や電源ランプの設定をします。
「Memory Modules, server blade n」 <a href="#">(→ P.54) [注]</a>	メモリの情報を表示します。
「Voltage, server blade n」 <a href="#">(→ P.54) [注]</a>	電圧の情報を表示します。
「Temperature, server blade n」 <a href="#">(→ P.54) [注]</a>	温度の情報を表示します。
「Storage Blade Info,server blade n (ストレージブレード搭載時)」 <a href="#">(→ P.55) [注]</a>	ストレージブレードの情報を表示します。

注 : n は搭載スロット番号です。

# B CLI 設定項目メニュー一覧

CLI の設定項目メニュー一覧表です。カスタムメイドの選択状況によって、表示されないものもあります。

設定項目	説明	ページ
(1) Management Agent	ブレードシステムの情報表示や設定をします。	(→ P.62)
(1) Management Agent Information	マネジメントブレードで動作するエージェントの設定をします。 選択すると、「Agent Information」メニューが表示されます。	
(1) Set Management Agent IP Address	マネジメントブレードの IP アドレスを設定します。	(→ P.64)
(2) Set Management Agent Network Mask	マネジメントブレードのサブネットマスクを設定します。	
(3) Set Management Agent Gateway	マネジメントブレードのゲートウェイの IP アドレスを設定します。	
(4) Set Management Agent Default Route	通常は使用しません。「LAN」に設定してください。	—
(5) Set Management Agent DHCP Configure	マネジメントブレードの DHCP を設定します。	
(6) Set Time Zone	マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。	
(7) Set Management Agent Date Time	マネジメントブレードの時刻を設定します。	
(8) Set Management Agent Timeout(Sec)	コンソールログインのタイムアウト値を設定します。	
(9) Agent System Info	マネジメントブレードの名称などを設定します。	
(-) Management Agent Administrative URL	Web UI の URL を表示します。	
(11) Automatically Adjust Clock for Daylight Saving Changes	使用できません。設定しないでください。	—
(12) Agent HTTP	マネジメントブレードの HTTP エージェントの設定をします。	(→ P.66)
(13) Agent SNMP	マネジメントブレードの SNMP エージェントの設定をします。	(→ P.67)
(14) Agent TELNET	マネジメントブレードの Telnet エージェントの設定をします。	(→ P.70)
(15) Agent DNS	マネジメントブレードの DNS を設定します。 選択すると、「Agent Network DNS」メニューが表示されます。	(→ P.71)
(16) Agent SMTP	使用できません。設定しないでください。	—
(17) Agent NTP	マネジメントブレードの NTP の設定をします。	(→ P.72)
(18) Agent NIC Duplex Mode	マネジメントブレードの NIC の転送速度の設定をします。	(→ P.74)
(19) Change Management Role To Slave	マネジメントブレードの動作モードを強制的にスレーブモードに変更します。 通常は使用しません。	—

設定項目	説明	ページ
(2) Management Blade	マネジメントブレードの情報を表示します。	(→ P.75)
(1) Management Blade_1	選択したマネジメントブレードの詳細情報を表示します。	(→ P.76)
(2) Management Blade_2		
(3) System Information	システム情報の表示と設定をします。	(→ P.77)
(1) System Control Information	システムの情報を表示します。	(→ P.78)
(2) System Power Supply	電源の状態を表示します。	(→ P.79)
(3) System Fan	システムファンの状態を表示します。	(→ P.82)
(4) System Temperature	システムの温度を表示します。	(→ P.87)
(5) System Chassis Table	シャーシの情報を表示します。 選択すると、「System Chassis」メニューが表示されます。	(→ P.89)
(6) System UPS	使用しません。	—
(7) System KVM	キーボード、ディスプレイ、マウスを使用するブレードを設定します。	(→ P.77)
(8) System LED Control	システム識別灯表示機能を利用して、シャーシの保守ランプの設定をします。	
(9) NIC Status Detection	NIC 状態の検出を設定します。	(→ P.91)
(10) Turn on/off all server blades	サーバブレードの電源の設定をします。	(→ P.92)
(4) Server Blade	サーバブレードの情報表示と設定をします。	(→ P.93)
(1) Server Blade_1 ~ (10) Server Blade_10	選択したサーバブレードの詳細情報の表示と設定をします。 選択すると、「Server Blade」メニューが表示されます。	(→ P.94)
(5) Switch Blade	LAN スイッチブレードの情報を表示します。	(→ P.111)
(1) Switch Blade_1 ~ (4) Switch Blade_4	選択した LAN スイッチブレードの詳細情報の表示と設定をします。 選択すると、「Switch Blade Information」メニューが表示されます。	(→ P.111)
(6) Username And Password	ユーザー アカウントの管理をします。 選択すると、「User ID List」メニューが表示されます。	(→ P.113)
(1) User_1 ~ (10) User_10	選択したユーザー アカウントの設定をします。 選択すると、「Edit Username And Password」メニューが表示されます。	(→ P.114)
(7) Blue Screen	通常は使用しません。	—
(8) Event Log	イベントログの表示や記録の設定をします。	(→ P.115)
(1) Management Blade Event Log	マネジメントブレードのイベントログを表示します。 選択すると、「Manage Blade Event Log Level」メニューが表示されます。	(→ P.116)
(2) Server Blade Event Log Table	サーバブレードを選択し、イベントログを表示します。	(→ P.115)
(3) Server Blade Power On/Off Event Log Enable	サーバブレードのイベントログへの記録を設定します。	
(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable	マネジメントブレードのイベントログの記録を設定します。	

設定項目	説明	ページ
(9) Set System Default	マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。	<a href="#">(→ P.117)</a>
(1) Set Config Default	マネジメントブレードの設定をご購入時の状態に戻します。	
(2) Set Username/Password Default	ユーザー名とパスワードをご購入時の状態に戻します。	
(3) Set CMOS Backup Default	BIOS 設定情報のバックアップの設定をご購入時の状態に戻します。	
(4) Set Deployment Default	Deployment 設定をご購入時の状態に戻します。	
(5) Set Switch Blade Config Default	使用できません。	—
(10) Server Blade CMOS Backup/Restore	サーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップや復元をします。 選択すると、「Server Blade Table」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.118)</a>
(1) Server Blade_1 ~ (10) Server Blade_10	選択したサーバブレードの BIOS 設定情報のバックアップと復元の設定をします。 選択すると、「Server CMOS Configure」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.119)</a>
(11) Switch Blade Configuration Backup/Restore	LAN スイッチブレードの設定のバックアップや復元をします。 選択すると、「Switch Blade」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.122)</a>
(1) Blade_1 ~ (4) Blade_4	選択した LAN スイッチブレードの設定のバックアップと復元を設定します。 選択すると、「Switch Backup/Restore Configure」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.123)</a>
(12) Deployment Parameter	Deployment 用パラメータの設定と表示をします。 選択すると、「Deployment Configuration」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.125)</a>
(1) Server Blade_1 ~ (10) Server Blade_10	選択したサーバブレードの Deployment 用パラメータの設定と表示をします。 選択すると、「Deployment Configuration」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.126)</a>
(13) Power Consumption	通常は使用しません。	—
(14) PPP and Modem Setting	通常は使用しません。	—
(15) Fiber Channel	ファイバーチャネルバススループレードの情報を表示します。 選択すると、「Fiber_Channel Table」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.127)</a>
(1) FC Pass Through_1 (2) FC Pass Through_2	選択したファイバーチャネルバススループレードの情報を表示します。 選択すると、「FC Pass Through Information」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.128)</a>
(16) PHY Module	LAN パススループレードの情報を表示します。	<a href="#">(→ P.129)</a>
(1) PHY MODULE_1 ~ (4) PHY MODULE_4	選択した LAN パススループレードの情報を表示します。 選択すると、「LAN Pass Through Information」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.130)</a>

設定項目	説明	ページ
(17) FC SWITCH	ファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。 選択すると、「FC SWITCH Table」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.131)</a>
(1) FC SWITCH MODULE_1 (2) FC SWITCH MODULE_2	選択したファイバーチャネルスイッチブレードの情報を表示します。 選択すると、「FC SWITCH Information」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.132)</a>
(18) Connection Module	通常は使用しません。	—
(19) Storage Blade	ストレージブレードの情報を表示します。 選択すると、「Storage Information Table」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.133)</a>
(2) Storage Blade_2 ~ (10) Storage Blade_10	選択したストレージブレードの情報を表示します。 選択すると、「Storage Server Blade Information」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.134)</a>
(2) Emergency Management Port	通常は使用しません。	—
(3) Console Redirection	サーバブレードと LAN スイッチブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。 選択すると、「Console Redirection Table」メニューが表示されます。	<a href="#">(→ P.135)</a>
(1) Console Redirect Server Blade	サーバブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。	<a href="#">(→ P.136)</a>
(2) Console Redirect Switch Blade	LAN スイッチブレード、およびファイバチャネルバススルーブレードのコンソールリダイレクション機能を使用します。	<a href="#">(→ P.137)</a>
(3) Set Return Hotkey , Ctrl+(a character)	コンソールリダイレクション画面から CLI に戻るキーを設定します。	<a href="#">(→ P.135)</a>
(4) TFTP update	通常は使用しません。	—
(5) Logout	CLI からログアウトしてログイン画面に戻ります。	<a href="#">(→ P.137)</a>
(6) Reboot Management Blade	マネジメントブレードを再起動します。	<a href="#">(→ P.138)</a>
(7) System Information Dump	ブレードシステムの情報を表示します。	<a href="#">(→ P.139)</a>
(1) System Configuration/Status	ブレードシステムの構成の情報を表示します。	
(2) SEL for Management Blade	マネジメントブレードのイベントログを表示します。	
(3) Server Blade Configuration/ Status	サーバブレードの情報を表示します。	
(4) SEL for Server Blade	サーバブレードのイベントログを表示します。	
(8) Command Line Interface	通常は使用しません。 万一誤って選択した場合には、"Script>" プロンプトのあとに「exit」と入力し、コンソールメニューに戻ります。	—

# 索引

あ

アラームハンドラ ..... [24](#)

い

イベントログ ..... [24, 115](#)

え

遠隔操作 ..... [142](#)

け

ゲートウェイの設定 ..... [32](#)

こ

コンソールメニュー ..... [61](#)

コンソールリダイレクション ..... [135](#)

さ

サーバブレード ..... [48, 136](#)

サブネットマスク  
設定 ..... [32](#)

し

システムファンユニット ..... [28](#)

シャーシ ..... [28](#)

状態監視 ..... [142](#)

初期設定 ..... [11](#)

シリアルインターフェース ..... [9, 57](#)  
接続と設定 ..... [15](#)

す

スイッチブレード ..... [41, 111, 137](#)

て

電源ユニット ..... [25](#)

ね

ネットワークインターフェース ..... [9, 57](#)  
接続と設定 ..... [12](#)

は

パスワード ..... [39](#)

ふ

ファン ..... [29](#)

ま

マネジメントブレード ..... [41](#)

ゆ

ユーザー アカウントの管理 ..... [113](#)

り

留意事項 ..... [143](#)

ろ

ログアウト ..... [137](#)

ログイン ..... [137](#)

B

BMC ..... [53](#)

C

CLI  
接続方法 ..... [57](#)

D

DHCP ..... [32](#)

F

FC Switch Blade ..... [45](#)

G

graceful シャットダウン ..... [26](#)

H

HTTP ..... [32, 66](#)

I

Internet Explorer ..... [19](#)

IP アドレス  
設定 ..... [32](#)  
表示 ..... [107](#)

## M

MAC アドレスの表示 ..... [108](#)

## N

Netscape ..... [19](#)

## P

PHY Module ..... [44](#)

POST ..... [42](#)

## S

ServerView Operations Manager ..... [142](#)

SNMP ..... [35](#), [67](#)

SNMP コミュニティ名 ..... [68](#)

SNMP トラップ ..... [68](#)

SystemcastWizard Professional ..... [142](#)

## T

Telnet ..... [57](#)

設定 ..... [33](#), [70](#)

## W

Web UI ..... [19](#)

---

**PRIMERGY  
BX600 マネジメントブレード  
ユーザーズガイド**

B7FH-6211-02 Z0-00

**発行日 2010年8月  
発行責任 富士通株式会社**

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。